

中国の学生エリート養成企画の調査

— 40余重点大学における優等的特別措置 —

高等教育研究叢書

97 2008年3月

北垣 郁雄・黄 福涛 編



広島大学

高等教育研究開発センター

中国の学生エリート養成企画の調査

—40 余重点大学における優等的特別措置—

北垣 郁雄・黄 福涛 編

広島大学高等教育研究開発センター

はじめに

高等教育に関し、アメリカ、中国等では大学内で優秀な学生だけを集めて特別に養成するような教育制度がある。将来のリーダーやエリートとして期待されそうな優等的な学生に対し、その資質を養成するための、Honors College と Honors Program である。中国では、そのような優等企画として、〇〇学院や〇〇実験班・試験班などの名称の下に、いわば優等学生を養成するための特別措置を図っている。優等教育 (Honors education) と呼ぶことができよう。エリート的資質の向上は、国際競争力が求められる高等教育における必須課題である。しかしながら、学内で優秀な学生を選別して養成的な特別措置を図ろうという企画に関し、我が国では、アメリカ、中国等に比べて関心が低いように思われる。

本叢書では、我が国では未だ萌芽段階にある、優等教育面での養成的特別措置の機運を高める一助として、中国における学生エリートの養成企画を紹介している。具体的には、重点大学と目された高等教育機関を調査の対象とし、各大学全体の概況と当該大学内の優等企画の概況を、大学ホームページからの翻案作業としてまとめている。これらの情報が、国際競争力のある大学の構築に向けて、関連の企画立案を行うにあたっての参考になれば幸いである。

翻案にあたっては、和訳によりかえって誤解を生ずると思われる中国語はとりあえず原文を尊重し、括弧書きや[注]にて説明するなどの措置を採った。なお、本出版に関し、杭州師範大学教育科学学院の叶林副研究員 (准教授) のご協力をいただいた。また、大学ホームページの引用・翻案にご理解をいただいた中国の大学の関係各位に感謝の意を表したい。

編者 北垣 郁雄
黄 福涛

目 次

・ 学生エリート養成企画の紹介にあたって	1
1. 優等教育と人的公共投資	
2. 紹介内容の構成, 類型, 特徴等	
・ 安徽省, 中国科学技術大学	5
・ 甘肅省, 蘭州大学	8
・ 広東省, 華南師範大学	11
・ 広東省, 中山大学	15
・ 吉林省, 吉林大学	19
・ 廣西省, 廣西大学	22
・ 江蘇省, 東南大学	25
・ 江蘇省, 南京大学	28
・ 江蘇省, 南京師範大学	31
・ 江蘇省, 南京理工大学	34
・ 黒龍江省, ハルビン工業大学	38
・ 湖南省, 湖南大学	42
・ 湖南省, 中南大学	46
・ 湖北省, 華中科技大学	50
・ 湖北省, 中国地質大学	54
・ 湖北省, 武漢大学	58
・ 湖北省, 武漢理工大学	61
・ 四川省, 四川大学	63
・ 四川省, 西南交通大学	68
・ 上海市, 華東師範大学	72
・ 上海市, 華東理工大学	76
・ 上海市, 上海大学	80
・ 上海市, 上海交通大学	83
・ 陝西省, 西安交通大学	86
・ 陝西省, 西安電子科技大学	91
・ 重慶市, 西南大学	95
・ 浙江省, 浙江大学	98
・ 天津市, 南開大学	102

・ 北京市, 清華大学	105
・ 北京市, 对外經濟貿易大学	108
・ 北京市, 中国人民大学	112
・ 北京市, 北京大学	116
・ 北京市, 北京科技大学	120
・ 北京市, 北京化工大学	123
・ 北京市, 北京工業大学	127
・ 北京市, 北京航空航天大学	131
・ 北京市, 北京交通大学	135
・ 北京市, 北京師範大学	138
・ 北京市, 北京理工大学	142
・ 北京市, 北京林業大学	145
・ 遼寧省, 大連理工大学	148
・ 遼寧省, 遼寧大学	153
ホームページアドレス集 (電話番号)	188
大学名索引 (省市名, 優等企画) —五十音順—	192
大学名索引—アルファベット順—	194

学生エリート養成企画の紹介にあたって

北垣 郁雄

1. 優等教育と人的公共投資

本叢書の制作は、我が国における学生エリート養成をどのように進めるべきかを考察するにあたり、諸外国における当該企画の状況をまとめておきたいという気持ちが、その発端にある⁽¹⁾。これまでの調査の結果、アメリカと中国に相当数の企画が存在すること、またヨーロッパと東南アジアの一部にも類似の企画が存在することが明らかになっている。

アメリカでは、(2005年時点で)580超の州立・私立大学等を中心に Honors College/Program (優等学院/プログラム) が提供されている[1]。また、これを全国的に推進し必要な企画・調査を行う学術網 NCHC (National Collegiate Honors Council) がある。定期的なワークショップや学術誌⁽²⁾を通して、優等企画を積極的に支援している。実際には、概ねどの優等学院/プログラムでも、入学試験等の成績を下に、上位数パーセント程度の優等学生 (Honors students) を選抜し、養成的な特別措置を図ろうとしている。大学により優等授業 (Honors class) として展開する科目が多様なため、共通のパターンが見出しにくいのが、部分的に、リーダー養成、自主・自律的精神の涵養などの含みを感じられる。一方、中国においても、重点大学構想の視野にあるもののうち、少なくとも42の大学に、〇〇学院、〇〇実験班などと称する優等企画が存在する。カナダ、オランダ、シンガポールにも同様の企画がある。諸外国での企画の骨格がそのまま我が国に適用可能かどうかはともかくとして、それらの情報は、我が国の大学が優等学院/プログラムを設立・開発するにあたっての、抛り所に資することが期待される。

日本では、「世界最高水準で、国際競争力の高い大学の改革に向けて・・・」に準ずる文言が、しばしば大学の理念として謳われる。実際、国際競争力の存否によって、国全体が浮きもし、沈みもする。しかし現実の問題として、学生集団の中で、将来熾烈な国際競争に当事者として関与する可能性が高いのは、最優秀の学生である。

一方、大学全入時代と相成れば、大学が選抜力に欠け、本来ならば入学不可能とされる学力者までが入学し得る。近い将来起こり得るその実態を、実際の授業活動にあてはめて考えてみよう。学力格差のある集団に対して、一斉授業という現実の制約に対処するには、授業の内容や進度は、自ずと‘学力的重心’に合わせざるを得ない。その場合、‘重心’に近い学生は、その学力と授業がほぼ整合するだろう。しかし、その‘重心’から遠く離れた、授業についていけない低学力生と、最高位の優等学生には、いずれも不整合を来すことになる。

このところ、入学後の学力不足を補うために、学内ではリメディアル措置が企画され、全国レベルではその不整合の解消や研究推進に向けた学術網も整備されたようだ⁽³⁾。学力的現況に合わせた個別の特別措置に関連する重要な研究課題である。それならば、その対極にあるもう一方の不整合者に対しても、固有の特別措置に向けた企画や学術網の整備がなされなければ、教育研究措置が公平とは言えないだろう。教育的処遇の機会均等を保証することが望まれる。

「優秀な学生は放っておけばよい」という意見がある。確かに、優等学生は、自律の能力も持ち合わせ、必要な学力や研究力を自ら磨こうとする全般的傾向はあるだろう。それならば、そのような自主・自律の特徴を活かして一段と力を伸ばすような養成手段やそのための資金投入の検討がなされて然るべきである。しかも、そのような学生たちは、将来社会的影響力の強い、また公共性の高い職業に就く可能性が高い。したがって、狭義の学力・研究力だけでなく、ふつうの学力者にも増して、そのような職業に相応しい質・量の、知の社会的還元精神や幅広い教養が求められるはずである[2]。だからこそ、優等学生に特化した養成的特別措置が必要なのであって、莫大な人的公共投資の対象と呼ぶに相応しい。先の影響力や公共性の可能の高さに応じた特別措置が求められている。健全なエリート養成に向けた優等教育(Honors education)は、今や国際化時代に対処するための、不可避かつ緊急の課題なのである。優等学生の放置に対しては、いわば教育的不作為が問われることになる。

以上の問題意識の下に、本叢書では中国を採り上げ、重点大学におけるいくつかの優等企画を紹介することとした。なお、重点大学の構想や、それを実現に導いた「211工程」や「985工程」の内容は、北京大学・陳学飛教授らの文献[3]に詳しい。

2. 紹介内容の構成、類型、特徴等

どの大学紹介でも、ほぼ共通した体裁を採っている。冒頭の枠内には、内容のあらましをまとめている。これに、「 . 全般的特徴」と「 . 優等企画～ 学院, 班～」から成る本文が続く。 では、大学の発展の経緯や沿革、奨学金等の経済支援、入試選考や卒業後の進路等をまとめている。このうち、発展の経緯に関してはどれも国家重点的措施を受けており、また奨学金の中には国家支援に拠る種類のものがある。これらの記述は、多くの大学に共通する事柄であるので、紙面数を勘案し翻案の際に省いた大学もある。 では、優等企画に特化して、その設立の経緯、沿革、優等学生の選考方法、養成モデル、優遇措置などをまとめている。

優等企画の探索では、概ねつぎのような手順に準じている。すなわち、100余の重点大学のホームページの調査から、少なくとも40余の大学に優等企画がなされていることが明らかになり、探索をそれらに絞り込んだ。その際、全学レベル、第1下位レベル、第2

下位レベルの順に探索するよう試みた。ここに、第1下位レベルとは、日本の大学に当てはめるならば「学部」に対応し、第2下位レベルとはその下の「学科、講座など」に対応する。そして、複数の優等企画を探索する際には、例えば、第1下位レベルで理系が1つ発見されたときあるいは発見されないときは、その次には同じレベルでの文系で発見を試みる、という具合に、探索が理・文で交互になるよう計らった。結果的には、1つだけの優等企画の紹介と相成った大学が多いし、特定の学院等の管理下にある理系の優等企画を複数紹介することとなった大学もある。しかし、当初このような探索手順を定めたのは、主に、どの大学にどのようなタイプの優等企画がどの程度の量で存在するのかの情報が皆無に近く手探りの状態であったこと、そして、「把握した優等企画の全体的特徴」を極力「中国における優等企画の特徴」とみなせるような調査方法を求めた、という理由による。一言で言えば、調査対象の選定に関して極力恣意性の排除を求めた、という意図に依るものである。

本叢書は、優等学生の養成企画に焦点を当てるものであるが、全体を概観するに、優等的特別措置として、養成、報奨、減免という3つのタイプからなる類型を見て取れるはずである。この類型は、アメリカの Honors colleges/program や他国における関連企画内容からも、ほぼ明らかである[4]。

- (1) 養成型—専門基礎の強化、当該教員の行うプロジェクト研究への参加、素質教育、創新教育。
- (2) 報奨型—奨学金、大学施設利用（図書館、研究室、コンピュータなど）における優遇措置、優等学生のプロフィールの公開、卒業後の進路の確約。
- (3) 減免型—授業料免除、必要単位数の早期取得に伴う在学期間の縮小、無試験での大学院進学。

最後に、本叢書で掲げた紹介例を下に、特徴的な制度を、必要に応じてアメリカでの特徴に比較させつつ、まとめておきたい。

- (1) 養成目標—総合的な人的養成を謳う事例もあるが、全体としては、やはり科学技術的人材養成との意図が窺われる。また、「世界一流大学」を目指すなど、トップクラスに対する意識が強調されている。この点は、アメリカでの優等カリキュラムには、リーダー養成との意図が含まれていることが少なくなく、また、批判的思考、ディベートなどの実践が重視されるなど、一見科学技術に特化していないように見えるのと対照的である。
- (2) 大学ランキン—清華大学と北京大学が重点大学として初期に整備され、またその中に優等企画とみなされる活動がある。これに対し、アメリカでは、しばしば引用される最高位の名門大学のいくつかには、優等企画が採せない。
- (3) 優等学生の選考—全国大学統一試験等のテスト成績に基づいて定めるなど、選考の仕方が客観的である。テストのあと、面接を行うこともある。そして、全学生

の数%程度を選考することが多い。

- (4) 優遇措置 - 優等学生には、図書館等の教育資源の利用、奨学金などに関し、さまざまな優遇措置が採られている。
- (5) 淘汰制 - 優秀な成績であると優等学生に選考されるものの、その後の成績が芳しくないと、排除され、ふつうのクラスに戻されることがある。類似の方式として最終位脱落制もあり、学期テストで、最下位に近い 20%程度の学生が淘汰されるような大学もある。
- (6) 導師制 - 優等クラスはもともと少人数であるが、それに加えて、個人指導のための導師制がある。教員と学生が相互選択を行うことが多い。

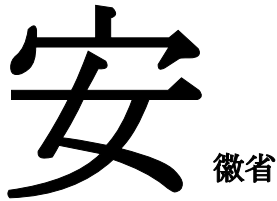
なお、本調査で使用した情報は、巻末にまとめた「大学ホームページアドレス集」に記されている。

【注】

- (1) 本叢書には「優等...」なる用語が頻出する。「優等学生」を「学業等に関し、何らかの基準で極めて優秀と評価された学生」と定義し、またその他の「優等...」を、「優等学生を対象とした...」と定義する。
- (2) ‘ Journal of the National Collegiate Honors Council ’ や ‘ Honors In Practice ’ など。
- (3) 日本リメディアル教育学会の URL (<http://www.remedial.jp/>) を参照。

【参考文献】

- [1] Digby, Joan, 2005, *Peterson's smart choice; Honors programs & colleges*. Thomson Peterson's.
- [2] 北垣郁雄・赤堀侃司編著, 2007, 『科学技術時代の教育』, pp.88-113, ミネルヴァ書房。
- [3] 黄福涛編, 2005, 『1990年代以降の中国高等教育の改革と課題』, 高等教育研究叢書 81, pp.17-24, 広島大学高等教育研究開発センター。
- [4] 北垣郁雄・李東林・藤井宣彰, 2008, 「『優等学生』の特別措置の類型, および『優等学院』に対する教育学部生の意識」, 第 14 回大学教育研究フォーラム・カリキュラム研究部会。



中国科学技術大学

University of Science and Technology of
China Central South University

卒業生が海外留学する比率では、中国の大学の中で長らく首位の座を保持している。鄧小平の支持の下、大学は1978年に「少年班」（優秀な才能を持った少年を対象とした特別班）を設置した。知的発達通常在りも早い少年のために適切な教育をする育成モードを提供している。また、中国工程物理研究院が定めた成績で大学に合格すれば、大学の学籍管理下には置かれるが、卒業後、同研究院の院生として進路が定められている。

I. 全般的特徴

中国科学技術大学は、中国科学院に所属し、最先端の科学と高度なテクノロジーを主体とした科学技術を背景として、管理と人文学科を兼ね備えた総合的全国重点大学である。

中国科学技術大学は、1958年9月に北京で創立され、初代校長は郭沫若が兼任した。1970年初め、大学は安徽省合肥市へ移った。1990年代以来、国家の「211工程」と「985工程」に入った大学である。

本学には、8つの学院があり、さらに大学院、ソフトウェア学院、继续教育学院、ネット教育学院など、上海、蘇州にそれぞれ研究院がある。数学、物理学、力学、生命科学と技術などの4つの国家の人材育成基地（拠点）があり、19の国家重点学科、19の省レベルの重点学科がある。国家や省レベルの放射に関する実験室、高性能コンピュータセンターなどの重点科学研究機関がある。

教職員は3,400人余で、約20,000人が教育を受けている。そのうち、博士課程院生が約2,000人、修士課程院生が5,400人、本科生（学士課程生）の約7,500人である（その他は、通常の学生のような籍を置かない聴講生的存在や通信生）。中国科学院から（特に優秀な）大学院生の2,200人を委託され養成している。

経済支援と学費

学校は、奨学金として40種類以上を設けた。その中には、国内外の社会団体、企業、（財団としての）基金会、有名人、専門家、学者などからの寄付により設立された特定項目の奨学金と優秀な学生に対する奨学金などがある。「郭沫若奨学金」などを含む。2005年度

には、約 3,800 人が受給することになった。本科生の受給率は 50%に達した。「国家助学贷款」は、累計で 3,000 万元超を貸与した。学校は「特別に貧困な学生を優先する」と「労働に応じて報酬を受ける」の原則に依拠して、学生にアルバイトを提供している。

授業料は物価を査定した基準に基づく。コミュニケーション学科は 1 人毎年 4,500 円で、その他の学科は 1 人毎年 4,800 元である。寮費は 1 人毎年 1,000 元である。

入試

教育部の要求で公平・公正の原則に基づき、全国大学統一試験の成績に基づいて、徳育・知育・体育をも総合的に評価して、優秀者を採用する。

その他の選考に関し、学校は受験生の選抜試験の成績、競技の成績、創造的能力などによって総合的に評価して、優秀な学生に推薦入学や自主募集を行っている。

また、学校は中国工程物理研究院のために「定向生」も募集する。この場合、進路先（中国工程物理研究院）が決めた大学入試の成績で一定の水準に到達しなければならない。しかし、入学した後は、当大学の学籍管理に統一的に組み入れられる。「定向生」のカリキュラムは普通の学生募集で入学した学生と同じで、在学中は中国工程物理研究院がその授業料を支払う。また、住居費として 1 人年 3,000 元が補助される。

その他

中国科学技術大学では、大学独自のコンサート、「キャンパスの星」歌手大会、ディベート大会、「優勝杯」男子サッカー大会と「婦人杯」女子サッカー大会、「科星杯」バスケットボール大会など、たくさんの活動が行われている。厳濟慈、華羅庚、銭学森、趙忠堯、郭永懷、趙九章、貝時璋など、国内の多くの著名科学者が教授したことがある。

II. 優等企画～少年班～

1978 年 3 月、李政道、楊振寧、丁肇中などのノーベル賞受賞者の大きな支持を下に、鄧小平、方毅など党と国家の指導者の支持や推進で、中国科技大学に「少年班」が創建された。その目的は中国の優秀な人材育成を行うことで、科学技術などの領域で抜群に優れている優秀な人物を育成して、中国の教育と経済の建設事業の発展を推進することである。

「少年班」は、主に、まだ通常中等教育を修了していない学生を募集している。成績がずば抜けて優秀な青少年が、大学の教育を受けることになる。1985 年、中国科学技術大学は、「少年班」を設立・運営する成功経験を総括し、大学入試で最優秀の学生に対応するため、また「少年班」のモードをまねて「教育改革実験班」（「実験班」と略称、また「00 班」とも言う）を創立した。2 種類の優秀な学生が相互補充された。国家の指導者と国内外の教育家、科学者たちはそれを肯定した。28 年来、「少年班」（「00 班」）を加える。

以下同様)は優秀な大学生を育成することに力を尽くして、これまでに約 2,000 人の学生を募集し、約 1,600 人が卒業した。そのうち、「少年班」は約 1,100 人を募集して、940 人が卒業した。「00 班」では、約 860 人を募集して、610 人が卒業した。

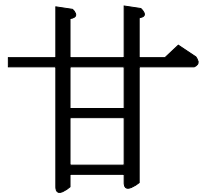
養成モデル

中国科技大学の「少年班」では、国内第一の「少年班」として、知力の極めて優れた、知的発達の早い少年のために適切な教育をする育成モードを提供している。「少年班」の学生が学校に入った後 1~2 年は専門を区別せず、まず集中して数学、物理、英語、電子技術とコンピュータの応用などの基礎教育を強化して、近代的な科学技術の最先端の理解と人文の素質を教育する。前段階の基礎科目の学習を完成した後に、学生は自分の希望と潜在的能力によって、全校の範囲の中で自主的に専門を選んで、自分の興味と特技を結び付けて、個別の学習の方案を制定して、最大限、学習能力を発揮する。「少年班」は同時に、学生の初期の科学研究の能力、実践の能力と創造能力の育成を重視する。「00 班」は大学入試の中の高い点数の受験生から構成され、「少年班」と同じ育成モードの教育が実行されている。「少年班」では学生のために各種の科学技術の講座を開催し、学生のための技能実験室を設立して、学生が社会に参加する調査研究などの実践活動を組織する。また、学生に積極的に「大学生計画研究」に参加するように奨励する。「探究式」の研究討論班の課程を選択して履修し、直接最先端の科学研究活動に参加し、総合的な学生の創造的能力と資質を育成する。

入試と卒業

「少年班」の選考について、大学は各地方からの推薦を受けて、大学側で審査し、受験票を発送する。学校は受験生の大学入試の成績によって、第 2 次試験に参加する受験生の候補者を確定し、その後、受験生に第 2 次試験への参加資格を通知する。第 2 次試験を受ける科目は数学、物理、英語であり、そのほかに心理テストとして非知力要素のテストがある。大学入試の成績と第 2 次試験の成績を総合し、さらに健康診断の結果によって最終合格者を確定する。

すでに卒業した 900 人余の「少年班」の学生の中で、80%近くは国内外の有名な大学の大学院に進学した。1980 年度に「少年班」に入った卒業生は、すべて大学院に進学した。



肅省

蘭州大学

Lanzhou University

1909年に発足した蘭州大学は、中国の西部地域に重要な役割をもつ教育部直属の総合大学である。元学長江隆基氏にちなんで、「隆基班」なる優等企画を2006年から実施し、1,000人を超えた応募者の中から60名を選抜し養成している。基礎となる数学や物理の知識を備え、外国語をどれか1つを使いこなし、幅広い人文知識を持つ総合型人材を育成することを目標とする。

I. 全般的特徴

蘭州大学は、1909年に設立された甘肅法政学堂を前身とする。1928年に蘭州中山大学に改名し、1946年に国立蘭州大学と改称した。1953年に教育部直属の重点総合大学となり、1996年に国家「211工程」、そして2001年には国家「985工程」に入った。また2004年11月に、蘭州医学院が蘭州大学に統合された。

大学には、盤旋路、榆中など6つのキャンパスがある。2000年には、大学院が設立された。30の学院、81の本科専攻を設けている。物理、化学、生物学、地理学、歴史学、生命科学・技術の6分野について、国家級の人材育成基地（‘基地’は、拠点に相当。以下同様）を有している。学生総人数は40,000人余、その中で、本科生が約18,000人、院生が8,000人いる。教職員は4,000人余である。

科学面では基礎研究を特徴とする。寒冷高地、乾燥地区、地理地質、現代物理、有機化学、乾燥農業生態、大気科学、芝生科学、地域経済、敦煌学、西北少数民族、生態環境、西北地方の持続的発展における研究に優れる。「西部に立脚し、全国に向かい、世界へ進む」が大学の方針である。対外的な交流・協力も積極的で、アメリカ、日本、イギリス、フランス、カナダ、ドイツ、オーストラリアの30余の大学や科学研究機構と協力・交流関係を有している。

経済支援と学費

大きく、「国家奨学金」、「国家助学金」、「学校奨学金」などの奨学金に分けられている。そのうち、「国家奨学金」は4,000元、「国家助学金」は1,500元である。

学費は次のとおりである。普通の専攻学科と医学類専攻学科は毎年 4,200 元。人気のある専攻学科（経済学院の全専攻，管理学院の全専攻，法学，ジャーナリズム，放送テレビ，旅行管理，情報科学・工程学院の全専攻，数学と統計学院の全専攻，化学・化学工業学院の全専攻，生命科学学院（生態学を除く））は，年 4,800 元。広告学，英語は年 5,400 元。音楽演技・芸術デザインは年 7,000 元。

入試

主な募集方式は，全国統一入学試験，芸術特長学生（芸術に秀でた学生）の募集，高水準スポーツ選手募集，推薦入学，の 4 種類ある。さらに，「歴史学基地班」（拠点クラス。以下同様），「経済学基地班」，「物理学基地班」，「大気科学基地班」，「核科学・技術基地班」，「数学基地班」を志望する新入生は，入学後にも以下の試験が課せられる。

- (1) 「歴史学基地班」：英語・国語・歴史
- (2) 「経済学基地班」：英語・国語・数学
- (3) 「隆基班」，「物理学基地班」，「大気科学基地班」，「核科学・技術基地班」，「数学基地班」：物理・英語・数学。

その他

卒業生の中には南極を徒歩で横断した秦大河氏，CCTV の報道キャスターである水均益氏もいる。中国科学院院士の李吉均師弟 3 代が「地球三極」（青海チベット高原・南極・北極）で実地調査したことは，学术界の美談として伝えられている。1995 年に米学術誌「サイエンス」によって選出された中国で最優の 13 大学の中では，6 位である。

II. 優等企画～隆基班～

2006 年に，蘭州大学元学長で著名な教育家でもある江隆基氏にちなんだ「隆基班」を創設した。江隆基氏は，学長を務めた 1959 年からの 7 年間に，「勤勉・求实（実際を重んじる）・進取」を旨とした「蘭大精神」を築いた。蘭州大学では，「隆基班」の設立を通じて，本科段階低学年の教養教育と高学年の教育の連携方法を模索している。

養成モデル

基盤となる数学・物理の知識を備え，外国語をどれか 1 つを使いこなし，幅広い人文知識を持つ総合型人材を育成することを目標としている。新入生は 60 名で，これを 30 人 2 クラスに編成している。それぞれ数学・統計学院，物理科学・技術学院に所属させており，これらをまとめて蘭州大学「隆基班」と呼んでいる。物理学者の段一士氏と数学者の陳文源氏がそれぞれのクラスの指導教官として担当し，教育計画を立案に責任を負っている。

入学後の 2 年間は専攻という概念を持たずに、指導教官の指導下で指導計画を実施する。

「隆基班」の講義は単独で設けられており、いわば独立したシステムである。講義は、数学、物理と関連する講義の外に、人文科学とやや高度の外国語も必要とされている。学生は、2 年期末の試験の後に、自ら専攻を決める。さらに、大学では「隆基班」の学生に対し、元専攻とは別に異分野の理工学専攻を選ぶよう奨励している。

本科の段階で、学生は指導教官の下で、科学研究を少なくとも 1 つ完成させ、科学研究論文を書かなければならない。また、社会実践活動にも少なくとも 1 回は参加しなければならない。



華南師範大学

South China Normal University

70年以上の歴史を有する華南師範大学は、文、理、工、法、歴史、経済、管理、教育、体育、芸術など総合的に学科を備えている。「211 工程」に入った重点総合大学である。2001 年に「総合人材養成実験班」（「総合班」と略称）を試行し始めた。その後の 5 年間に、質の高い教育指導資源を配置し、豊かな学習環境や革新養成モデルを通じて、多くの優秀な研究型・実用型人材を養成してきた。

I. 全般的特徴

華南師範大学は、広州市にあり、広州石牌、大学城、南海という 3 つのキャンパスを持っている。

1933 年に教育家林砺儒先生より創立された広東省立勤勤大学師範学院が、その前身である。1951 年に中山大学師範学院や華南聯合大学教育専攻が統合され、華南師範学院に改名された。1978 年に広東省に所属する重点大学となった。そして、1982 年 10 月に華南師範大学に改称された。1996 年には「211 工程」に入っている。

華南師範大学は、70 年以上を経て、25 の学院、61 の学士専攻、75 の修士課程、29 の博士課程などを充実させ、文、理、工、法、歴史、経済、管理、教育、体育、芸術など完全な学科にわたる。約 20,000 人の学部生、3,000 人の修士・博士・課程大学院生が在学している。教職員は 1,500 人ほどである。

経済支援

奨・助学金は以下 5 つの種類が提供されている。①「優秀奨学金」：普通専攻では、年 500～2,000 元。芸術専攻では、年 1,000～4,000 元。②「学習優秀奨学金」：年 500 元、毎回 130 人が獲得できる。③「創新奨学金」：年 500～3,000 元で、人数は限定されていない。④「国家奨学金」：年 4,000 元。⑤「国家助学金」：年 1,500 元。その他、「鎮泰奨・助学金」、「明日のために教学奨学金」、「人材養成工程」などさまざまな奨・助学金が用意されている。

一方、経済的に極めて困難な学生のために、以下の対策がある。

① 経済的に極めて困難な学生に向けた学費免除。新入生総人数の 2%以内に抑えられている。

- ② 在校期間に申請できる国家助学贷款。借金総額や学生人数の割合は銀行と学校の協議より決められる。
- ③ 構内においては助学のために提供されるアルバイト、学外のアルバイトも推薦されている。

入試

優秀な受験生を多く獲得するために、普通入学試験に事前組（全国統一試験の前に行うこの本学独自の試験の受験者）あるいは1組目（全国で第1組と指定された大学群のことで、本学も含む）に第1志願として当大学学部専攻を申し込む優秀な受験生には、特別な優遇が与えられる。

- ① 広東省普通類，事前組あるいは1組目第1志願として華南師範大学各学部専攻を申し込む受験生の試験原始成績が
 - ・第1本科の成績点数より50点以上高い場合，1人6,000元が授与される。ただし，奨励を受ける人数がその専攻採用総数の5%を超えないこと。超える場合は，総成績が高→低の順序で授与される受験生を決めること。
 - ・第1本科の成績点数より80点以上高い場合，1人12,000元が授与される。授与人数は限定されていない。
 - ・第1本科の成績点数より120点以上高い場合，1人30,000元が授与される。授与人数は限定されていない。
- ② 広東省芸術類，事前組あるいは1組目第1志願として・・・(以下略)。
- ③ 広東省体育類，事前組あるいは1組目第1志願として・・・(以下略)。
- ④ 広東省以外の受験生に対して，事前組あるいは1組目第1志願として・・・(以下略)。

卒業生

2002年から2006年の就職率は，非師範類卒業生では，92～99%であり，師範類卒業生では，95～99%である。

卒業生は自主創業を行うことが，広東省より奨励・支持されている。また，卒業後に，農村に教育，農業，医学の各面で支援に寄与させるプロジェクト，農村向けの教育修士養成プログラムの計画，卒業生が西部開発プログラムに参加する計画などに参加することが，大学から支持・奨励されている。

その他

華南師範大学には，大学鄧小平理論学習クラブ，陶行知教育思想研究協会，華南師範大学政治学社，歴史瞭望社，日本語クラブ，旅行クラブ，緑の文明クラブ，心理健康及び個人開発のクラブの他，政治，教育，娯楽などが含まれるさまざまな学生クラブがある。

70年以上の間に、有名な教育家羅浚、汪德亮、古代文学者李鏡池、古漢学者呉三立、歴史学者王越、心理学者阮鏡清、教育学者叶佩華、朱勃、数学学者叶述武、物理学者黄友謀などの著名人が、相次いで華南師範大学で教壇に立っている。

II. 優等企画～総合人材養成実験班～

華南師範大学の「総合人材養成実験班」（「総合班」と略称）は、高等教育の大衆化という背景の下で、優秀な人材の養成モデルを模索するために、2001年に創立された。華南地区で最初に創立された「優秀学生班」の1つである。2006年に、5年間の実践・調査結果を下にして「総合班」の教育指導改革をさらにすすめた。その養成目標は、基礎を強化し、クリエイティブ能力を高めることを理念として、基礎堅実、終身勉強意識と能力を備え、クリエイティブ意識が強く、協調性に優れ、人格が健全な優秀な人材を養成することである。

「総合班」の設立

1. 分類

専攻大分類により数理類、化生類、文史類、経営管理教育類という4つに分かれており、各類に対応して、「綜合理科1班」、「綜合理科2班」、「総合文科1班」、および「総合文科2班」が設置されている。どの班も人数は25人以内と限定されている。「綜合理科1班」は、数学、物理学、光電子学およびパソコン専攻向けである。「綜合理科2班」は、化学、生物専攻向けである。「総合文科1班」は、文学、歴史、哲学専攻向けである。「総合文科2班」は、教育学、心理学、経済学、経営学専攻向けである。

2. 設立

「総合班」学生の選抜では、自主選考として大学入学試験で直接採用する方式と新入生から選抜する方式の2つを組み合わせている。そして、面接にパスすれば「総合班」に入学できる。

養成モデル

1. 「2+2」の2段階養成モデル

1～2年目は基礎学習段階で、その後の2年間は専門学習段階である。最初の2年間では学習指導教員制がとられており、指導経験の豊富な教授が担当する。あとの2年間には研究指導教員制が実施され、院生指導教授が担当する。そして、学生の専攻学習計画を指導したり、学術研究訓練の実施を支援する。基礎学習段階を終了すると、学生は全学どの専攻課程でも履修でき、履修割合の多い課程から学位が授与される。

2. 連携交換養成モデル

国内有名大学との連携により学生を養成する方式を検討している。そして、「総合班」の学生から該当者を選んで送り出すようにしている。さらに、国外や香港の有名大学との協力・交流を拡大し、学生を派遣する。

3. 弾力的学制

規定の履修単位を早めに獲得すれば、一年早く卒業し修士課程で学ぶことができる。

流動管理制度

競争システムを作り、優良な学風を促進するために、公正、公平、公開という原則の下に、流出と流入という形で学生流動管理を行っている。

1. 学生の流出

1年目の終了後に、「総合班」での基礎課程成績に基づいて審査がなされ、不合格者に対しては分流（「総合班」から転出）が行われる。すなわち、次の条件に合致した学生は「総合班」から退出しなければならない。①学校の公共必修課程および「総合班」の基礎課程の中で、1つ以上の課程が不合格となった者。②1年目の全課程のGPAが2.5未満の者。③試験で不正を行ったり、重大な規則違反をした者。④心理ストレス等により「総合班」での継続学習が不相当と診断された者。⑤自発的に退出を申請した者。

2. 学生の流入

1年目の終りに、普通専門の学生が次の条件で、①，②，④に該当するかあるいは③，④に該当する者は「総合班」に入所できる。①1年目のGPAがその専攻順位に上位の5位の中にあるもの。②英語成績が顕著なもの。③創造的能力あるいは研究能力に特に優れているもの。④本人が申請して、学院より許可をもらったもの。

優遇制度

1. 大学から毎年「総合班」に向けて特定の経費が配分される。指導教員制度の実施、指導改革、学生の執り行う科学的研究活動、教育研究指導などの費用が保障されている。
2. さまざまな学習条件が支持されている。相互交流のための専用教室が提供され、ネットワークデータシステムが完備されている。専門学習段階に入った学生は、指導教員の許可の下、実験室が空いていれば自由に使うことができる。図書館では、院生と同じような待遇を受けることができる。さらに、課程や研究課題に関わる書籍を購入するために一定の資料費を獲得することができる。
3. 「総合班」の課程管理および指導改革。校内・外の著名な教員を招聘して、講義を行っている。



中山大学

Zhongshan University

世紀の偉人と言われる孫中山により創設された中山大学は旧中山大学および中山医科大学が統合した総合大学である。80年以上の歴史を経て革命性、科学性、開放性という特徴を形成した。2006年から物理、化学、生物および経済（理科）類専門として入学する新入生から優秀者を120人選抜し「逸仙班」を設立する。本科と大学院教育を接続して、優秀な本科卒業生が直接に大学院進学するという新しい人材育成モデルを模索している。

I. 全般的特徴

中山大学は、広州市の南、北、東及び珠海の4つのキャンパスを持っている。1924年に、世紀偉人孫中山によって広東大学として創設され、1926年には、中山大学に改称された。1985年に国の許可により、華南地区では初めての大学院を設立し、学士、修士、博士を揃える人材育成システムを確立した。現在の中山大学は、2001年に旧中山大学と中山医学大学を統合して出来上がったものである。人文科学、社会科学、自然科学、技術科学、工学、医学、管理科学などを含む総合大学である。約30,000万人の学部生、20,000万人の大学院修士・博士課程生が在籍し、また留学生は1,400人いる。教職員は約13,000人である。

経済支援

奨学金、国家助学贷款、助学金、「補助」（詳細は後述する）、学費免除や、「勤工助学」（アルバイトを提供することによる在学支援）という経済的支援システムが提供されている。奨学金には次の3つが含まれる。①「優秀学生奨学金」は、大学から優秀な在校生に向けたものである。②「種目別奨学金」は、科学研究、社会公益、文芸、体育などの分野で、学校・学院に顕著な貢献をあげた学生に向けたもので、1人800元/年が大学から支給される。③「寄贈奨学金」は、社会团体・個人などから優秀な在校生に向けられたものである。奨励金額は、寄贈者と大学の協議で決められる。2006年までに51種類があった。

国家助学贷款については、学生たちは、家庭の経済状況を考えた上で、大学を通して指定銀行に学費借金申請を提出できる。2006年には、国家助学贷款を得た学生は、1,725人であった。

奨学金には、次の4つが含まれる。①「国家奨学金」は、経済的に極めて困難な学生を対象とし、1,500 元/年が支給される。②「国家奨学金」は、経済的に困難で学業・品行に秀でた学生を対象とし、4,000 元/年が支給される。③「政府奨学金」は、広東省政府から、経済的に困難な学生を対象として、1,500 元/年が支給される。④「寄贈奨学金」は、社会団体、個人などからのもので、経済的に困難な学生を対象とする。2006 年までに 22 種類があった。

「補助」は「一回性困難補助」と「仮の困難補助」の2種類がある。前者は、上級担当部門より与えられる一回性の援助であり、経済困難を極めた学生を対象とする。その「補助」金額は、上級担当部門が発行する文書により決定される。後者は、一時的に経済困難となった学生のために提供される援助である。

学費免除は、経済困難を極めた学生に向けて設置されるものである。原則としてその年の学費から 3,000 元/2,000 元を免除する。1%の在校生がこれに該当する。3,000 元免除となる人数が、その年の免除総額の 30%を超えないようにしている。

「勤工助学」は、貧困な学生を優先し、パソコンデータ入力、図書館での資料整理、家庭教師などの仕事が大学から提供される。実際の労働時間で報酬を獲得し、原則として月額 400 元を上回らないことを条件としている。

入試

全国統一大学入試での選抜のほかに、自主学生募集制度を行っている。優秀な学生選抜のルートを拡大し、創造的精神や総合素質が高く実践能力の高い学生を対象とする。申請条件は、全国各省（自治区、直轄市）で以下の条件を満たす今期の高校卒業生であること。

- ① 卓越した学習能力を持ち、徳・智・体の総合的發展を遂げており、高校時代の成績が上位であること。
- ② 創造的精神や実践能力をもち、数学、物理、パソコン、文学、語学などで顕著な能力や潜在性を備えていること。ただし、高校の成績順位には重点に置かなくてもよい。
- ③ 高度な道徳感や社会責任感をもち、社会活動、公益活動への参加で注目される貢献を行ったこと。
- ④ 文芸、体育などの分野で顕著な能力を備えるもの。

選抜では、大学が申請資料を初審し、A、B という 2 つタイプの資格候補者を確認して、自主募集の総合検定に参加させるという方法をとる。A タイプの資格候補者では、自主募集の筆記試験や面接試験を受ける。筆試科目には、国文、数学、英語が含まれる。一方、B タイプは申請条件②を満たす申請者から選抜するもので、筆記試験を行わず、直接に専門家グループの面接試験を受ける。これらの資格を獲得した受験生は、入試成績調整という優遇政策を受けることができる。ただし、B タイプの資格候補に対しては、自主募集計画人数の 5%を上回らないようにしている。

卒業生

2006年の学士の卒業生のうち、就職先として、約30%の学生が事業機関を選択し約22%が国有企業を選択した。一方、2006年度の学士卒業生を就職地区で分析すると、広州が半分以上を占める。多くの学生が広東省内を就職先を選び、その他の地区に就職したのは6%だけである。また、毎年約30%の卒業生が、修士課程進学や海外留学の道を選んでいる。

その他

中国唯一の世紀的偉人と言われている孫中山先生によって創立された中山大学は、その創立記念日に関する次のような逸話がある。

1924年2月4日に、孫中山先生は2つの「大元帥命令」を命じられたが、そのうちの1つが「国立高等師範、広東法科大学、広東農業専門学校を国立広東大学に統合すること」である。慣例よって、2月4日を中山大学の創立記念日とするはずであったが、実際にはそのようにならなかった。中山先生に敬慕の感情を持ちつつ、国立広東大学委員会は中山先生の誕生日に創立典礼を行うことを決めたのである。そして、中山先生の誕生日を創立記念日とするに至った。ところが、中山先生が自分のために誕生日を祝うことに反対され、誰にも誕生日を教えなかったのである。しかし、中山先生が、11月11日の夜に何人かの友人を招待したことが知れたため、その日が誕生日だと思い込まれてしまった。そのようなきさつで、大学が11月11日を成立典礼の日としたため、新中国の成立までずっとその日が中山大学の創立記念日とされてきたのである。実のところ、中山先生の誕生日は11月12日であった。1951年11月11日、中山大学の学長と副学長が、中央人民政府副主席宋慶齡に、次のような電報を送った。「国内に孫中山先生を記念する唯一の大学として、記念意義を強めるように、今年から我が大学の創立記念日を11月12日（孫中山先生のご誕生日）に変更することを決めました。…」これに対し、宋副主席から賛成の返事が得られた。その後、中山大学では、11月12日が創立記念日となっている。

II. 優等企画～逸仙班～

教育改革の一環として新しい人材育成モデルを模索している。そして、2006年に「逸仙班」を創設した。物理、化学、生物および経済類（理科）の各専門分野に合格した新入生から、入試の成績や学生の志願を基にして、最優秀の人材を120人選抜し、「逸仙班」にて、本科と大学院教育を連携させた人材育成モデルを実践している。「基礎を深め、素質を着目し、個性を伸ばし、創新を求める」という理念を下、学生の科学的素質と創新能力がバランスよく発展を遂げるよう、高レベルで複合型の創新人材を育成することを目標としている。

実施方法

- 1 年目：基礎課程での学習。
- 2 年目：学科類養成：学生が 1 回目の志望として学科選択を行い、各学科類での基礎知識を深める。
- 3 年目：専門課程での学習。2 回目の志望として、物理、化学、生物、経済などの一級学科に入る。そして、指導教官の下、各自に応じた学習法でそれぞれの専門の勉強に励む。
- 4 年目：科学研究訓練や研究生課程の修習。学生は指導教官の下で、科学研究訓練を行い、クリエイティブな意識や実践能力の養成を行う。その間に、卒業論文を完成させ、さらに早めに院生の課程を修習する。合格した学生は、直接大学院に進学する機会が得られる。

管理と優遇

- ① 1 年目から 4 年目まで、学業と健康状況によって調整を行う。2 年目末に、この班の継続参加に関し、学校側と学生側が相互に選択を行い、「逸仙班」に継続参加しない学生は普通班に合流する。
- ② 1, 2 年目の教学管理は、大学か学院のいずれかに任せられている。3 年目に一級学科に入ってから関係の学院により管理される。5 年目から大学院により管理される。
- ③ 入学した年に関係する専門教授名簿をリストアップして、教授側と学生側が相互に選択し、指導教官が学生の興味や能力に基づいて課程の選択や専門性などについて提言し、個性的な養成プログラムを定める。これを、全程（プロセス全体）指導修習制度と呼んでいる。
- ④ 大学は、奨学金、助学金などの面で優遇する。さらに、「逸仙班」の卒業生に対して、榮譽証書を授け、学生のプライド感や責任感を強化する。



吉林大学

Jilin University

中国の高等教育体制の改革に伴い、2000年に、旧吉林大学、吉林工業大学、白求恩医科大学、長春科技大学、長春郵電学院 5 大学が統合した。吉林大学は、国家から大学生文化素質教育基地（‘基地’は、拠点に相当。以下同）と認定されており、国家基礎科学研究所や教育訓練基地が7つある。人文科学、理科および医科の3つの「実験班」が設けられている。そして、学士－修士－博士というシステムを設けている。

I. 全般的特徴

吉林大学は、中国東北地方長春市に位置し、6つのキャンパスを有している。旧吉林大学は1946年に設立されたが、東北行政大学をその前身とする。2000年には、旧吉林大学、吉林工業大学、白求恩医科大学、長春科技大学、長春郵電学院の5大学が統合し、また2004年には中国人民解放軍軍需大学とも統合し、現在の吉林大学となった。吉林大学は、教育部直属の全国重点大学の1つであり、「211工程」と「985工程」に入った国家重点経営大学でもある。

哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、農学、医学、管理学、軍事学の12の学科が存在する。約40,000人の学部生、20,000人の修士・博士課程大学院生が在学している。教職員は約6,000人である。

吉林大学は、2006年から、3学期制度が実施され、“両長一短”学期となっている。すなわち、春季学期（2月下旬～6月下旬）、短学期（8月上旬～9月中旬）、および秋季学期は9月中旬～1月中旬である。3学期制は単位制の実施に役立っている。

経済支援

「大学奨学金」、「社会奨助学金」などがある。「大学奨学金」は、成績優秀者のための「新入生奨学金」、「学年総合奨学金」、「個別奨学金」を含む。毎年全学の約35%の学生が「学年総合奨学金」と「個別奨学金」を獲得している。「新入生奨学金」を獲得した学生は、専門を改めて選び直すことができる。「社会奨助学金」は、企業、個人、校友によるものであり、2007年には約35種類が提供された。経済的に困難であるか成績優秀な学生

のために設置されたものであり、年 500～5,000 元の範囲である。

吉林大学は、経済的に困難な学生に対して勤労就学の機会を提供するため、吉林移動通信会社と契約を結び、100 個の勤労ポストをもたらした。

入試

選考は、全国統一大学入試に基づいて行われるが、大学には推薦入学制度もある。推薦の対象は、高校 3 年の成績が一貫して学年の上位 20%以内の者で、以下の条件のいずれか 1 つを満たす者である。

- ・省レベルでの優秀学生。
- ・高校の段階で、全国レベルの数、理、化などのオリンピックコンテストに参加し、省レベルの 1 等賞か、若しくは全国レベルの 1, 2, 3 等賞を獲得した者。
- ・高校の段階で、全国青少年科技クリエイティブコンテスト、「明日小小科学家奨励活動」(将来科学者になるような子供を励ます活動)、全国中小学パソコン制作活動で全国レベルのコンテストで 1, 2 等賞を獲得した者。
- ・高校の段階で、国際科学と工程コンテスト、国際環境科学研究項目オリンピックコンテストで賞を獲得した者。

大学では、全国統一大学入試の前に自主選抜を行い、総合能力試験を行っている。総合試験の成績と高校 3 年の成績によって選抜を行う。募集人数は毎年 30 人程度である。

II. 優等企画～人文科学実験班～

吉林大学の「人文科学実験班」(以下、「実験班」と略称)は、2006 年に設置された。文学院に所属する。その養成企画は他の学科と違い、独立した教育計画を作っている。単独で学生を募集し、クラスの教育、学生生活などを管理する。文系各学院の教授を委員とする学生学習指導委員会が設置されており、主に学生の履修、学習内容と方法、人格の育成などの面で指導を行う。

養成目標

「実験班」の趣旨は、「専門性よりも基礎教育に重点を置き、各人に合った指導方法を取り、グループごとの育成を行う」ことである。低学年共通基礎教育、高学年専門教育という養成モデルを採っている。第 1, 2 学年では専攻を細かく分けずに、共通教育が進められている。低学年の共通基礎教育科目は、全校共通科目と共通基礎科目からなる。全校共通科目には、英語、政治、体育、コンピュータと共通選択科目が含まれる。共通基礎科目には、高等数学、人文および社会科学の諸科目が含まれる。

大学の学科状況、専門設置状況、養成目標などについてある程度把握できたら、第 2 学

期末に、自分の志望で文学院の諸専門の中から専攻を選択する。そして、一般には第4学期末に最終的な専攻を決める。学生には、論文の作成が要求される。第2学年で、論文1編、第3学年で副専攻の卒業論文1編、そして、第4学年で主専攻の卒業論文1編が要求される。高学年の学生は、関係のある学院で専攻課程を学習し、各専門の必修科目と任意選択科目を履修する。

単位制と弾力的な学制が試行されている。「実験班」特有の教育計画に基づき、学生は教員の指導の下で、履修科目を自由に選択する。公共基礎課程、共通選択科目および関連ある専門科目を履修して、所定の単位数を修得できれば、卒業できる。履修年数は、3～6年の間で弾力的に考慮される。

優遇制度

導師制が実施され、学生は、入学から卒業まで、文系諸学院の教授からなる学生指導委員会の指導を受けることができる。学院は、新生に指導教員を配置し、1人の指導教員が4人までを指導する。また、本科－大学院教育の一貫制が行われる。学部卒業後、大学院入試を受けずに推薦で大学院に進学することができる。推薦率は他の一般の学科より高い。学生は、他の学科の科目を撰修あるいは補修することが奨励されている。そして、学部生の段階でも大学院の科目を履修することができる。

文学と史学の2学位制度が実施されている。学生は卒業時、主専攻の学士学位を授与されるとともに、第2学科学士の学位が授与される。



廣西大学

Guangxi University

廣西大学は、1928年に国家教育部と廣西壮族自治区が提携して経営しているものであり、「211工程」に入った重点総合教学研究大学である。哲学、経済、法律、文学、理科、工科、農業、管理など9つの学科がある。日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、カナダなどの大学や研究機関と交流があり、留学生を多く受け入れている。2004年に、優秀な人材を育成するために「特別培養班」が設立された。外国語、数学、コンピュータの能力を強化し、科学的素養などで質の高い人材を養成することを目的とする。

I. 全般的特徴

廣西大学は、廣西省の南寧市に位置し、307ヘクタールのキャンパスを有する。1928年に設立された。20の学院と1つの教学部があり、哲学、経済、法律、文学、理科、工科、農業、管理など9の学科がある。教師は約1,900人、本科学生は約20,000人、大学院生が約4,300人である。

実践能力が高く、創造力ある優秀人材を育成するために、廣西大学では、実験室の建設に力を注いでいる。実験センターが25あり、教学研究用器械と設備の投資金額は3.5億元である。

日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、カナダなどの大学や研究機関と交流しており、留学生を多く受け入れている。また、500名以上の教師と科学研究員を国外に送り出し、科学技術研究の提携を促進している。廣西大学は、国家教育部が最初に留学生の受入を指名した大学の1つであり、1962年以来、既に40ヶ国の本科生と修士生を育成した。

経済支援

「大学奨学金」、「国家奨・助学金」、「社会奨・助学金」が提供されている。「大学奨学金」としては、コンテストを受賞した個人と団体を奨励する「廣西大学学長奨学金」（年間総額10万元）や、農林畜牧業専攻生を対象にした全額の「専攻奨・助学金」がある。そのうち、「専攻助学金」は、品行・学力に秀で経済困難な学生に提供されている。「国家奨・助学金」は、奨学金と助学金の2種類に分かれる。「国家奨・助学金」は国家教育部によって配分され、「社会奨・助学金」は企業、個人、校友によって提供されるものであ

る。無利息返済奨学金，免除と後納付なども提供されている。また大学では，経済困難な学生に長短期アルバイトを提供している。大学は極めて優秀な学生には卒業まで援助される。2005 年以来，中国銀行と廣西大学の提携による「利息返済奨学金」が提供されている。

入試と卒業

選考は，一般的に全国統一大学入試に基づいて行われる。2007 年は，53 の本科専攻，理科，工科，農業，文学，経済，管理，法律，哲学などの学科に対し，本科学生 4,090 名，少数民族学生 550 名の募集規模であった。また省外の学生の募集規模を拡大している。

大学では就職活動を重視し，「供需（供給側と需要側の）交流，企業と学生の相互選択」の国家就職方針の下で，（ある範囲内ではあるが）自己意思により就職させるという趣旨を採っている。職業専門訓練も行われている。

その他

水牛体細胞クローン技術，野生油菜单細胞致病变種効能遺伝子組学などの研究では，世界一流になっている。高純度蔗糖低重合糖の研究は中国のトップであり，産業実用化の段階に入っている。コンクリートによるダム建設技術と物権法の研究は，国内に大きな影響を与えている。

II. 優等企画～特別培養班（特別な養成クラス）～

「特別培養班」は 2004 年に創立された。主要専攻を完成すると同時に，外国語，数学，コンピュータなどの能力を強化し，科学素養，創造力，実践能力を持つ高素質の人材を育成することを目標としている。

選考では，思想健全で強い知識欲を持ち，大学入学試験の点数がその専攻の上位 15% 以内の理工系の新入生を対象にしている。自己意思で応募し，大学の数学と英語のテストを受ける。そして，成績の上位から合格者を選んでいる。

養成モデル

本科の学年は 4 年で，その中の 3 年は強化教学である。具体的には，「特別培養班」の学生は，元の専攻の授業と活動を離れず，その教学と日常管理は数学・情報科学学院に所属する。最初の 3 年に，夜と土曜を利用して約 900 時間の「特別培養班」の授業（数学，英語，コンピュータ）を受講する。そこでは，レベルの高いテキストや外国語テキストを利用して，できるだけ「双語」（外国語と母語）で授業をする。導師制を採用し，優秀な先生が学生各人を指導する。そして，学生に対して，英語，コンピュータ，数学などの全

国レベルのコンテストに向けて競争力を高めることにより、大学院への進学率を高めるようにしている。「特別培養班」に対して特段の貢献を行った教員に対しては、奨励的評価が適用される制度もある。各学院には、学生の後期培養管理の担当員がおり、学生の特徴によって管理する。専門基金を設置し、教務処が「特別培養班」の教学と基金使用状況を定期的に監督する。

優遇制度

「特別培養班」の学生は、図書館で大学院生と同じ待遇を受けることができる。優秀さの判定は当該専攻の元クラスにて行う。「特別培養班」特設の授業に対しては、そこでの成績の点数に1.2を掛けて（最高100点まで）総合成績に加算することができる。

特設授業では、教材以外の費用は求めている。経済的困難な学生の場合は、「特別培養班」で必要な費用は免除される。また、「特別培養班」専用の教室が設置されるという優遇措置もある。

特設授業と普通の授業にすべて合格した学生には、「特別培養班の修了証明書」が授与される。

「特別培養班」では淘汰制を採用しており、淘汰された学生は「特別培養班」の優遇措置を受けることができなくなる。具体的には、以下のいずれかに該当した学生は、淘汰される。

- ① 専攻の授業で2つ以上が不合格になる。
- ② 1つの Semester で授業の無断欠席が10時間以上に達する。

(以下略)



東南大学
South East University

東南大学は1902年に創立された三江師範学堂を前身とし、その後、学部を増設・分離を幾度も繰り返して現在に至っている。2004年には20年以上におよぶ「強化班」の運営経験に基づき、優等企画として呉健雄学院を設立した。呉健雄氏は、中国のキュリー夫人と讃えられた科学者である。当学院は、東南大学エリート教育の「人材育成特区」である。「電子情報類強化班」、「機械動力類強化班」、建築・土木分野の「楊延宝班」および「高等理工実験班」がある。

I. 全般的特徴

東南大学は、四牌楼、九龍湖、丁家橋などのキャンパスからなる。工学を特徴とするが、そのほかに、理学、医学、文学、管理学、芸術学など多学科を有する総合大学でもある。東南大学の前身は、1902年に創立された三江師範学堂である。その後、両江師範学堂と南京高等師範学校に分割され、1921年になって、南京師範高等学校を基礎とした東南大学が誕生した。その後も、学部を増設・分離を幾度も繰り返し、現在の東南大学に至っている。教職員数は6,000人余である。また、全日制在校生は約26,000人で、そのうち大学院生が9,000人以上在籍している。

経済支援

優秀な学生を経済支援する源として、「高考奨励」と奨学金の2種類がある。前者は、全国大学統一試験での成績が優秀な学生に交付されるもので、所在の省で20位以内に入った者には20,000元、50位以内の者には10,000元が交付される。後者には、「東南大学校長奨学金」、「校友奨学金」、「企業奨学金」、「単項（特定項目）奨学金」が含まれる。また、経済困難な学生を支援すべく、「貸学金」、「勤工助學」（アルバイトを提供することによる在学支援）、「困難補助」や学費免除、社会資助などの制度が設けられている。「貸学金」は、家庭が経済困難な学生に対し、入学後600元/年の国家助學貸付を申請できる制度であり、江蘇省籍の学生は出身地での申請が可能である。「勤工助學」は、大学が300万元の「勤工助學基金」を設立し、経済困難な学生が学内でアルバイトをする際の報酬に充てている。「困難補助」とは、経済的に極めて困難な学生に対して、大学が一定の補助を与え、学業をサ

ポートするものである。また、特別に困難な学生に関しては、全額もしくは部分的に学費を免除することとなっている。

入試

選考は、一般的には、全国統一大学入試に基づいて行われる。新入生は入学後、大学による再審査を受け、不合格者は入学資格を取り消されることもある。その他、自主選抜や推薦入学制度などがある。自主選抜の対象は次に挙げた条件のいずれかを満たす者である。

1. 高校在学中に、全国レベルで行われた数学、物理、化学のオリンピック大会の省ブロックにおいて、2位以上の成績を修めた学生。
2. 高校在学中に、東南大学専門委員会が認める全国レベルの大会で受賞経験を有する理系学生、または省レベルで1位を獲得した理系学生。
3. 高校在学中に、東南大学専門委員会が認める発明を行った理系学生や創造力がとりわけ豊かな理系学生。
4. 高校3年の成績が一貫して優秀で、学年で上位10%の学業で人物に優れ、省レベルの重点高校に在学している理系の学生。

試験の流れとしては、1次審査にパスした受験生に対し、数学、物理、英語の基礎的な筆記試験と心理測定を行う。そして、これらに合格した受験生の中から、数学と物理の成績をもとに合格者を決める。

推薦入試の対象者に関しては、高校在学中に全国レベルの数学、物理、化学の3つの科目のオリンピック大会で、省ブロックで1位、全国の決勝戦まで勝ち進んだ後に、1位、2位、3位の成績をおさめた者などとしている。1次審査に通過した学生に対し、数学、物理、英語の基礎的な筆記試験と心理測定を行い、必要に応じて面接も行う。

その他

東南大学の敷地内には、六朝松と呼ばれる高さが10メートルにもなる松の木がある。1,400年もの歴史を持つこの大木は、六朝時代に梁の武帝が植えたものとされており、それゆえ六朝松と呼ばれている。校友の間で母校のシンボルとして崇められ、例年卒業する学生ばかりでなく、母校を訪れた国内外で活躍する卒業生たちも必ずその側で記念撮影をするという。

また、学術交流の場を積極的に設けており、楊振寧、丁肇中、ジャン＝マリー・レーン、ジョルジュ・シャルパクといったノーベル賞受賞者も大学を訪れた。

II. 優等企画～呉健雄学院～

呉健雄学院は2004年2月に創設された。その前身は、1985年9月に成立した東南大学

「少年班」にさかのぼる。

学院名は、本学の校友である呉健雄氏（1912－1997）にちなんで命名されたものである。呉健雄氏は世界的に著名な物理学者であり、専門は放射線物理学である。弱い相互作用におけるパリティの非保存を実験で検証した業績で知られ、多くの科学者から物理学界のファーストレディ、中国のキュリー夫人などと讃えられた。

学院では、大学の優良な資源を活用して、優秀な人材育成モデルの実践に努めている。まず、「電子情報類強化班」と「機械動力類強化班」を設立した。ここでは、学科の種類に基づいた「2+2」養成モデルを用いており、情報科学・工学、電子科学・工学、計算機科学・工学など9つの大きな分野をも含んでいる。また、2006年には建築・土木関連の「楊延宝班」、その翌年には「高等理工実験班」を設けた。本学院に在学している学生の総数は552人であり、そのうち「電子情報類強化班」が352人、「機械動力類強化班」が105人、「高等理工実験班」が15人である。「楊延宝班」の2学年（合計79名）の学生の教育、指導や日常管理等は、本学の建築学院と土木建築学院が共同で管理している。

養成モデル

「2+2」養成モデルでは、最初の2年間に、数学、物理を含む現代理科基礎、計算機応用基礎、外国語応用能力や自主学習、研究能力など、主要な基礎教育の強化を目指す。残りの2年間では、それぞれの専修コースに分かれ、呉健雄学院と当該分野に関連のある学院の管理の下で、専門知識、科学研究および実践能力の強化を目指すものである。

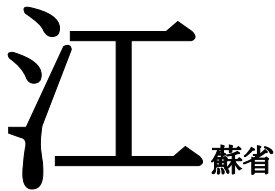
既述の「楊延宝班」に関しては、学生の教育指導や日常管理を本学の建築学院と土木工程学院が共同で行い、長期にわたる学生の選別制度を用いて人材養成を行っている。また「高等理工実験班」は、人材養成モデルとして、単独募集、独立したクラス編成、導師指導、特別な養成などの方式を実行している。

なお、学院での学習に相応しくないと見なされた学生は入学時に採用された学院に戻らなければならないが、随時、他の学院から優秀な学生を迎え入れる制度を採っている。

選考等

「電子情報類強化班」、「機械動力類強化班」および「楊延宝班」の学生は、推薦された学生と一般の受験生の中から選抜する。電気系専攻、機械動力系専攻、土木専攻で採用された全国统一試験で優秀な成績を修めた学生と推薦生は、書類を受け取ったのちに申請用紙を提出し、審査後当学院の各班に転入することができる。「高等理工実験班」に関しては、「高等理工実験班」に志願した受験生の中から単独で募集する。

卒業後は、8割の学生が進学の道を選んでいる。



南京大学

Nanjing University

南京大学は、100年以上の歴史を有している。現在、中国教育部に所属し、「211工程」と「985工程」に入った重点的研究型大学である。「基礎教育を強化した上での専門教育」の理念を1989年から実行し、2006年には匡亚明学院が設立され、「大文科」、「大理科」の理念が実行されている。

I. 全般的特徴

南京大学は国家教育部に直属する重点総合大学である。国内で非常に長い歴史を持った高等教育機関の1つである。

南京大学は、「六朝古都」の南京にある。1902年創立以来、三江師範学堂、两江師範学堂、南京高等師範学校、国立東南大学、第四中山大学、国立中央大学などの時期を経て、1949年国立南京大学と名前を改め、翌年南京大学とし、今に至っている。1952年に全国高等教育機関の「院系調整」（機関間及び機関内部組織の調整）が行われ、工学、農学、師範等の部分の学院を分離したのち、1888年創立の金陵大学文学院、理学院などと統合。そのまま南京大学と名乗り、学校の所在地を四牌楼から鼓楼金大の元の場所へ移転した。現在の南京大学は鼓楼、浦口、仙林3つのキャンパスがある。在学者数41,600余で、そのうち、博士、修士課程の大学院生は約9,900人いる。

経済援助

大学には多種の奨学金があり、経済面で貧困な学生を対象とした国家補助金貸付、「勤工助学」（アルバイトを提供することによる在学支援）、学費減免制度もある。奨学・補助金額は高額で、受けることができる範囲も広い。50%ほどの学生が各種奨学・補助金を受けることができる。「勤工助学」について、大学には「勤工助学」の職場があり、現在毎月平均で850余名の学生が学内でアルバイトをし、毎月300～400元の収入を得ることができる。学費減免制度について、大学では「先貸後免」措置を実施している。家計に問題がある学生にはまず貸付を行い、その貸付後1年以内の総合的態度により学費の減免を奨励することができる。全部で3等級に分かれており、1等は全額学費免除で、割合は全学生総数の1%、2等は学費半額免除で、割合は全学生総数の2%、3等は学費30%免除で、

割合は学生総数の3%となっている。

入試

南京大学の学部生募集定員は、3,000人程度である。選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。

その他の選考に関して、2006年に南京大学は、国家教育部の音頭で学生の自主募集・選抜を行っている。自主募集の対象は、①省レベル以上の重点高校に在学し、成績がトップランクに入っている者、②高校の段階で、全国レベルの数学、物理、化学、生物、情報学の5科目のオリンピックコンテストに参加し、省レベル1等賞、あるいは2等賞を2つ獲得した者、③全国「創新英語作文大会」の優勝者、「新概念英語作文大会」1等賞の獲得者、④高校の段階で、国際学科大会で受賞した者、あるいはある一面で特長を持ち、潜在的な能力を有する者、⑤高校段階で人格が優れ、本人あるいは父母が人を助ける行為「見義勇為」（政府が発行した証明書や新聞紙の報道に基づく）があった者である。大学は全国統一入試の前に自主選抜を行い、書類審査と筆記試験が含まれる。自主選抜の学生数は150人前後である。また、大学には推薦入試制度もある。推薦対象は自主募集対象とほぼ同じである。

卒業生

南京大学卒業生の就職率は、平均92%にのぼる。その一方、大学院に進学あるいは海外留学する学生は、卒業生全体の48%に及ぶ（2007年データ）。就職した人の40%は、研究機関等に雇用されている。

その他

南京大学の教授と大学院生の姓を名付けた科学研究成果がある。たとえば、「吳孤子理論」など。

アメリカ前大統領ブッシュ、フランス前大統領ミッテラン、ドイツ大統領ヨハネス・ラウ、オーストラリア前総理ホークなど国外の政府要人も南京大学を訪問している。南京大学は積極的に国際協力モデルを模索している。アメリカ、ドイツ、日本等と共同研究センターや研究所などを設立した。その中の米文化研究センターは「出国せずとも留学できる場所」と称えられ、国際舞台で重要な影響力を持っている。

II. 優等学院～匡亚明学院（Kuang Yaming Honors School）～

2006年3月、中国における著名なマルクス主義理論家、教育者、社会活動家である前南京大学長匡亚明（1906－1996）誕生100周年の際、南京大学は基礎学科教育学院を匡

匡亜明学院と命名することを決めた。

匡亜明学院は、主に基礎学科の科学研究と教育に従事する優れた人材の養成を行っている。そして、優れた科学の素質を持ち、人文的素養と寛大で一般的な職務遂行能力、優れた創造能力、自身の潜在力を発揮できる学生を求めている。

匡亜明学院の発展史

匡亜明学院の前身は、1985年に創立された、知的発達の早い少年で構成された「少年部」である。1989年、「基礎学科教学強化部」が創立され、「理系強化班」と「文系強化班」を設置した。同時に「少年部」の学生募集は中止された。「文系強化班」は1989年に一回目の学生募集をした後中断したが、「理系強化班」は今に至る。

1995年、中文学部に「文科強化班」が創立され、1996年に「基礎学科教学強化部」に統合した。1998年4月、「基礎学科教学強化部」の運営モデルを推進するために、南京大学は基礎学科教育学院を創立し、2006年に匡亜明学院と改名した。

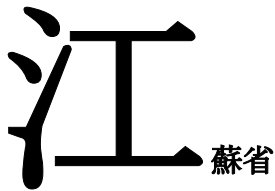
匡亜明学院の教育課程

匡亜明学院は、文科大分類（中文、歴史、哲学を含み、「大文科」と呼ぶ）、理科大分類（物理、天文、地理、地質、大気、数学を含み、「大理科」と呼ぶ）の2分類に従い、カリキュラムを作成している。そして、いくつかの科目を文科と理科の共通科目として設置している。1年目では共通科目、2年目では専門を中心とした課程、3年目は専攻を中心とした課程、4年目は選択履修、研究訓練課程と卒業論文を中心とする。各専門の一部科目は交換履修もでき、学生ができるだけ違う分野の授業をより多く履修するよう奨励している。学際的科学・複合的科学の研究に従事する土台を作ることを重視している。そのうえ、「多重選択、次第に分流、総合考慮」の原則により、1、2年目には、学生が匡亜明学院に所属し、学籍管理と授業は匡亜明学院によって行われる。3年目からは、学生が大学の各学院・学部へと分流（配分）される（「基礎学科教学強化部」は保留される）。学籍は各学院・学部へ変更され、授業は各学院・学部で行われる。匡亜明学院は、現在、南京大学での「2+2」教育モデルの実施と発展の実験地となっている。

選考と優遇制度

現在、匡亜明学院の中の「基礎学科教学強化部」等の学生は、全国大学統一入試の前に単独で募集し、天文、中文、歴史、哲学などは全国大学統一募集中に直接採用する。その他の学科（物理、化学、生物、地質、地理、大気と数学の一部を含む）の学生は、入学後第2次募集を行う。

匡亜明学院生の特権として、学院の各学科は30人を基本とし、卒業時に約60%を無試験大学院生に推薦する。その他、奨学金を多く授与することもできる。



南京師範大学

Nanjing Normal University

南京師範大学の前身は清の時代に創立された三江師範学堂に遡る。その後、幾度もの統合や改名を経て現在の総合的な師範大学に至っている。2001年には、「強化培養」学院が設立された。「強化培養」学院の設立は大学が実施してきた数多くの教育改革の中で、とりわけ優秀な人材の育成を目指した重要な取り組みである。本科教育改革の特区であり、エリートの養成拠点であるとともに、優秀な大学院生を育成する場でもある。

I. 全般的特徴

南京師範大学は、1902年に作られた三江師範学堂をその前身とする。1952年、旧南京大学、金陵大学の一部の学部を基にして、南京師範学院が成立した。そして1984年1月に、学校名を南京師範大学に改め、2000年にはこれに南京動力高等専科学校が加わった。随園校区、仙林校区、紫金校区の3つのキャンパスから成り、約200万平方メートルになる。哲学、経済、法学、教育、文、史、理、工、農、管理などを有する総合的な師範大学である。学生数は約30,000であり、教職員数は約3,000である。

経済支援

「校長特別奨学金」「朱敬文奨助学金」「冯茹尔奨学金」「費孝通奨学金」「恒力発展奨学金」など10種類ほどの奨学金制度を設けている。大学が学生に支給する総額は年600万円に上る。学生が奨学金を受け取る割合は、70%である。また、「国家・省政府助學奨学金」「徳風助學金」「南京師範大学離退休教師助學金」「海協基金会助學金」「愛徳基金会助學金」など10種類余の助學金を設けており、毎年約4,000人の学生に支給している。新入生は入学後すぐに助學金を申請し、審査を経て支給が決定する。さらに、「勤工助學（アルバイトを提供することによる在學支援）基金」や「勤工助學ポスト」が設立されており、学生が労働から報酬を得、學業を修めることを奨励している。学内に1,500ものポストを設けており、年間「勤工助學基金」に約200万円もの資金を投入している。これらのほかに、毎年1,000名近くの学生に対し、国家助學貸付金の手続きを行っている。家計が苦しい学生への學費減免費用は、年間100万円にのぼる。

入試

普通科の志願者は、全国統一大学入試の成績で合否を決めている。音楽系の志願者には音楽の試験が課され、美術、戯劇影視文学（演劇、映画、テレビ関連の文学）、広播電視編導（ラジオやテレビの編集）及び撮影の志願者には美術の試験が課される。一方、推薦入試に関しては、高校時代の成績表を含む資料にて初審を行い、これにパスしたら、さらに総合的な審査を受けることとなる。外国語系の志願者は大学独自の英語の筆記試験と面接が必要になる。

Ⅱ. 優等企画～強化培養学院（School for Intensive Instruction）～

南京師範大学では、2000年9月に最初の文系と理系の「強化班」が設けられた。そして、2001年に「強化培養」学院が正式に設立された。「強化培養」学院には、「文系強化班」と「理系強化班」があり、学院が独自に運営管理を行っている。

2005年現在、「強化培養学院」には約300人の学生がいる。20人余の有名な国内外教員が学院の授業を担当している。単位制を実施しているので、必要な単位を取得すれば、早期の卒業や大学院進学を申請することができる。

養成モデル

「強化培養」学院では「2+2」の培養モデルを用いている。このモデルでは、最初の2年間で基礎的な学習を行い、続く2年間で研究的な学習に当てている。基礎的段階では、専門を分けずに、類似する分野の範囲でカリキュラムを組み、学習を進めていく中で専門を見出すような方針を採っている。研究的展開では、指導教員の下で専門的な知識を学んだり課題研究を行ったりする。

選考と優遇制度

この学院では「文系強化班」と「理系強化班」に分けており、学生募集はそれぞれの班で行う。「理系強化班」に志願した受験生は、全国統一大学入試で理系科目の選択が求められる。合格者の中でとりわけ優秀な学生は、本科と大学院の一貫した教育を受けることが可能となる。また、全国統一大学入試の成績が省で5,000位以内に入った学生には、学費を全額免除する制度を設けている。

大学では、「強化培養」学院の学生に対して、規定外の費用を求めることなく、高水準の教授陣をはじめ優れた教育課程を準備している。また、図書の出借に関し、大学院生の待遇を享受できるなどすぐれた学習環境を整えている。

卒業後の進路

「強化培養」学院における就職率は平均して 95%以上であり、大学院の合格の割合は 50%以上である。3年間で4年間分の単位を取得し、上海财经大学や上海交通大学の大学院に進学した学生がいる。進学先には、北京大学、清華大学など国内の名門大学も含まれる。



南京理工大学

Nanjing University Of Science And Technology

南京理工大学は、国家国防科学技術工業委員会に属する全国重点大学であり、1953年に創立された中国人民解放軍軍事工程学院をその前身とする。「培優班」(優秀生養成班)の前身である「強化班」は、20世紀80年代初頭に発足し、主に南京理工大学の優勢学科を中心に設置された。その後、1999年に「培優班」と改名されている。

I. 全般の特徴

国防科学技術工業委員会に属する全国重点大学で、第1期に「211工程」に入った。前身の中国人民解放軍軍事工程学院は、1953年に創立された、新中国における軍事工業科学技術の最高学府であり、のちに砲兵工程学院、華東工程学院、華東工学院を経て、1993年に現在の南京理工大学と命名された。工学を中心に、理学、工学、文学、経済学、管理学、法律学、教育学などの学科が、総合的にかつ強制的に発展している大学である。

大学キャンパスは、北は紫金山に、西は明城壁に囲まれ、水と緑に富み、居心地がよく、学習と研究に最適な場所である。学部生、院生、留学生などを合わせて27,000人余が在籍しており、教職員は約3,100人である。

経済支援

南京理工大学は、国家による奨学金と助学金、各級政府と企業による奨学金が50種類ほどがある。そのうち、「新城市教育基金奨」は、①南京理工大学を第1志望とする、②貧困問題を抱えている、③大学入試点数が高い、④2006年の新入生を対象とする。奨学金額が5,000元と10,000元の2種類があり、総額が50万元である。その他、経済困難なために学業を中止しないよう、大学側は総額500万元の基金も設置している。国家助学贷款の貸付可能な最大金額は6,000元/年で、利子返還時に国が50%の利子補給を行う。助学金の主な形として、学校側は「勤工助學(アルバイトを提供することによる在学支援)」センターを設置し、「勤工助學」のチャンスを提供している。

入試

全国大学統一入試で選抜するほか、特定の分野に秀でた学生や優れた総合的素質の学生

を前期募集する。募集の対象学生は基本的に、「コンテスト受賞類（数学，物理，コンピュータ，化学，生物とその関係学科のコンテストで省級 2 等賞以上を受賞した学生等）」、「一貫成績優秀類」，「特殊才能類（英語，芸術等の面で特殊なタレントと潜在能力を持つ学生）」の 3 種類に分けられる。南京理工大学は，申請学生の高校時代の成績，学級成績順位，能力等級証明書，表彰状，作品，身分証明書を審査し，筆記試験で基礎科目の理解度を検定した上で，合格者を決定する。

卒業生

90%以上の就職率が 9 年間も続いている。大学は卒業生の就職先の輪を広げるため，国防科学技術工業関係の機関・企業のほか，宇宙飛行，兵器，電子，情報，郵便，機械，化工，建築，金融といった領域の関係企業とも連携関係を築き，卒業生を推薦している。また，「科教興国（科学・教育立国）」戦略の一環として，大学は，北京，天津，上海，江蘇，浙江，広東，福建，山東などの沿海地域における大手企業，研究所，人事部門と人材需給のパートナーシップを作り，地方経済への協力の強化を図っている。毎年，約 1/3 の学生が大学院へ進学し，約 400 人が留学を選択する。

その他

歴史の長い獅子舞は中華民族の伝統的な体育スポーツである。南京理工大学は江蘇省における唯一の獅子舞トレーニング拠点で，獅子舞チームが 2000 年からスタートし，ここ数年以来，全国大会で 5 回チャンピオンを獲得した。チームのメンバーはすべて在学中の優秀な大学生で，そのうち 1 年生が大多数を占めている。

II. 優等企画～培優班～

「培優班」の前身である「強化班」は，20 世紀 80 年代初頭から発足し，主に南京理工大学での重点学科を中心に設置された。1999 年の改革により，「強化班」の各学科における範囲が広げられ，「培優班」と正式に名づけられた。「培優班」は，いわゆる「因材施教」（個人の資質により違った教育モデルを採ること）に基づく教育モデルである。

大学では，大まかな専門類別に「培優班」をスタートさせ，最初の 2 年間は基礎科目の学習を中心とし，3 年目になると，学生が各専門分野に配属され，指導教官の下で専門課程の学習，科学研究トレーニングに参加する。

大学院に優れた人材を推薦する責任を背負う「培優班」は，①基礎知識をしっかりと身につけている，②高い能力を持っている，③イノベーション精神に富んでいる，優秀な学部生の養成，さらに大学院生の予備を目指している，といった養成目標を持っている。

なお，2003 年には，「培優班」の第 1 期生 60 数人が卒業し，そのうちの 44 人が入試免

除で大学院に推薦され、北京大学、清華大学などに進んでいる。

選考

「培優班」は、入学後の第1学期の末から始まる。各学部（院）は申請条件に合う1年生の申し込みを受け付けた後、期末試験の成績をはじめ、各方面の要素を考察した上で、最終名簿を決定する。各要素とは、①道徳面で優れており、国と国民に恩返しする理想を持ち、積極的に前向きな人生観と明確な学習目的があり、先端科学技術への探求意欲を抱えること。②学習態度がしっかりしており、成績が優秀で、考えが素早く、自習能力、観察能力、思考力が強い。学習成績が優秀で、科学技術コンテストの受賞者の場合は、優先的に選抜すること。③心身健康で、体育教育の基本要求に達し、運動を重視する元気な学生であること。

優遇制度

「培優班」は、学生に導師を配置し、学生としては指導教官をあらためて選択する権利が年に1回与えられる。図書館での貸出に関しては、院生と同じ扱いを受けることができる。その他、他の専門や学部の授業を選ぶ特権を持ち、ダブルディグリープログラム、選修科目、履修免除などの多様な自主選択が与えられ、いずれも普通の学部生に羨ましがられている特権である。

大学では、毎年、「培優班」のための特別経費を設け、学生が科学研究を行うための有利な条件を確保し、指導教官、研究費用、研究プロジェクトなど面で優先的に保障を与える。それに加え、優秀学生の選抜、奨励の授与、大学院への入試免除生の推薦などを行う際にも、「培優班」の学生を優先的に推薦する。

「培優班」は実施中に単独で奨学金の評定を行い、実際の状況により奨学金を設置し、ある学科で抜群の能力を持つ学生（2等奨学金を受けた学生は同時に特定項目奨学金をもらうことはできない）を奨励することができる。

養成モデル

1. 「培優班」には、学術レベルが高く、教育経験の豊富で、真剣に教育に取り組む優秀な教師が配置されている。
2. 「導師制」を導入し、学生が導師の下で学習、科学研究トレーニングを効果よく遂げることができる。
3. 「専門分野を広げ、基礎能力を強め、能力を重んじ、素質を高める」という原則に基づき、大学は、毎年ずば抜けて優秀な学生を選抜し、特別の養成モデルを適用する。具体的には、①基礎理論と基礎課程の教育に力を入れて、科学研究を展開するための論理的な下地をしっかりと築く。②英語の語学力、コンピュータの操縦力の向上を

図り、現代の科学技術者として身に付けなければならないツールをうまくマスターできることを目的としている。特に、英語のヒアリング力、会話力、文書の作成力を高めるため、外国人教師を招き、英語の教科書を用いて英語で授業を進めることもある。③学生のイノベーション意識と能力を培うため、実験の形による選択履修科目を開設し、実験に必要な条件を整え、学生が教師の指導の下で設計的かつイノベーション的な実験を行ってみることを奨励する。④良好な文化教養と健康な心理素質を目指して、「培優班」では必修、必読、選択履修などの多様性に富んだ形で学生に人文教育と心理素質トレーニングを展開する。

4. 本学科（院）以外の学科（院）が開設した授業を履修することが歓迎されており、大学の関係規定に基づき、履修免除、出席免除も可能である。
5. 学生が各自の個性を発揮し、自主的に学習できるよう、「培優班」で、課程内容、課程体系、教育方法・手段、学業審査・評定などの改革を試験的に進める。そして、科学的に「培優班」を管理し、教育の全体的な効果・利益を重んじる。
6. 先端科学技術、優秀な学者と接触できるより多くのチャンスを作り、知識面を広げる。①大学内外の専門家が「培優班」の学生に各学科に関する講演を行う。②学生と教授との理解を深めるため、大学側は定期的に双方の面会を設定する。



ハルビン工業大学

Harbin Institute of Technology

ハルビン工業大学は 80 年以上の歴史を有する。50 年代以来、国家が重点的に経営してきた大学である。現在のハルビン工業大学は、2000 年にハルビン工業大学とハルビン建築大学が統合したものである。「高レベル人材の養成と教育改革の模索」を目指して、1993 年に実験学院が成立された。学院では学士一貫教育モデルを実施し、「創造単位制」をとり、学生の創造的活動を奨励している。

I. 全般的特徴

ハルビン工業大学は 1920 年に創立された。1954 年国家から最初に指定された 6 つの重点大学の 1 つとなった。1996 年に、国家「211 工程」の下で重点的な扱いを受ける大学の 1 つとなった。さらに 1999 年に、国家「985 工程」の重点経営校の 1 つとなった。2000 年には、ハルビン建築大学とハルビン工業大学が統合し、新しいハルビン工業大学が設立された。

現在のハルビン工業大学は工学を主として、理学、文学、人文、外国語学科も併せ持つ総合大学である。本学には、21 の学院、66 の本科、147 の修士課程、81 の博士課程が設定されている。在学生約 48,000 人、専任教員約 2,900 人である。

キャンパスは、中国東北地方で最も大きな政治・経済・文化の中心都市、ハルビンにある。

経済支援と学費

大学は各種の奨学金を設置している。たとえば、「優秀新入生奨励金」、「国家助学ローン」、「特別困難生経済補助金」、「社会援助基金」などを提供し、経済理由で退学する学生がいないよう保証する。実験学院の学生の 9 割は、奨学金を受けている。

学費は専攻により異なる。コンピュータ科学と技術、オートメーション化、通信工学、電子情報工学、金融学、建築学、広告学、国際経済と貿易（文理）、環境工程などの専攻の学費は 5,500 元/年。ラジオ・テレビの編集・脚本作り専攻は 8,000 元/年。芸術設計専

攻は 9,000 元/年。ソフト工程専攻は 1～2 年目が 5,500 元/年，3～4 年目が 15,000 元/年。その他の専攻は 4,000 元/年。

学生宿舎の寮費は宿舎の備品状況に応じて，600 元/年，800 元/年，1,200 元/年の 3 種類がある。

入試

近年，ハルビン工業大学の学部生募集定員は，6,000 人程度である。選考は一般的に，全国から学生を募集し，全国統一大学入試に基づいて行われる。

その他の選考に関して，本学は学生の自主募集・選抜を行っている。自主募集の対象は，①省レベルの重点高校に在学し，理科系の者（浪人を対象にしない），②成績が優秀で総合素質が優れたもの，③優れた科学技術的創造力と実践力を持つ者である。また，大学には推薦入試制度もある。推薦対象は自主募集対象とほぼ同じである。ただし，推薦入学の対象者と認められた場合，筆記試験なしで入学できる。

進路

ハルビン工業大学の就職率は，国内の高等教育機関の中では高いほうである。近年，卒業生の就職率は，95%以上になっている。大学院への進学率は 40%に及ぶ。

その他

ハルビン工業大学は，古くから国際的・開放的な大学である。数少ないロシア・日本教育モデルの試行校であった。現在，24ヶ国および地域の 126ヶ所の高等教育機関・企業と友好交流関係を結んでおり，共同で大学院教育を行う。国際宇宙航空大学（ISU）のアジアにおける唯一の常設分校である。

中国高等教育機関の学長のうち，100 人余がハルビン工業大学の卒業生である。中国科学院・中国社会科学院の院士のうち，80 人余がハルビン工業大学を出ていた。

II. 優等企画～実験学院～

実験学院は 1993 年に設立された。学院は「高レベル人材の養成と教育改革の模索」を趣旨として，学士・修士一貫教育モデルを実施している。「個性化教育」と「弾力的管理」を理念に，「専門性の育成，基礎の強化，厳格分流，創造性の優先」を原則にして，基礎知識・創造性の育成に重点を置きつつ，「責任感，自信，好奇心，持続力」といった総合的な素質の育成にも力を入れている。学院の教訓は，「誠実な品格，広い知識，独創的な能力，あきらめない精神力」である。

学院は 13 回の学生募集を行い，現在の在籍者数は 2,000 人余である。1994 年から機械，

電子 2 専攻において、当年大学入試の高得点者を採用した。2004 年から、募集対象専攻に土木建築、管理科学および工程と理学系を追加した。

養成モデル

学生の育成は 2 つの段階に分けられる。1 つは 3 年間の「基礎教育」であり、実験学院で行う。もう 1 つは 3 年間の「研究と工程教育」であり、各所属学院で行う。

実験学院のカリキュラムの設置は「集中」と「分散」の 2 方式を採用している。学院では、専攻分野に応じて基礎科目を設置する。数学理学に対する基礎レベルの要求が高い。英語に対する要求は、第 1 学期に英語検定 4 級試験合格、第 2 学期に英語検定 6 級試験合格、第 3、4 学期はリスニング、スピーキング能力の強化訓練を行う。第 6 学期は修士課程英語科目の学習を完了させる。一部の専攻に関しては、その専攻の学生と同様に授業を履修し、その専門基礎知識を学ぶ。

実験学院の創造活動

学院では「個性化養成」と「弾力的管理」を実施し、学生の自主的学習、個性的成長に良い環境を作り上げている。学生は授業以外の時間に自分の関心で自由に様々な「研修科目」に参加したり、学科コンテストに出たり、課題研究に取り組んだりすることができる。

それと同時に学院は、「創造単位制」を実施し、学生の創造活動を奨励する。実験学院が成立して以来、66 人は国際レベルのコンテストで、136 人は国内のコンテストで賞を取っている。学生による創造活動が盛んで、科学創造作品はすでに 200 項目に、公開機関誌に載せられており、学術論文は 140 本に至っている。

実験学院の管理

1. 「分流」（本科－修士継続の資格の取り消し）

基礎教育段階において、以下の事情に当たる者は、「分流」される。本人の希望により、新学年が始まる時期（当年の秋）に本来所属する学部に戻り、学部の学業を続けることができる。

- ① 1 科目、あるいは 1 科目以上の必須科目の試験に不合格の場合。
- ② 基礎教育が終わる時点で、国家大学英語検定 6 級試験に不合格（425 点以上）の場合。
- ③ 基礎教育が終わる時点で「第 2 教室」の創作累積点数が 3 点未満の場合。
- ④ 健康状態により 3 ヶ月以上の学習に耐えられない場合。
- ⑤ 試験でのカンニングなど、学校規則に違反し、「厳重警告」あるいは「厳重警告以上」の処分を受けた場合。

2. 「反弹」(本科一修士継続の資格の回復)

- ① 1科目の必須科目の不合格により「分流」された者は、第1回目の追加試験で合格し、以下の条件に満たす場合、「反弹」を申請することができる。
 - ・累積して4科目(体育・軍事理論を除く)の試験成績が優秀(90点あるいは90点以上)であること。
 - ・県レベル、国レベル、国際レベルの学科コンテストにおいて1位、2位の賞を、学校レベルのコンテストにおいて1位の賞を獲得したこと。
- ③ 1科目の非必須科目の不合格により「分流」された者は、第1回目の追加試験で合格し、以下の条件に満たす場合、「反弹」を申請することができる。
 - ・累積して2科目(体育・軍事理論を除く)の試験成績が優秀(90点あるいは90点以上)であること。
 - ・県レベル、国レベル、国際レベルの学科コンテストにおいて1位、2位の賞、学校レベルのコンテストにおいて1位の賞を獲得したこと。

3. 「反弹」不可能

- ① 累積して3科目あるいは3科目以上の必須科目の不合格により「分流」された者は、「反弹」できない。
- ② 「嚴重警告」あるいは「嚴重警告以上」の処分を受けた者は、「反弹」できない。
- ③ 基礎教育修了時、国家大学英語検定6級試験に不合格(425点以上)の者は、「反弹」できない。
- ④ 健康状態により3ヶ月以上の学習に耐えられない者は「反弹」できない。
- ⑤ 基礎教育修了時、「第2教室」の創作累積点数は3点未満の者は「反弹」できない。

湖 南省

湖南大学 Hunan University

湖南大学は、中国有数の塀がない高等学府である。1000 年以上前に設立された岳麓書院をその原点とする。岳麓書院は、湖南文化の形成と発展に大きな影響を及ぼし、この文化の揺籃や発祥地と言える。現在の湖南大学は岳麓書院の精神を継承しつつ、新時代の人材の育成を進めている。優等企画としての李達実験班は、2003 年に設置された。自然科学、社会科学、人文科学の各実験班がある。

I. 全般的特徴

湖南大学は、中国歴史文化名城である長沙市にあり、南と北の 2 のキャンパスがある。

2000 年に、旧湖南大学と湖南財経学院の 2 校が統合して現在の湖南大学となった。2003 年に旧計算機高等専門学校が計算機通信学院になることで、湖南大学の規模が拡大した。湖南大学は教育部に所属し、「211 工程」と「985 工程」に入った全国重点大学である。湖南大学は湖南高等学堂を前身とし、1926 年に現在の名称と相成った。さらにその前身は、976 年に設立された中国四大書院の 1 つである岳麓書院である。岳麓書院は「千年学府」と呼ばれ、現在は湖南大学の重要な学院として、中国伝統文化と湖湘文化の研究に高い評価を受けている。

湖南大学は、30 の学院と大学院があり、学科は哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、管理学、医学などの 10 種類にわたる。学部生数は約 21,600 人で、大学院生数は約 9,700 人ある。教職員は 4,500 人である。

経済支援

湖南大学の経済支援には、「大学奨学金」、「国家奨・助学金」、「会社奨助学金」、「助学贷款」などがある。「大学奨学金」は、優秀な学生を集めたり在籍する学生を奨励するために設定されたものであり、「新入生奨学金」、「総合奨学金」、「専項（特定項目）奨学金」の 3 種類がある。「新入生奨学金」は、1 年生を対象とし、入学成績に基づいて授与される。

「総合奨学金」は、大学 2 年以上を対象とし、学生の品行・成績に基づいた奨学金であり、「特等奨学金」、「1 等奨学金」、「2 等奨学金」、「3 等奨学金」などがある。「専項奨学金」は、何らかの面に特に秀でた学生を奨励する奨学金である。「国家奨・助学金」は、「国家

奨学金」と「国家助学金」の 2 種類に分かれる。そのうち、「国家奨学金」は、品行・学力共に優れ、しかも経済的困難さが認められる学生を援助し、1 人 8,000 元/年が授与される。「国家助学金」は、経済が特に困難な学生に提供され、年 2,000 元/年が授与される。「会社奨助学金」は、会社によって設置されたもので、会社の基準に従って奨学金を授与する制度である。「助学贷款」は、現在の湖南大学では比較的よく使われる経済支援の 1 つである。湖南大学が中国銀行と提携し、経済困難な学生に資金を貸与する。学生は中国銀行と契約すれば、年 6,000 元程度の金が支給される。4 年間の借金は、卒業後の 2 年間以内に返却すれば利子を支払わずに済むが、2 年を超過すると低利子が徴収される。

費用

2006 年から単位制学費の制度（履修単位ごとに学費を払う制度）が試行された。湖南大学には統一的に一単位に 80 元である。必須単位は、各学院によって異なるが、各学院は必須単位によって授業料を徴収する。大雑把に見ると、一番金額が高いのはアナウンサー関連専攻で、1 年の授業料は 13,000 元である。その次はデザイン関連で、年 8,000 元が必要である。一番安いのは経済学、財政学、統計学、行政管理などで、4,600 元である。そのほかの専攻分野は大体 5,000～6,500 元の間にある。

入試と卒業

湖南大学の学生予定数は約 5,500 人程度であるが、近年、質の向上に向けて数を減少させる傾向にある。大学統一入試以外の特別選考に関し、2005 年に湖南大学は他の 14 重点大学と同時に、学生の自主選抜が可能な改革実験校となった。自主選抜試験に参加できる学生は、以下のいずれかの条件に合致するものである。

- ① 高校 3 年の文系、理系の成績が全学年の上位 20%以内であること。
- ② 発明、文学、言語などに特別な才能を持つこと。
- ③ 高校の段階に良好な活動等の面で市レベル以上の受賞を得たこと。
- ④ 「全国創新英語作文コンクール」に優勝すること。

以上に該当する者は申請書類を提出し、大学からの資格審査を受ける。パスした後は、2 次試験を受ける。2 次の試験考査には、筆記試験と面接試験がある。そこで選抜されたら大学入試試験を受けることになる。そしてこれに合格した学生は、自分の第 1 志望専攻に優先的に採用される。あるいは、大学の「李達実験班」にも入ることができる。また、舞踊、楽器、体育などの分野に秀でた者も募集する。その代わりに、選抜された学生は日常的に訓練を行い、学校の代表として様々な試合に出場する。その他、推薦入学制度も用意されている。推薦の対象は、高校の段階で数、理、化などのオリンピック競技に全国レベル 3 等賞以上を得る者である。推薦された学生は大学の筆記試験と面接試験に合格した後、大学入学試験を受けずに入学できる。

卒業に関し、湖南大学では、1年間に200回程度の「宣伝会」（企業状況の紹介、新社員の募集などをする）がある。また、毎年12月に「双選会」（学生と企業の相互選択）を開催する。

その他

ここ10数年間、湖南大学出身の全国大学の学長（党委書記を含める）は30人余りになった。これは、「学長現象」と呼ばれている。地区別を見ると、その学長数は湖南省が一番多い。具体的には、湖南大学のほかに、湘潭大学、中南林業科技大学、長沙理工大学などを含めて16人程度がいる。また、蘭州大学、華南理工大学、北京工商大学などの学長も湖南大学の出身者がいる。

岳麓書院が主催する「千年論壇」の講演者には、余秋雨、Robert Mundell、季羨林、金庸、張朝陽、李学勤などのような国内外の名家がいる。また、魏源、曾國藩、左宗棠、黄興、陳天華、毛沢東、菜和森、李達、鄧中夏などの著名人は、湖南大学で学習したか教授したことがある。

II. 優等企画～李達実験班～

「李達実験班」は2003年に設置された。李達（1890－1966）は、湖南省零陵県出身で、哲学者、教育家として著名な人物である。1949～1952年に湖南大学の学長に就任した。現在、「李達実験班」は、「自然科学実験班」、「社会科学実験班」、「人文科学実験班」という3つに分けられる。前2者は、それぞれ2003年に創立された「李達理科実験班」と「李達経済管理類実験班」を前身とする。「人文科学実験班」は、2007年に設置された。

養成モデル

「李達実験班」は、品行・学力共に優れた人材や国際的に競争力のある人材を養成するために設立された。その趣旨は、湖南大学の学生の総合的な能力を向上させることである。

現在、「李達実験班」は「2+2」という養成モデルを実行している。1～2年時には、基礎教育を強化する。3～4年時には、学生の志望する専攻を選択する。そして、導師の指導で課程を履修する。

2007年の「李達実験班」の学生定員数は100名である。以前の定員数（90名）より少し増加させている。選考のための資格は、以下の全条件に合致する者である。

- ① 今年の高卒卒業生（浪人を除く）であること。
- ② 科学的素養があること。
- ③ 知識欲が旺盛で学習力が高いこと。
- ④ 大学入試成績が優秀で、英語と数学の成績が125点以上（満点150点）であること。

条件に合致する者は申請を行い、審査に合格したら、「李達実験班」で学習する。

なお、大学では、「李達実験班」の質を維持するために競争制度を敷いており、1年ごとに審査を行う。審査にパスしなかった学生は元の学院に戻らなければならない。全審査に合格した学生の50%程度が、大学の推薦で無試験で大学院に入ることができる。

優遇制度

- ① 「李達実験班」の導師は、原則として、博士号を取得しているか、助教授以上の優秀な教員である。導師1人が1～4人の学生を指導する。
- ② 学生は導師の推薦により、優先的に大学の学科コンテストと SIT (Student Innovation Training) に参加できる。また、導師の研究プロジェクトにも入ることができる。
- ③ 施設利用に関して、さまざまな優遇措置がある。例えば、図書館では院生と同じ待遇を得られる。
- ④ 奨学金の申請と大学の推薦で大学院に入ることなどの面で、優先権がある。
- ⑤ 大学は指導委員会を設置し、主に「李達実験班」の実行の効果、発展企画、運営方針、導師の評定などの役割を分担する。指導委員会の責任者は副学長である。

現在の中南大学は、中南工業大学、湖南医科大学、長沙鉄道学院が2000年に統合してできたものである。優等企画として「基礎実験班」があり、「物理基礎実験班」、「化学実験班」、「生命科学技術教学改革実験班」、「医学教育国際基準化教学改革実験班」などが運営されている。1996年時点では2年制であったが、2002年に4年制になった。

I. 全般的特徴

中南大学は歴史・文化都市である長沙市に位置し、湘雅、鉄道、本部という3つのキャンパスがある。

現在の中南大学は、かつて衛生部に所属していた湖南医科大学、鉄道部に所属する長沙鉄道学院、および教育部に所属する中南工業大学が2000年に統合して出来たものである。湖南医科大学の前身は、1914年に創立された湘雅医学大学であり、長沙鉄道学院の前身は1953年に創立された中南土木建築学院である。また、中南工業大学の前身は1952年創立の中南鉱冶学院である。

中南大学は、総合研究型大学で、29の学院および大学院を設けている。学科は、工学、理学、医学、文学、法学、経済学、管理学、哲学、教育学、歴史学の10種類がある。約32,000人の学部生と、約18,000人の修士・博士課程の大学院生が在籍している。教職員は約6,800人である。

経済支援と学費

経済支援として、授業料の免除、授業料の徴収猶予、奨学金、助学金、助学贷款などの措置がある。授業料の免除と徴収猶予は、経済的に困難な学生に提供するものである。中南大学では40種余の奨学金を設けており、年約2,950万円の奨学金を提供している。主なものに、「大学奨学金」、「国家奨・助学金」、「社会奨・助学金」がある。毎年、全学の58%ほどの学生が奨学金を獲得できる。「大学奨学金」は「新入生奨学金」、「総合奨学金」などを含む。「新入生奨学金」は1, 2, 3等賞に分けられ、それぞれ2,000元, 1,000元, 500元が授与される。「国家奨・助学金」は、2007年以来、「国家奨学金」、「国家励志奨

学金」，および「国家助学金」の3種類となっている。このうち，「国家奨学金」は品行・学力共に優れたまた経済困難な学生を対象とし，年8,000元を授与する。「国家励志奨学金」は，学部2年生以上を対象とし，品行・学力共に優れ，また経済困難な学生に年2,500元を授与する。「国家助学金」は，経済的に困難な学生を対象とし，年1,000元を援助する。また，大学が中国銀行と提携し，経済的に困難な学生に無利息でお金を貸与するというシステムもある。

中南大学の授業料は，湖南省の物価の水準を基にして定めた。授業料が最も高いのは近年人気のソフトウェア開発関連専攻で，年約8,950元である。比較的安いのは鉄鋼物開発関連専攻で，年約3,400元である。（医学部を除く）その他の専攻の授業料は，5,000元程度である。医学部はやや高く約7,500元である。宿舎に関して，中南大学では，3種類の部屋が提供されている。学生は家庭の状況によって宿舎を選ぶことができる。宿舎内の設備はほぼ同じであるが，部屋の定員が少し異なる。4人，5人，8人部屋があり，部屋代はそれぞれ1,200元，800元，600元である。

入試と進路

中南大学の新入生の募集規模は8,150人ほどである。選考は，一般には全国各地から大学入学試験の成績に基づいて採用する。各省の受験生の総合的な状況に基づいて募集定員数を確定するが，湖南省の募集定員が一番多く，約2,300人である。新入生は入学後，3ヶ月以内に大学から総合的な再審査を受け，不合格者は入学資格をキャンセルされることもある。

その他，2005年以来，他の多くの重点大学と同じく，学生の自主募集・選抜が行われている。大学では自主募集・選抜の条件を定める。大学は，応募生に資格審査をし，さらに筆記試験と面接を行う。これにパスしたら，大学入試に参加する。これに合格したら，優先的に本大学の学生になるか，大学の特別企画班に入る。自主募集は，以下のいずれかの条件に合致していなければならない。

1. 省レベル以上の重点高校に在学し，高校3年間の各学年で成績が上位30%以内の学生。
2. 高校で，全国レベルの学科コンテストに省レベル2等賞以上を受賞した学生。
3. 刊行物で3回以上発表した学生。
4. 新概念作文コンクールと全国創新英語作文コンクールに優勝した学生。
5. 道德面で，省級レベル以上を受賞した学生。

次に，体育，芸術の面に優れた学生も募集する。学生が自分の証明書類などを大学に提出・申請してから，大学からの身分審査を受ける。その後は大学からの筆記試験と面接を受け，合格したら大学入試を受けずに大学生になる。

また，大学は「保送生」（高校の推薦で大学に入学できる学生）も募集する。「保送生」

資格を持つ学生は以下の2種類に分けられる。1つは、極めて優れた学生で省レベル以上の受賞を受けた者。もう1つは、全国オリンピック学科コンテストで省レベルの1等賞か、全国レベルの3等賞以上を受賞した者。これらの条件に合う学生が申請すると、大学の資格審査を受けることができる。その後、筆記試験と面接に合格したら、無試験で入学できる。

卒業生の平均就職率は、近年6年連続で95%に達している。教育部所属の大学の中で10位ぐらいにある。就職先に関し、一番多いのは企業で約50%である。その中で一番多いのが国有企業で35%である。その次は、大学院への進学で約16%である。教職と官庁は、僅か8%と2%である。

その他

学長の黄伯雲をリーダーとするグループは、2004年に、過去6年間「空席」であった国家技術発明1等賞を獲得した。科学研究に関し、国家重点実験室が4室あるほか、国家級大学科学技術パークも所有している。中南大学出身の卒業生が富裕層になる比率は、教育部に所属する重点大学の中で上位6位にある。

II. 優等企画～基礎実験班～

中南大学の「基礎実験班」は「物理基礎実験班」、「化学実験班」、「生命科学技術教学改革実験班」、「医学教育国際基準化教学改革実験班」などとなる。1996年には2年制であったが、2002年に完全な4年制になった。

養成モデル

「基礎実験班」の学生は数多くの分野の知識を身につけることで、創造力を養成する。「基礎実験班」は、化学と物理に関連する専攻の新入生から選抜する。選抜された学生は組に分かれ、「化学実験班」か「物理実験班」で学習する。大学1,2年時に、数学、物理、化学などの基礎課程を強化する。3年からは、基礎課程を履修するとともに、選抜前の専攻の主な課程も履修する。4年時には、指導教官の指導の下で研究グループに入り、卒業論文を完成する。

「情報教学改革実験班」（以下、「情報教改実験班」と呼ぶ）は「基礎教育+特色教育」というモデルで行われる。1,2年の基礎教育では、主に数学、物理、外国語などの基礎科目を強化する。1,2年時には、学生を集めて講義する。3年からは元の専攻クラスに戻って学習する。指導教官の指導で課程を履修し、研究のテーマを決定する。また、導師の科学研究活動にも参加できる。4年時に、学業に余裕がある学生は修士課程も履修できる。

選考

中南大学を志望し、大学入試で高成績をあげた受験生と「保送生」の中から選抜する。選抜を対象とする専攻は、実験班の種類によって異なる。「化学実験班」では、化学工程・工芸、応用化学、生物工程、冶金工程、環境工程、材料科学・工程などである。「物理実験班」では、応用物理学、土木工程、工程力学などである。

「基礎実験班」の募集規模は、1クラス35名の定員である。「基礎実験班」では淘汰制度を導入している。毎年の後期が始まる前に前期の全体的な状況を検査し、不合格となった学生は元のクラスに戻されることもある。

「情報教改実験班」では、情報関連の専攻の学生を募集する。大学入試で成績のよい学生と高校で学科コンテストに優勝した学生は、いずれも応募できる。募集規模は「基礎実験班」と同じく約35名である。

優遇制度等

学校の施設の利用面では、院生と同じような待遇が享受できる。「基礎実験班」の中に、特等奨学金も設立されている。各種類の奨学金の獲得率は95%に達する。「基礎実験班」の学生は卒業後、約80%の学生が大学の推薦で大学院に進学している。



華中科技大学

Huazhong University of Science and Technology

華中科技大学は、武漢市にある。国家「211 工程」と「985 工程」に入った国家重点大学である。2003 年に教学管理制度「単位制」をスタートさせた。2007 年には、その人材養成モデルに基づいて優秀な学生を養成するために、電気・電子系と機械・建築系で、それぞれ「電気類提高班」と「機械類提高班」を設立した。

I. 全般的特徴

華中科技大学は、中国中部地方の湖北省武漢市に位置する。国家教育部に直轄される国家重点大学である。元華中理工大学、同濟医科大学、武漢都市建設学院、科技部幹部管理学院の 5 つの組織が、2000 年に統合して出来上がった大学である。国家「211 工程」と「985 工程」により構築されてきた初の大学でもある。歴史的には、1954 年に設立された華中理工大学の前身となる華中工学院にまで遡る。

同大学には、工学、医学、管理学、理学、哲学、経済学、法学、教育学、文学、史学、農学の 11 の学院がある。在学生の数は 70,000 を超え、そのうち、院生は 12,000 余である。同大学は、国家生命科学と技術人材育成基地（‘基地’は、拠点に相当。以下同様）、国家模範性ソフトウェア学院、国家集積回路人材育成基地、国家工学基礎課程教学基地などの国家級の人材育成基地を持っている。

経済支援

支援システムとしては、奨学金制度、国家助学ローンシステム、学費減免制度、学校パートタイマー助学制度、補助金制度がある。

このうち、奨学金制度には、「優秀新入生奨学金」、「人民奨学金」、「国家奨学金」、「国家助学金」、「社会奨学金」がある。総額は 1,800 万元で、これらの奨学金が受給される学生の比率は 40%である。学生に一番身近なのは「人民奨学金」であり、これはさらに、「勉強優秀奨学金」、「勉強進歩奨学金」、「科学研究奨学金」、「自分向上奨学金」、「優秀学生幹部奨学金」、「娯楽活動優秀奨学金」に分けられている。「国家奨学金」は、毎年 4,000 元が支給されるとともに当学年の学費が免除される。「国家助学金」は月ごとに支払われ、

毎月 150 円で毎年 10 ヶ月分が支払われる。

国家助学ローン制度には、2004 年 9 月から新しい方式が導入され、これは経済的困難な学生の学費問題を解決する主なルートとなった。1 人につき最高定額毎年 6,000 元である。ローンが受給される比率は全学の 20%で、返済期間は学部（学士課程）を卒業してから 6 年間である。

学校パートタイマー助学制度に対しては、学校側から毎年 500 万元が投じられる。

補助金制度には、経済的に極めて困難な学生に対して、「定期補助」と「臨時補助」があり、毎年総額 1,000 万元が用意されている。

なお、学費は次のようである。芸術類専攻学科は 9,000 元/年。ソフトウェアエンジニアリングは、1~2 学年 5,850 元/年、3~4 学年 400 元/単位（毎年約 40 単位）。他の専攻学科は 4,500 元/年か 5,850 元/年。その他、宿舍代は住宅条件によって年 1,000 元か 1,200 元である。

入試

主な募集方式は、全国統一入学試験と推薦入学である。普通の受験生（推薦入学を除き）は全国統一入学試験での各科目を受験する。推薦入学、芸術特長生（芸術に特に秀でた学生）、高水準スポーツ選手、自主選択採用の試験は、大学が用意した試験問題にて行う。

その他

キャンパスの緑化率は 90%以上、「森の中の大学」と称賛される。2003 年に、全国大学生電子工学設計コンクールの最高であるソニーカップを勝ち取った。2005 年にも、同コンクールで 1 等賞を 12 個獲得し、全国で総数が 1 位となった。

II. 優等企画～電気類提高班と機械類提高班～

極めて優秀な学生を養成しその養成環境を造るために、2003 年から新しい教学管理制度「単位制」を押し進めている。

そこでは、情報、機械、土建環（土木・建築・環境）、電気、医学、管理、文科という大まかな学科類を構築し、一部の学生をこの大分類に合わせて養成していく。1 年時には、学科の大分類を越えて専攻を変えることができるようになっていく。2 年生になると、当該の大分類の中でしか専攻を変えることができない。そして、授業の選択制度を推進し、学部生の学業指導と指導教官制度を実施している。

この新しい人材養成モデルに基づき、2007 年には、優秀な新生を対象にした「電気類提高班」と「機械類提高班」が設置された。

1. 「電気類提高班」

「電気類提高班」(以下、「提高班」と略称)は電気・電子エンジニアリング学院に属し、大学教務局はさまざまな面で指導と協力を行う。学生に応じて異なった教育方法を施しており、また「提高班」事務室と教学指導組という組織を設けている。事務室には主任と副主任を設け、それぞれ、教学に責任のある副院長と学生事務担当の副書記が兼任することになっている。教学指導組は学術と教学レベルの高い教員で構成されており、学生の養成の企画立案や教学研究などに責任を負っている。

選考

選考の範囲は、電気・電子エンジニアリング学院、水道電気・デジタル化エンジニアリング学院の新生に限られている(推薦入学を含む)。その選考では、新機軸を打ち出す心が強く、成績が優れ、勉学の潜在能力と能動的な実行能力を持ち、発展が見込める学生が求められている。個人の申請を必要とし、その後試験と面接によって、成績のよい順に採用する。

培養モデル

最初の2年間には数理科学とコンピュータ基礎を強化し、それに続く2年間では電気エンジニアリングとオートメーションの専攻で、養成を図る。「提高班」の学生に対しては、学部-大学院を一貫した人材培養モデルを実行しており、4年前期に入ると、大学院を希望する学生にはその選考が課せられる。

「提高班」の学生は皆、実践能力を高めるために、大学生電子工学設計コンクールに参加しなければならない。

学籍管理については、淘汰制度と転移制度を実行している。つまり普通のクラスで成績・能力もよい学生は、自己申請を行い、考査に合格すれば「提高班」に入ることができる。一方、以下の条件の何れかに該当する学生は、退去しなければならない。

- ① 1年あるいは2年の授業の平均点数が75点以下；1つ以上(1つの場合も含む)の授業に不合格で、平均点数が80点以下；2つ以上(2つの場合も含む)の授業に不合格となる者。
- ② 警告或いは警告以上の処分を受けた者。
- ③ 体の健康状態が「提高班」の勉強を続けられない者。
- ④ 自由意志で退きたい者。

優遇制度

各学生には指導教官が配置され、個別の養成プランを立ててもらえることができる。そし

て、その指導下で、科学研究で訓練を重ねることができる。推薦入学で院生になれる比率は、当「提高班」の学生総人数の60%である。

各奨学金の金額は、普通クラスの学生の2倍である。また、勉学優秀奨学金の受給比率は、適度に高めることができる。

図書館とコンピュータの利用に関しては、「提高班」の学生は勉学特別優等生と同じ待遇を受けることができる。

2. 「機械類提高班」

機械科学とエンジニアリング学院に属する。この選考範囲は、機械科学・エンジニアリング学院、エネルギー源・動力エンジニアリング学院、交通科学・エンジニアリング学院、材料科学・エンジニアリング学院、土木エンジニアリング・力学学院、建築・都市企画学院、環境科学・エンジニアリング学院の新生（推薦入学も含む）に限られている。3年と4年になると、機械設計製造・オートメーションの専攻で、養成される。「機械類提高班」の学生は皆、大学生機械設計コンクールに参加しなければならない。

以上に述べた以外の点については、「電気類提高班」と同じである。

湖

北省

中国地質大学

China University of Geosciences

武漢市にあり、国家レベルのハイテクノロジー開発区に隣接する。中国地質大学は、2000年に「創造型人材養成計画」制度を設けた。そして2003年に鉱物資源に関する優秀な人材を西部地域に提供するために「西部地鉱人材養成拠点」を設立した。さらに、地学、理工、経済管理等に関する「単位制」や「導師制」を特徴とする「李四光計画」を、2007年度から実施している。

I. 全般的特徴

中国地質大学は、武漢市の東湖景勝地に位置し、国家級ハイテクノロジー開発区に隣接する。1952年に創立された北京地質学院はその前身である。1970年に北京から移出し、1975年に武漢に定住した。1987年に前国家教育委員会の許可を得て、中国地質大学に改名した。中国地質大学には、学院が22、本科生専攻学科が62ある。学部生、修士・博士課程大学院生、留学生合わせて約21,000人が在学し、教職員の人数は3,000人に上る。大学の財産権面積は112.54万㎡である。

経済支援

大学は年に学費総額のある比例を占める資金を出して、経済的に困難な学生にアルバイトを提供し支援する。「地質大学奨学金」、「中国石油奨学金」、「中国石化奨学金」など経済的に困難な学生を対象とする奨学金が設立され、品行、学力に優れている学生を対象とする奨学金もある。そのうち、特定項目奨学金は22種類があり、その他奨学金は15種類がある。また、「奨励、貸付、補助、軽減、免除」というシステムを形成し、数多くの経済的に困難な学生に学業修了を援助する。

入試

中国地質大学では全国統一大学入試にもとづいて学生選抜するほか、2006年から、総額5%の学生を自主募集によって選抜するようになった。

地球鉱物資源分野の人材を必要とする中国西部地域に優秀人材を提供するために、2003年に「西部地鉱人材養成拠点」を設立した。新疆、青海、甘肅などの省で「定向生」（就

職先がすでに予定されている学生、または就職先から派遣された学生）を募集して、就職先のためにプロの人材を養成する。「定向生」募集計画が立てられる地域での受験生が当大学を第1志望にすれば、選ばれる可能性がある。専攻された学生は在学期間の学費は就職先から支払ってもらい、それに定向に関連する奨学金を申請できる。卒業後は就職先に戻り就職することになる。優秀人材は学部を卒業してから更に勉強できる。

その他

50年代から、周口店、北戴河、三峡などの地域で実践拠点を6ヶ所設けた。卒業生である温家宝総理は周口店実践拠点で「揺籃」という題辞を書き記した。

II. 優等計画～創造型人材養成計画と李四光計画～

1. 「創造型人材養成計画」

2000年から、中国地質大学は「創造型人材養成計画」制度を設立した。選ばれた学生は1年間で一定の資金援助と導師を配備され、創造活動を展開する。

管理

- (1) 大学側は創造型人材情報管理ペースを設立し、選抜された学生は創造型人材として登録する。
- (2) 創造型人材の選考、育成は1年を周期とし、毎年5月に選考を行う。成果を果たした学生は翌年の育成計画に入ることができる。
- (3) 選抜された創造型人材は、学校創造型人材培養管理チームに本年度の計画書を提出し、年度が終わるとき、成果と経費使用状況報告書を提出する。
- (4) 求めたとおりに任務を果たさなかったり資金使用が不当である場合、学校創造型人材培養管理チーム弁公室が支援資金を返還要求する。

選考

毎年5月に、学生総数の1～2%の割合で、博士課程前後期の大学院生、本科生、専門学科生、成人教育学生から創造型人材を選抜する。その際、以下のいずれかの条件を備えていなければならない。

- (1) GPAが平均3.5以上であること。
- (2) 学校を代表して、省（教育部）、国家が主催する競技に参加し、賞をもらうこと。
- (3) 学校が主催する英語、数学、物理、パソコン、数学モデリングなどの競技に参加し、特等賞あるいは第1位を獲得すること。
- (4) 「校友賞」、「IET賞」、「華鎰賞」、「金象賞」のなかの2賞以上を獲得すること。

- (5) 第 1 執筆者として影響力がある新聞雑誌又は学術定期刊行物に文章又は論文を発表すること。
- (6) 何らかの学業や特技・活動（文学，芸術，制作，発明，ある科目の競技，組織管理，社会活動など）で潜在能力があること。
- (7) 徳育，知育，体育各面に秀でていること。
- (8) 学校創造型人材養成管理チームに認定されたその他の学生。

優遇制度

大学は、創造型人材育成基金を設立し、1 人 500～2,000 元を援助する。学生はそれを自由に使用することができる。特殊な需要があれば、改めて援助を申請できる。実験設備部門から、パソコンの使用時間が 60～80 時間、音声のヒアリングの使用時間が 60～80 時間、大型器械の資格トレーニングの条件が（理工学類学生に）提供される。図書館から大学院生の図書カードを作ってもらえることができる。

2. 「李四光計画」

「李四光計画」（「李四光本科創造型人材養成計画」の略称）は、中国地質大学の前身北京地質学院の主な創始者、中国の石油資源開発に大きく貢献した李四光氏に因んで立てた計画である。「李四光計画」は、全学の本科生を対象としており、2007 年に実施し始めた。

選考

毎年の 5 月、「李四光計画」の申請と選考が始まる。GPA が 2.5 以上、外国語力が高い学部生の 1 年生が自分の申請と学院の推薦によって、選考に参加できる。全学から 30～50 名の 1 年生が選ばれ、2 年生から「李四光計画」に入る。

養成措置

- (1) 導師制：学術の造詣が深く、責任感が強い副教授以上の教員が選ばれ、学生の指導を行う。学生本人が導師を指名することができる。導師の指導に基づいて、学生の養成方案と科学研究トレーニング計画を立てる。
- (2) 単位制：地学類，理工類，経済管理類の関連学科から履修科目を自由に選択できる。所在する専攻の教学計画の制限を受けず、基礎理論の学習，科学素質の育成，実践（実験）技能のトレーニングに重点を置く。規定の単位数を取得したら、早く卒業できる。大学は、学生の主な学習内容に基づいて、卒業の専攻を決める。
- (3) 学生が学術活動や学科コンテストを通して、自分で完成した読書レポート，実験設計，調査報告，工程設計，学術論文，創造発明，及びコンテストでもらった賞などは、それぞれ 1～3 の自主学習単位を獲得する。

- (4) 外国語の学習条件及び大学間の交流学習チャンスが提供され、学生たちの学術視野を拡大し、コミュニケーション能力を培う。

学籍管理及び優遇制度

- (1) 1 学期取った単位が 25 以上で、GPA が 2.6 以上である条件を満たさない学生はもとの専門に戻る。
- (2) 大学が規定する 200 以上の単位を修了した学生は、本科を卒業できる。GPA が 2.8 に達し、英語が CET6 (あるいは TPEFL が 90 点か IELTS が 6.0 点) 以上の学生は大学院 (又は国外の大学院) の推薦と対象となり、専門と指導教官を自分で選択できる。
- (3) 修士生と同じように本を借り、閲覧できる。毎学期パソコンの無料利用時間が 60 時間提供される。大学の実験室が実験の条件を提供し、優先的にこれを利用することができる。
- (4) 学校の奨学金、助学金の資格を有する。学生工作処の審査を経て、奨学金、助学金を発給する。ほかの学生と同様の権利と義務を有する。
- (5) 「李四光計画」に入った学生はもとの学院に管理される。学生たちは仮想クラスを創設し、学習交流を月に 1 回、学習総括を毎学期行う。
- (6) 「李四光計画」を完成した学生と導師に榮譽の証明書を授ける。責任を果たさなかった導師に対しては、学校側は指摘をし、又は導師資格の取り消しを行う。
- (7) 大学は学長をリーダーとする「李四光計画」リーダーチームを設立し、その下に弁公室 (オフィス) を設置し (教務処の名義で)、統一的な調整、管理の責任を負う。

湖

北省

武漢大学

Wuhan University

1893年に、清の総督張之洞により創立された自強学堂を起源とする総合大学である。1992年に、「中仏経済双学士学位試験班」を創設して以来、相次いで「人文科学試験班」、「数理経済と数理金融試験班」、「世界史試験班」、「WTO 試験班」、「中西比較哲学試験班」、「中仏協力フランス語－法学双学士学位班」などを開設した。多学科を複合化した特色のある人材育成モデルである。そこでは、学生の科学的精神と人文的精神の養成を重視している。

I. 全般的特徴

武漢大学は、1893年に清の総督張之洞により創立された自強学堂が起源の重点総合大学である。辛亥革命の後に、北洋政府がそれを下にして、1913年に国立武昌高等師範学校を創立した。そして、1928年7月に国立武漢大学と命名された。

武漢大学は、36の学院・学科および3級甲等附属病院を3ヶ所設けている。本科専攻は108種類で、その中の20種類は国家重点学科に指定されている。教員は3,400人余、中国科学院院士4人、中国工程院院士8人、ユーラシア科学院院士2人、人文社科古参教授8人、973プロジェクト首席科学者が5人いる。総合的科学研究面に実力を有し、国家重点実験室4ヶ所、国家工程技術研究センター2ヶ所、国家野外科学観測研究ステーション1ヶ所、教育部重点実験室8ヶ所、教育部工程研究センター2ヶ所、教育部人文社会科学重点研究基地（拠点、以下同様）7ヶ所、国家基礎科学研究と教学人材育成基地8ヶ所、国家級実験教学模範センター3ヶ所、国家大学生文化素質教育基地1ヶ所を有している。

2006年9月現在で、30,000人弱の学部生、10,000人超の修士課程の大学院生と6,000人超の博士課程の大学院生が在籍している。また約400人の港澳台僑（香港、マカオ、台湾、華僑）の学生と外国人留学生が含まれている。

II. 優等企画～多学科融合人材育成試験班～

人材養成で多様性を実現するのは、人材養成モデル改革の重要な側面である。武漢大学では、総合大学が擁する教学資源の優位性を利用して、単一専攻での養成という殻を破り、

1992年9月に「中仏経済双学士学位試験班」を創設して以来、相次いで「人文科学試験班」、「数理経済と数理金融試験班」、「世界史試験班」、「WTO試験班」、「中国・西洋比較哲学試験班」、「中仏協力フランス語－法学双学士学位班」など開設した。多学科を複合化した特色ある人材育成モデルを創り上げている。これにより、幅広い知識を有機的に連携させ、学生の科学的精神と人文的精神の充実した養成を重視している。

1. 「中仏経済双学士学位試験班」

1992年、商学院に設置されている。国際経済・貿易の基礎理論や基本的な知識および中国対外経済業務の政策法規を系統的に講義する。フランス語、数学とコンピュータ技術をマスターさせ、渉外経済等の仕事にも携わる。卒業時には、経済学と外国言語文学双学士学位が同時に授与される。

2. 「数理経済と数理金融試験班」

1996年、商学院に設置されている。現代経済の理論を理解させ、中国経済と金融改革の問題を分析・解決できるよう、中国の現代化と21世紀の需要に応じて国際的競争力を備える高級専門人材を育成する。現代経済学の基礎理論を強調し、数学モデルと定量分析を経済の研究に導入させる。1,2年時には英語力を強化させ、外国語原書を多用している。

3. 「世界史試験班」

2000年、人文科学学院歴史系に設置されている。外国語能力と西洋古典の学習を強調する。21世紀の発展に応じて、質の高い世界史専門の人材養成を図る。講義ではできるだけ西洋経済・社会・文化の優れたところを吸収し、学生の視野を広げていく。

4. 「WTO試験班」

1999年、WTO学院に設置されている。各自の志願に基づいて、3年時から選択する。武漢大学のWTOと関わる法学、経済学等の学科を統合し開設したものである。学生の元の専攻の学習に影響を及ぼさない範囲で、WTO理論を系統的に身に付けさせる。

5. 「中仏協力フランス語－法学双学士学位班」

2002年、法学院に設置されている。フランス語専攻の新入生の中から学生を選択する。上手にフランス語を使いこなし、渉外法律仕事に携わる複合化人材を養成することを目標とする。学生は、フランス語、英語を身に付けるだけでなく、法学の基本理論と国際法理論を系統的にマスターしなければならない。卒業生は、外交、対外経済貿易、渉外立法、渉外審判、渉外法律公証、独資企業、外資企業、税関、国際機関などに就職する。

6. 「中西比較哲学試験班」

2000年、法学院に設置されている。古代漢語と外国語スキルを強調する。中外哲学知識システムを融合させ、主として儒家哲学、道家哲学、仏教哲学、古代ギリシャ哲学、中世哲学、近代哲学、現代哲学と後現代（ポストモダン）哲学などが含まれる。西洋哲学の講義は、多くは2ヶ国語で行い、一部の講義は外国専門家を招く。また、北京や上海の国内著名人および外国の名高い学者を招いて、短期に特別講義を行うようにしている。

7. 「国学専攻班」

2002年、武漢大学の哲学学院、文学院、歴史学院と高等研究センターが共同で主催したものである。目標は、中国の伝統経学、史学、文学の基本知識、基礎となる典籍および学問研究に対して深い理解を持ち、上手に中国の古典と外字を読むこともでき、コンピュータ、インターネットなどの現代的な手段も身に付ける複合化人材を育成することである。「国学専攻班」の開催は斬新な試みで、教育上において中国古代書院とオックスフォード・ケンブリッジ指導教官の方法を参考にしている。国内外の名家を招いて特定講座を行うこともある。

湖

北省

武漢理工大学

Wuhan University of Technology

2000年に武漢交通科技大学と武漢自動車工業大学を統合して、現在の武漢理工大学に至っている。100校ほどの外国大学と連携を図っている。優等企画としての「教学改革実験班」（「教改実験班」と略称）を有し、材料、船舶・船舶、情報、経済などで25～30名程度の優秀な学生を募集し養成している。

I. 全般的特徴

100余年前に創立された。140年余の歴史を持つ武漢交通科技大学と武漢自動車工業大学が、2000年5月に武漢理工大学に統合された。工学、理学、文学、管理学、経済学、法学、哲学、史学、教育学、医学などの学科を有し、約35,000人の学部生、12,000人以上の大学院生、約160人の留学生と香港、マカオ、台湾の学生が在学している。教員数は3,000余人に上る。機能が十分にそろっている図書館には350万余冊の本がある。学校の敷地面積は4,600余ムー（約667㎡）で、キャンパスの総建築面積は160余万㎡に達する。

武漢理工大学はドイツ、イギリス、日本、フランス、アメリカ、オランダ、ロシア、オーストラリア、イタリアなどの100校の大学と科学研究機構との間に協力関係を結んでいる。

学生の教育に関しては、「2+2」、「3+1」という国際養成モデルがある。つまり、中国国内で2年学業を続けその後の2年を外国で学業を続ける。または、国内が3年で外国が1年という学業スタイルである。これにより、国内と国外の双方から卒業証明書を授与されるというモデルである。

II. 優等企画～教改実験班～

教学改革をさらに深め、基礎、能力、素質各方面で優秀人材を育成するために、大学では、一部の学院で「教改実験班」を設立している。

募集対象

2006 年武漢理工大学で募集する理科の本科生（定向生，委託育成生，国防生以外）である。そのうち，材料化学・工程学院における材料科学・工程専門が 30 名，交通学院における船舶・海洋工程専門が 30 名，情報工程学院における通信工程専門が 30 名，经济学院における金融学専門が 25 人である。



四川大学

Sichuan University

現在の四川大学は、100年以上前に設立された旧四川大学、成都科技大学および華西医科大学が統合したものである。2000年に「四川大学創造性人材総合養成計画」が実行に移され、これを下にして、2006年に呉玉章学院が設立された。これは、「大学直轄と自主管理」という管理体制を特徴とする。「連合養成班」、「創造性人材理工系班」、「創造性人材文系班」および「国際提携班」という4つの養成モデルを有する。

I. 全般的特徴

四川大学は、中国の歴史の中で「天府之国」（資源に富み物産が豊かなところ）と呼ばれている四川省成都市に位置し、望江、華西、江安という3つのキャンパスがある。旧四川大学、成都科技大学、華西医科大学の3校が、1994年と2000年の2度の統合を経て成立した。中国教育部に所属し、「211工程」と「985工程」に入った重点的研究型大学である。旧四川大学は100年以上の歴史を持ち、1896年に創立された四川中西学堂がその前身である。

四川大学は、30の学科型学院と大学院があり、学問分野は文、理、工、医、経済、管理、法、史、哲、農、教育などの11種類にわたる。約40,000人の学部生、20,000人の修士・博士課程大学院生が在学している。教職員は10,000人超である。

経済支援

「大学奨学金」、「国家奨・助学金」、「社会奨・助学金」が提供されている。「大学奨学金」は、「新入生奨学金」、「総合奨学金」、「創造型人材奨学金」を含む。毎年全学の約35%の学生が「総合奨学金」を獲得している。「国家奨・助学金」は、「国家奨学金」と「国家助学金」の2種に分かれる。そのうち、「国家奨学金」は、品行・学力ともに優れた、経済的に困難な学生を奨励し、年4,000元が授与される。「国家助学金」は、経済的に極めて困難な学生が学業を修めるために提供されるものであり、年1,500元が授与される。「社会奨・助学金」は、企業、個人、校友によって提供され、2006年時点で約160種があった。その多くは経済的に困難な学生のために設置され、金額は年1,000～5,000元の範囲

で、極めて優秀な学生には卒業まで援助される。

費用

2003 年から単位制学費の制度が試行された。単位制学費の制度とは、単位取得のために履修登録しようとする個々の授業に対し、個別に学費を支払う制度であり、四川省の場合は、最高が 250 元/単位で、最低が 78 元/単位である。学生によって単位取得の状況は異なるが、大雑把に見て、単位制学費の年間の支払額と 2003 年以前の学年学費の年間の支払額には、大きな差はないようだ。四川大学の 2003 年度単位制学費の標準は、およそ次のようである。哲学・考古学は 4,000 元/年、建築学は 7,000 元/年、工商管理分野は 7,500 元/年、服装設計と工学学分野は 15,000 元/年、7 年制医学は 6,000 元/年、5 年制医学は 5,000 元/年、その他の分野は 4,600 元/年。

入試

近年、四川大学は、学生募集規模を拡大し、学部生だけで 1 学年あたり 10,000 人余り登録している。募集規模は全国で上位 3 位に入っている。選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員比率を確定する。新入生は入学後、3 ヶ月以内に大学の全面的な再検査を受け、不合格者は入学資格を取り消される可能性もある。

その他の選考に関し、2005 年に同大学は、国家教育部の音頭で、学生を自主募集・選抜する改革実験校になり、大学が自主選抜を行っている。自主募集の対象は、①省レベル以上の重点高校に在学し、高校 3 年の成績が一貫して学年の上位 5%以内の者、②高校の段階で、全国レベルの数、理、化などのオリンピック競争に参加して省レベルの 2 等賞以上を獲得した者、③四川大学に認められた文学、芸術、体育などのいずれかの面で極めて優秀な者である。大学は全国統一大学入試の前に自主選抜を行い、筆記試験と面接試験が含まれる。選抜された学生でも全国統一大学入試を受けなければならない。自主選抜の学生人数は大学の年度本科生募集定員の 5%以内に限定されている。また、大学は推薦入学制度もある。推薦の対象は自主募集の対象とほぼ同様である。推薦された学生は全国統一大学入試に参加しないが、大学の筆記試験と総合能力試験を受けなければならない。

その他

四川大学には、学生科技祭、学生芸術祭があり、四川大フォーラムや科技フォーラムなども定期的に行われている。学生が国レベル、省レベルの各種の科技・文化競技大会に参加することを奨励されている。学部生は、延べ 1,400 人が、全国大学生数学模型競技大会、全国大学生英語競技大会、挑戦カップ設計競技大会などの国レベルの競技大会で入賞した。さらに国際企業管理挑戦大会（GMC）で世界チャンピオンになったこともある。

朱徳、楊尚昆、郭沫若、巴金、童第周、馮友蘭、朱光潜、江竹筠、張銓などの著名人は、四川大学で学習もしくは教授したことがある。

II. 優等企画～呉玉章学院～

四川大学の呉玉章学院は、2006年6月に創立された。2000年に実施した「四川大学創造性人材総合養成計画」はその学院の前身である。

呉玉章氏（1878～1966）は、四川省榮県出身、教育学、歴史学、言語文字学分野における有名な人物である。1922～1924年には四川大学長に就任した。

呉玉章学院は、「大学直轄、学院自主管理を主とする」という新型管理体制を行っている。学院の管理権は直接大学に所属し、他の学院と同格の地位を持つ。学院は独立して所属するクラスの教育、学籍、学生生活などを管理する。学院は、導師委員会を設置し、主に学院の発展企画、人材養成計画の審査・修正、教育の質の評価・監督などの役割を分担する。

養成モデル

呉玉章学院は、優秀な学生を養成するための榮譽学院である。その趣旨は、「一流の人材を選抜し、一流の教員を集め、一流の資源を整え、一流の管理を実施し、一流のエリートを養成する」である。学院は、集中居住の養成形式を用いる。第1、2学年において学生には専攻を細かく分けず、基礎教育が強化される。第2学年末に、学生は自らの希望により専攻を選択する。第3、4学年に学生は選択された専攻と関係のある学院で導師制の下で学習を続ける。

呉玉章学院は、四川大学とワシントン大学との「連合養成班」、「創造性人材理工系班」、「創造性人材文系班」、「国際提携班」を設置している。

(1) 四川大学とワシントン大学との「連合養成班」

2000年に設置され、主に国際的競争力を持った創造性人材を養成する。専攻は生態、生物、環境、IT、考古、人類学を包括する。「2+1+1」という人材養成モデルが行われている。すなわち、学生は第1、2学年に自国の大学で学習し、両国の導師の共同研究プロジェクトに参加する。第3学年には両国の大学は相互に学生を交換し、相手の大学で国際化された科目や学科の先端的な知識を持つ課程を履修する。第4学年には交換した学生は自国の大学に戻って学業を続けるという課程を辿っている。

(2) 「創造性人材理工系班」

2000年に設置され、主に強い理工学基礎を持った高素質の理工人材。理工系本科専攻のすべてが含まれている。学生は第1学年に公共基礎課程を履修する。第2学年からは、

学生の自由選択の上、数理類、生化類、電子類などの大きく分けられた学科群による学生を配分する。第3学年から学生は自分の志向と関心によって専攻を選択し、導師の下で専攻課程を履修し、導師の科研活動に参加する。第4学年に学生は留学するか国内で修士課程に入るかを決める。

(3)「創造性人材文系班」

2000年に設置され、文系の本科専攻のすべてが含まれている。第1、2学年では文史哲専門に限らず、学生は人文科学と自然科学の基礎理論課程及び文史哲専門の基礎課程を重点的に履修する。その後の兩年では、学生は文史哲などの理論研究型の専攻あるいは応用研究型の文系学科群の専攻を自由に選択する。また、学生はその両方の専攻課程を互いに選択することができ、第2専攻の主要な課程を履修することが奨励される。

(4)「国際提携班」

専攻や人材養成モデルは、四川大学と国外大学の本科生連合養成協議によって決まる。現在、「2+2」、「2+1+1」、「1+2+1」という養成モデルがある。

選考

毎年全国から四川大学に志望した大学統一試験で高い点数を取った受験生及び推薦生から選抜する。入学1週間以内に、大学により呉玉章学院を応募した新入生に対して総合筆記試験が行われる。大学は、その成績に基づいて、また全国大学統一試験成績及び中学校・高校時代に各種の賞を獲得した状況を参考にした上で、初選抜を行い、面接試験を受ける名簿を確定する。その後、大学内の有名な専門家による面接試験が実施される。また心理・性格テストもある。四川大学とワシントン大学との「連合養成班」に応募した学生は、専門別の面接試験と英語の口頭試問を受けなければならない。

呉玉章学院の募集規模は毎年300人に過ぎなく（現在、募集規模は約200人、在学生総数は500人）、全学新入生定員数の約1.5%を占める。学院規模は1,000人以内に規定されている。学院は競争制度を制定している。すなわち、学院は、第2学期末と第4学期末に、学院の創造性人材養成要求に適應することができない学生を他の学院に移し、同時に他の学院から優秀な学生を選抜する。

優遇制度

学院は、新入生に導師（指導教員）を配置し、1人の導師が4～5人を指導する。また、本科－大学院教育の一貫制が実施されている。学部卒業後、大部分の本科生は大学院入試を受けずに推薦で大学院に進学することができる。現在、推薦率は50%であるが、今後は、80%を目指している。なお、奨学金の面で優遇政策が提供されている。学院設置以来、平均70%の学生は大学、社会、国家奨学金を獲得する。今後、奨学金の獲得率は90%に引き上げられる。また、「呉玉章学院創新奨学金」が設置され、創造力の高い学生に授与さ

れる。

卒業後の進路

2006年現在、呉玉章学院を卒業した学生は、5割以上の人が国内の有名な大学の大学院に進学した。そのうち、多くの方は大学院入試免除で北京大学、清華大学、中国科学院に入学した。また卒業生の約3割の人が外国の名門校に留学した。例えば、ハーバード大学、ワシントン大学など。相対的に就職した人は少なく、2割に達してない。しかし、就職先は、世界トップの500位以内の企業及び国内の大企業が多い。例えば、INTEL, P&G, Siemens, Haier など。



四川省

西南交通大学

Southwest Jiaotong University

西南交通大学は1896年に設立され、早期に「211工程」に入った大学院を有する重点的の大学である。山海関北洋鉄路官学堂、唐山交通大学、唐山鉄道学院がその前身である。今日の西南交通大学は、工科を主として、理科、管理、経済、文学、法律などの多種類にわたる専攻を有する。創造的な人材を養成するためにできた「茅以升班」は、全校から選抜された優秀な学部生からなっている荣誉班である。

I. 全般的特徴

西南交通大学は、中国の歴史の中で「天府の国」（資源に富み物産が豊かなところ）と呼ばれている四川省成都市に位置し、峨嵋、犀浦という2つのキャンパスがある。

現在の西南交通大学は100年以上の歴史を持ち、山海関北洋鉄路官学堂、唐山交通大学、唐山鉄道学院がその前身である。中国教育部に所属し、最も早期に大学院を設置し、「211工程」に入った重点的の大学の1つである。工学系を主に、理学、管理、経済、文学、法律などの多種類にわたる。23の学院と専攻、24の重点学科、27の重点実験室を有する。教師は約2,300名以上であり、その中には中国科学院と工程院の院士も多い。

学校は「埃実揚華、自強不息」（優秀な学生を養成し国力を強め、怠らず努力する）という趣旨、「謹厳に学を治め、厳しく要求する」という教育伝統を持っている。2006年に教育部本科教学優秀評価を得て、当時全国16ヶ所の本科教学先進学校の1つになっている。20以上の国家と地域、50以上の科学研究機関と交流と提携を行い、「中仏4+4」（中国が4大学で、フランスが4大学）の提携学校の1つである。国家交通建設分野で大きく貢献している。

経済支援

「大学奨学金」、「国家奨・助学金」、「社会奨・助学金」が提供されている。「大学奨学金」は、「新入生奨学金」、「総合奨学金」、「専門奨学金」を含む。「国家奨・助学金」は奨学金と助学金の2種類に分かれる。「社会奨・助学金」は企業、個人、校友によって提供されている。ほかに「無利息返済奨学金」、学費免除と授業料納付の猶予なども提供されている。大学は極めて優秀な学生には卒業まで援助をしている。

入試

近年西南交通大学は、学生募集規模を拡大し、学部生と大学院生が 47,000 人登録している。選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員比率を確定する。

その他の選考に関し、国家教育部の主導で学生を自主募集・選抜する改革実験校になり、大学が自主選抜を行っている。自主募集の対象は、四川、重慶、江蘇、浙江、山東、湖南、湖北の 7 省の高校に在学し、品行・学力に優れて心身健康な者であり、次のいずれかを満たせば選考対象になれる。①創造発明、言語、数学、物理、化学、情報などの分野で抜群の才能がある者、②県（中国の行政単位）レベル以上で「優秀学生幹部」の称号を得た者、③高校の段階で 2 年連続して学校レベル以上の「三好学生」（‘三好’とは、道徳、学力、健康の 3 つの面で優れていること）の称号を得た者、④高校 3 年の成績が一貫して学年の上位の者。大学は全国統一大学入試の前に自主選抜を行い、筆記試験と面接試験が含まれる。選抜された学生でも全国統一大学入試を受けなければならない。

卒業生

西南交通大学では、卒業生の就職率は 15 年連続 95%以上になっていて、国内でも高いほうである。大学側は就職活動を重視し、「供需交流、企業と学生の相互選択」と国家就職方針の下、一定範囲で自己意思により就職させるよう計らっている。そして大学は、毎年大卒者を募集する様々な業界を大学に招聘している。卒業生の就職先は主に企業と事業体、外資系企業と大手民営企業であり、大部分の大卒者は電子情報、鉄道、交通、民用航空、電力、金融などの業種の科学研究、教育、管理、工程、生産、経営などの部門に就職している。半数以上の卒業生は北京、上海、江蘇、浙江、廣東などの沿海の経済発達地域に就職している。

その他

西南交通大学は軌道交通、リニアモーターカー交通、高速電車、大規模橋梁トンネル、現代交通情報などの研究分野で大きく貢献している。京張鉄道、宝成鉄道、成昆鉄道、青蔵鉄道、国内初の内燃機関車と電力機関車、人を乗せる高温超伝道リニアモーターカー、1 万トン重負荷列車大秦線、杭州湾大橋、東海大橋の成功建設と、国家レベルの科学科学研究コンテストでも、西南交通大学の先生と学生たちが活躍している。

茅以升、竺可楨、林同炎、張維、黄万里、方俊などの有名人は西南交通大学で学習あるいは教授したことがある。

II. 優等計画～茅以升班～

茅以升氏（1896～1989）は、江蘇省鎮江市出身の橋梁建設専門家である。東南大学、河海工程専門学校、北洋大学、唐山工学院など多くの大学で学長を務め、教育家でもある。銭塘江大橋を建設し、外国人が中国の主な橋を建設していた歴史を終わらせた。西南交通大学は茅以升氏の母校である。

「茅以升班」は、2003年に創立された。全校の本科学生から選ばれた優秀学生からなっている荣誉班であり、西南交通大学の優秀人材を育成する「エリート教育基地（拠点、以下同様）」である。幅広い知識を持って、抜群の創造力があって、心身にも健全で優れた人材を育成するために、高いレベルの教授が課程を担当し、新たな教学モデルを採用し、柔軟な育成体制をとっている。

現在の「茅以升班」には、土木工程学院、機械工程学院、電気工程学院、コンピュータ通信工程学院、交通運輸工程学院、材料科学・工程学院、物流学院に設置されている。

選考では、全国統一試験の点数に基づいて第1段階の選抜を行い、選ばれた学生に知らせ、独自の筆記試験、面接を行っている。

優遇制度については、研究分野の先端知識と科学研究プロジェクトに参加するチャンス、奨学金の給付、大学院への推薦、研究能力の向上を意図した国内外機関への派遣などの政策を採っている。

養成目標

茅以升氏の教学思想を受け継ぎ、「竣実揚華、自強不息」（優秀な学生を養成し国力を強め、怠らず努力する）という学校の趣旨に沿って、学校を経営している。専攻によって選考と育成をする代わりに、学生自らの希望により専攻を選択できる、個性的な養成体制を採用している。科学精神と人文精神を調和して発展するために、人格面、創造力などで優れた人材を育成する。変化の多い世界に直面でき、かつ競争力のある人材を育成するために、幅広い知識を持たせている。より良い学術雰囲気を作ろうと、学生の熱意と創造力を呼び起こしている。

多分野の知識、創造力、遠大な理想と目標をもって、工程と関係分野で科学研究力、開発力と国際競争力があるレベルの高い人材を育成するのが目標である。

養成特徴

1. しっかりとした理科の基本的知識を持たせる。数学と理科の基本的知識を強化し、理科と工科を合わせ、高級工程技術人材を養成するために堅固な基礎を作る。
2. 英語、コンピュータ応用能力を伸ばす。実際に外国語を活用させるために、外国語の授業を増やすほかに、主な専攻の課程で「双語」（外国語と母語）で授業する。コ

- ンピュータ課程には、総合的課題を出し、学生のプログラミング能力を高める。
3. 学生は全学院範囲で専攻と指導教師を選び、指導教師の下で個性的な教学計画を立てて科学研究訓練を積む。学生ごとに個性的な計画や、学生の発展による計画の修正もできる。
 4. 国際交流を促進し、学生の国際競争力を伸ばす。定期的に国内外の有名学者と専門家を招き、講座と学術シンポジウムを開催している。学生に全世界の高レベルな大学と企業で短期インターン、勉強、研究開発、コンテストと見学訪問を行うという国際工程実践教学システムを採用している。
 5. 創造意識と創造力を伸ばす。重点実験室、省級人材養成基地、国家基礎課程教学基地などの教学資源は、「茅以升班」に優先的に配分する。学科コンテストと科学技術活動、第3学年から学生を導師の科学研究活動に参加させる。
 6. 授業教学モデルを改善する。学生を主体にし、啓発的な探求式実践を深く展開して、教学思想、方法、内容、審査方式などを含めた全面的な改革モデルである。



華東師範大学

East China Normal University

華東師範大学は、大夏大学と光華大学を基礎とし、復旦大学、同済大学などの一部の学院により建てられた大学である。また、1994年に21世紀人材学院が設立された。授業では、大学内外の専門家を招聘し、科学技術、政治、経済、哲学など、学生には幅広い学習活動をさせている。学生には、一定の責務や規律を求めており、怠惰な学生には厳しい制度が設けられている。

I. 全般的特徴

ミンハンと中山北路という2つのキャンパスをもつ。その美観から「花園学府」とも呼ばれている。

華東師範大学は、1951年10月、大夏大学、光華大学を基に、復旦大学、同済大学等の一部の学院を含めて、大夏大学の場所に建てられた師範大学である。1959年に、全国で初めての16重点学校の1つに認定され、1978年には全国重点大学に認定された。そして、2006年に「985工程」の重点大学経営プロジェクトに入った。人文社会科学学院、教育科学学院、公共管理学院、外国語学院、商学院、金融と統計学院、芸術学院、設計学院、体育・健康学院等、19の学院がある。

教職員は4,000人余、そのうち、講師が1,800人余、高級職名（教授、准教授等）の教員が1,000人余、中国科学院・中国工程院院士が12人いる。学生総数は49,000人余で、そのうち留学生は約2,700人である。大学では、フランス、アメリカ、日本などの著名な大学と協力関係を結んでいる。

経済支援等

大学側は「新入生奨学金」、「専項（特定の項目）奨学金」などの制度がある。例えば、「専項奨学金」では、成績優秀な学生に一定の奨学金が給付される。4つのランクが設定されている。すなわち、特等：5,000元/年（全学生数の2%）、1等：3,500元/年（同5%）、2等：2,000元/年（同10%）、3等：1,000元/年（同20%）。大学の大部分の学院と学部も奨学金を設けている。そのほか、社会团体や民間企業も、奨（助）学金を設定している。

経済面で困難な学生に対する支援制度もあり、大学でアルバイト（家庭教師、秘書、礼

儀、販売、翻訳、コンピュータなどのサービス)の機会を提供している。85%の学生がこの制度を利用している。週8時間労働で月に250～600円の収入がある。経済的に極めて困難な学生を対象とする助学金と困難補助も提供されている。年30万円の社会援助と35万円の困難補助が提供されている。社会援助は1人500～2,500円で、困難補助は1人200元/回である。その他借金や授業料の免除制度もある。

授業料は、例えば哲学専攻の修士課程では10,000元/年である。2007年から大学院の学生は国費と私費の区別がなくなり、全部私費となった。そして、入学後、奨学金と助学金を申請する形になった。

入試等

2007年の学部生選考は、一般には全国统一試験の成績で行われている。2008年の自主募集では、2つの申請方法がある。

① 高校からの推薦：上海市、江蘇省、浙江省の優秀生推薦表を基に、成績と大学受験志願により推薦すること。

② 自己推薦：全国レベルの試合競技で、省レベルの賞を得ていること。

選考方法として、①の学生は、2008年1月20日に行われる試験を受ける。②の学生は、専門家が申請資料を審査し、合格すれば、英語、数学、国語の試験を受ける。つぎに、成績によって、①と②を区別して、募集計画により点数を定める。所定の点数に達した学生は、2008年の自主募集資格が得られ、その資格者は2008年の全国统一大学入学試験を受けなければならない。成績が当該省の重点点数に達し、なおかつ華東師範大学を第1志願とし、さらに専攻を大学側が決めることに同意すれば、入学できる。

卒業に関し、学部生の就職率は平均約97%で、就職地域については、約80%が上海で、約10%が沿海都市である。

II. 優等企画～21世紀人材学院～

華東師範大学では、1994年に21世紀人材学院を設立した。募集人数は、50～60名であり、募集対象等は以下のとおりである。

① 学部3年生か大学院修士課程の2年生であること。

② 道徳、知力、体育などで総合的に発達しており、(学業における)基礎力と発達面の双方を兼ね備えた学生であること。

そして、次の条件の中で、どれか1つを満たせば申請可能である。i) 学生共産党員、ii) 学校、市レベルの「三好学生」(「三好」とは、道徳、学力、健康の3つの面で優れていること)、「優秀学生幹部」、iii) 学校レベル以上の各試合競技で1等賞以上を取った者、iv) 何らかの面で顕著な成果を遂げた者(例えば、学校の共青团(共産主義青年団)組織で一

定の役割を担い顕著な成績を遂げた者。学校で試合競技の中で賞を取った者), v) 学校奨学金の 1 等, 2 等またはより上級の賞を連続的に取った者。

組織

21 世紀人材学院は共産党のリードにより, 共青团上海市委の指導で, 大学共青团委が大学共産党委の組織部, および教務処, 科研処, 大学院などの部門と協力して, 全学内と社会の多方面から情報資源を集め統合して, 思想政治素質の養成, 多種の科目知識の統合, 民族優秀文化の習得, 総合能力の向上, 社会実践の意識と実働に重視して, 「通」と「博」(「通」は横の拡がりを, 「博」は縦の拡がりを意味する) の優秀な人材を養成することを目指している。

学院の組織の仕組みとして, まず学院は, 学校の関連部門のリーダーと専門家により院務委員会を設立した。華東師範大学党委書記でもある学長は名誉院長を担当し, 学生工作も担当する党委副書記は院長を担当する。教学の仕事も担当する副学長は院務委員会の主任を担当し, 学校の团委書記は副院長を担当する。また, 院長補佐, 学年主任, 事務室主任などの職位も設けられた。そして, 選挙によって班委会を設け, 班長, 副班長および班委を選抜する。学院は文理交差の原則により, (学生の執り行う) 課題の設定を考慮し, 少数の学生グループを分けて, 各組長を決める。

また, 学生に対しては, 一定の責務を与える。すなわち, 学院の規則制度に従うこと, 学院の各活動に参加することなど。また, 優遇もされる。すなわち, 院生と同じように本を借りたり, 学院所有の全雑誌や資料を借りることができる, 学校内外の外国語とパソコン技能の講座を受けることができる, など。

学習活動

授業では, 学校内外の専門家や学者を招聘し, 各種講座を行う。内容は科学技術, 経済, 政治, 哲学, 文学, 芸術などに及ぶ。外国語の強化, パソコン技能の習得, 見学考察, 芸術活動の参加などの学習活動もある。これらの活動により, 学生を人文と科学の両面で養成する。また, 学生たちには世界名著の読書を推薦し, 少なくとも 3 つの読書レポートを提出しなければならない。

中期と期末で, 思想道德, 学業, 科学研究成果, 社会実践などについて評価を行う。合格者等には, 創新教育の 4 単位が得られる。課題研究に参加し, 成果を挙げた学生は, さらに一定の単位が与えられる。

学院では, 指導教官制を取っている。指導教官としての条件として, ①学生の科学研究活動を指導すること, ②副高級職名以上(准教授以上)の中青年教員であること, ③学校外の指導教官の場合は, ふつうは著名な企業家, 政府官員, 科学技術専門家の中から招聘することである。

学院では、指導教官に招聘書を出して、一定の指導費用も支給している。

管理

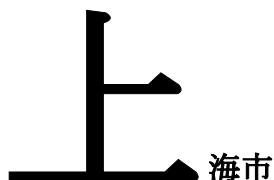
学生は学院の全学習活動への参加が求められる。やむを得ない休みには、主管教員の許可が必要である。また、課題は定期的に提出し、講座で1回以上の発表を行う必要がある。万が一、講座に出席しないときは、関連の書類や他の学院の授業に参加して、レポートを提出すること。

学習期間中、試験の不合格、学校や学院による処罰、5回以上の授業の無断欠席、他の重大ミスなどのいずれかに該当する者は学院から退学処分を受ける。しかし、優秀な学生の場合は、修士課程や博士課程に推薦し、修了時に政府や国家重点企業の重要職位に推薦する。

卒業の時点で、以下の状況でどれか1つに当てはまると卒業することができない。

- ・6回以上の授業の無断欠席者。
- ・社会实践への不参加者。
- ・協力課題研究を持っていない者。
- ・授業のメモをしていない者。
- ・読書レポートを書いていない者。
- ・卒業までに国家英語6級あるいは上海市パソコン試験の中級に不合格の者。
- ・学院に入ってから、新しい成果を挙げていない者、例えば、英語6級とパソコン中級試験に合格したものの、在学中、専門雑誌で論文を発表したことがない者。
- ・学院の規則に違反した者。
- ・評価による不合格者。

また、卒業生に対しては、民主的な評価を行い、当該学期の優秀学生を決める。基本要件としては、①学院での学習や活動に積極的に参加し、他の学生とよい関係を築き、学習活動で一定の成績を挙げた者、②学院の運営に積極的に参加し、学院の発展に貢献した者、③在学中、市レベル以上の賞または他の顕著な成績を取った者である。



華東理工大学

East China University of Science and Technology

華東理工大学は、化工学院、生物工程学院など 14 の学院がある。また、国家レベルで 8 つの研究基地（‘基地’は、拠点に相当。以下同）と省部レベルで 16 の研究基地を持っている。2000 年に、理工優秀生部が創立された。その学生に対しては、「最終位脱落制」という評価が行われており、学期ごとに 20% ぐらいの学生が淘汰されるようである。

I. 全般的特徴

華東理工大学は上海の南西にある。キャンパスは 163.9 万余平方メートルで、建物の総面積が 74.8 万余平方メートルである。徐匯、金山および奉賢という 3 つのキャンパスがある。

大学には、化工学院、生物工程学院など 14 の学院があり、継続教育学院、国際教育学院などもある。また、学位授与は、理、工、農、医、法、管理、哲、経済、文、歴史、教育の 11 種類の専攻と、38 の一級学科にわたる。約 15,000 人の学部生、約 6,000 の大学院生が在学する。教職員は約 3,600 人である。

華東理工大学には、国家レベルで 8 つの研究基地（2 つの国家重点実験室、2 つの国家工程技术センターを含む）、省部レベルで 16 の研究基地がある。毎年担当する研究課題は 800 ぐらいである。

また、外国の大学との協力も重視している。これまでに、アメリカ、ドイツ、日本、フランス、イギリス、カナダ、韓国など 60 ヶ国の大学、企業や研究機関との間で、長期の学術協力関係を築いている。

経済支援と学費

華東理工大学には、「計画内奨学金」、「計画外奨学金」という 2 種類の奨学金がある。「計画内奨学金」としては、「総合課程奨」、「社会貢献奨」、「創新奨」、「優秀学生奨」、「優秀学生幹部奨」、「優秀卒業生奨」、「先進集体（優秀な集団）奨」、「民族班奨学金」、「寒梅奨学金」という 9 種類がある。「計画外奨学金」としては、企業からの奨学金で、「宝鋼奨学金」、「Sony 奨学金」、「住友奨学金」、「LG 奨学金」、「化学化工奨学金」など 15 種類の奨学金があり、1,000～3,000 元/年である。

学院が異なると、授業料も異なる。学部生の場合、コンピュータ科学と技術専攻は 5,500 元/年、芸術設計は 10,000 元/年、中徳工程技術学院内の各専攻は 15,000 元/学年、他の専攻は 5,000 元/学年である。大学院生の場合、推薦の学生は、授業料が全額免除で、なおかつ生活費と国費医療も支援される。(推薦でなく) 受験した院生の場合、その中で成績優秀な学生は、授業料が全額免除で国費医療が支援されるが、生活費の支援がない。その他の学生には、授業料免除がなく、国費医療は支援されるものの生活費の支援がない。

入試

華東理工大学は国家教育部に直接に属する大学である。2007 年学部生の募集は、教育部の学生募集計画に基づいて行われた。選考はふつう全国统一試験の成績でなされ、新入生は奉賢キャンパスに入る。

その他の選考として、まず、自主募集に関しては、選考条件として、①自主募集選考の生徒は当大学を第 1 志望として選ばなければならない、②全国统一試験の成績が当大学の募集計画生徒数の範囲内であれば、第 1 志望専攻に進学できる、③全国统一試験の成績が省レベルで定められた重点大学用の点数に達したものの、募集計画生徒数の範囲外となったら、専攻は大学によって決められる。

推薦生の場合、選考条件は以上とほぼ同じである。推薦生の対象として、①上海地域以外の学生、②上海(文科)推薦生(全国统一試験の成績に 10 点が加算される)、上海(理科)の推薦生は学校が統一的に行う試験を受けなければならない。

II. 優等企画～理工優秀生部 (Department of Excellent Students of Science and Technology) ～

華東理工大学の「理工優秀生部」は 2000 年に創立された。新入生の中から、成績優秀で質の高い学生を選抜する。そして、その学生に対して、高い目標の養成計画に基づいて、工学と理学を統合的に養成する。着実な基礎知識を持ち、総合的に発達した一流の人材を養成することを目指している。

「理工優秀生部」は、まず、華東理工大学の化工学院、生物工程学院、材料科学と工程学院、資源と環境工程学院、科学と分子工程学院、薬学院、情報科学と工程学院、機械と動力工程学院の 8 つの学院における入学試験の合格者と推薦生の中から、250 名ぐらいの優等学生を選抜する。そして、大学の統一試験(英語と数理化)を受けて、成績の最上位から 120 名の学生を選抜する(不合格者は元の学院に戻ることになる)。さらに、学生に対して、定期的に総合評価が行われ、「最終位脱落制」が適用されている。これによると、学期ごとに 20% ぐらいの学生が淘汰されるようである。

養成モデルの特徴

1. 化工（工業化学）科の優秀人材を養成し、学科交差研究の基礎を作って、大学に修士・博士課程の入学予定者として扱い、21世紀の中国工程技術界、科学技術界、企業界における一流の人材になること。
2. 学生各自の特徴、興味に基づいて自分なりの知識体系を構築し、個性の発展を重視すること。
3. 単位管理システムや弾力的な学年制度が実施される。第3学年で、規定の単位をすべて取得できなおかつ成績優秀であれば、院生学習予備期に入ることができる。指導教官の下、専門関連科目を選択的に学習しつつ、卒論も行い、院生の段階に移る。この学部生と修士の統一養成期間は、ふつつ6年である。また、第4学年の前期で、無試験での修士課程進学を申請することができる。
4. 学生たちは指導教官を選択することができる。そして、双方の選択により指導教官が決定される。
5. 「理工優秀生部」への入学後の1～2年に対しては、専攻を決めずに全体的な教育活動を実施している。3～4年次には、指導教官の下、興味ある専攻科目を学習する。
6. 選択科目が多く、学習の自由を重視する。数学と科学では、レベルの異なる科目を選ぶことができ、数学なら21単位と13単位があり、化学なら22.5単位、27.5単位および32.5単位がある。専攻科目の場合、14～18単位を取得しなければならない。専攻科目以外の選択科目は20単位が用意されている。
7. 英語教育を強化する。1年次末までに、国家の英語4級試験に合格しなければならない。2年次には、英語5、6級関連の授業に参加できる。
8. 実験重視。総合型、設計型の実験を増加し、基本操作技能、科学総合能力訓練と専攻実験技能の訓練が多い。
9. 学術活動を強化する。各種学術活動に参加させる。報告会もあり、関連分野の国内外の研究状況などの理解を促進する。

専攻科目

化学工程と工芸の専攻。特色としては、①専攻で扱う幅が広い。つまり、有機化工、無機化工、精細化工、日用化工、材料化工、エネルギー化工、生物化工、マイクロ電子化工などさまざまな分野に関連をもっている、②この工程は知識の応用性が高い。この専攻では、化学工程と化学工芸を有機的に統合している。化学工程では、主に化工プロセスおよび設備の開発、デザイン、管理などを研究する。化学工芸では、石油、石炭、天然ガス、鉱物、動植物などの自然資源を原料として、化学作用と分離加工技術により、各種の化工製品を産み出す。しかも、この工程は、化工分野だけでなく、医薬、材料、食品など幅広い分野に対して重要な役割を担っている。

軽化工専攻。日用化工，食品化工，皮革，紙生産，煙草・酒などの分野である。養成モデルとして，人文，社会，数理化，外国語，コンピュータの基礎を前提に，各種軽化工製品の合成技術，設備技術，皮革，煙草・酒，高分子材料における加工製造技術の理論と実践の指導を重視する。

石油ガス工程専攻。この専攻は，2001年に国家建設のためのニーズから，新しく設置された。その専門知識は，石油加工，石油金融貿易，IT，管理工程などに関連する。

教育環境

大学では，徳と才能のある教授や教師を招聘し，授業を依頼する。提供する教育環境はつぎのような利点を生み出している。①学生は自分の興味・特長に合わせて，多元化した知識体系を構築することができる，②学校内外の試合や社会实践活动に参加しやすい環境で勉強することができる，③奨学金の選考に関して人数の制限がない。また無試験で直接大学院に進学したり国内外で勉強する機会などが優先的に与えられる，④卒業では，「華東理工大学理工優秀生部荣誉証明書」が授与される。



上海大学

Shanghai University

上海大学は、1994年に、上海工業大学、上海科技大学、上海科技高等専門学校と元上海大学が統合して出来たものである。1997年に、理系を対象とした「基礎教学強化班」が開設され、2007年に「自強」学院に昇格した。そこでは、学生に勤勉を求めており、成績によって、「正常分流（‘分流’は、転出に相当。以下同様）」と「途中分流」に分けられ、それぞれに処遇されるようになっている。

I. 全般的特徴

上海大学は1994年5月、上海工業大学、上海科技大学、上海科技高等専門学校と元上海大学が統合して出来たものである。宝山、嘉定、延長という3つのキャンパスを持っている。大学には、22の学科学院及び大学院がある。また、国家科技部と上海市による国家重点実験室と国家体育総局社会科学重点研究基地（拠点）もある。学生数は、学部生が約26,000で、大学院生が約6,000である。夜間大学の学生が10,000人余が在学している。専任教員と科研人員が2,500人ほどいる。上海大学は、早稲田大学、モスクワ大学などと提携しており、絶え間なく教員を海外派遣し研修させている。一方、外国からは留学生が1,000人余在籍している。

経済支援

「優秀学生入学奨学金」、「教育奨学金」、「国家勵志奨学金」、「上海市奨学金」が提供されている。「優秀学生入学奨学金」は品行、学業とも優秀な学生を対象としており、3種類が用意されている。「特等奨学金」(5,000元/年)、「1等奨学金」(3,000元/年)、および「専門特技奨学金」(500元/年)である。「特等奨学金」の条件：①高校3年次に上海市優秀学生などの荣誉称号を取った者、②高校のとき、理系の全国・国際コンテストで1等賞か2等賞を取った者。推薦を受けて上海大学に入学した者。「1等奨学金」の条件：高校のとき、2回以上上海市各区や県レベルの「優秀学生」などの称号を取った者。「専門特技奨学金」の条件：高校のとき①国家レベルでの科学技術や芸術のコンテストで1等賞か2等賞を取った者、②省レベルでの前記①のコンテストで1等賞を取った者、③国家体育正式試合で上位5名以内や省市レベル正式試合で上位3名以内に入った者、④省市レベルで何らかの

特別榮譽を取った者。

「国家励志奨学金」は 5,000 元/年であり、経済的に困難でなおかつ優秀な学生に支給される。さらに、貸付金や助学金等々の措置を行う。「上海奨学金」は 8,000 元/年であり、極めて優秀な 2 年生に支給される。家庭の経済状況にかかわらず、全学で 62 人に支給される。ただし、経済的に困難な学生は、これと併行して国家助学金を申請することができるが、「国家奨学金」と「国家励志奨学金」を獲得することはできない。そのほかに、「宝钢奨学金」、「光華奨学金」、「STV 奨学金」、「ソニー奨学金」などもある。

入試等

全国統一大学入試に基づくが、大学独自の試験も受けなければならない。また、推薦入学制度も用意している。この対象となる学生は、高校で、全国中学生コンテストの決勝戦で 1, 2 等賞を獲得した者か、省レベルでの「優秀学生」の資格を持つ者である。推薦された学生は全国統一大学入試を必要としないが、大学独自の数学と英語の筆記試験および面接試験を受けなければならない。そして、入学後「基礎教学強化班」の選抜に参加することができる。

就職率は、卒業時では 76%、同年の 12 月にはおよそ 95%に達する。

II. 優等企画～自強学院～

上海大学は、1997 年に「基礎教学強化班」を開設し、2007 年にこれを「自強」学院に昇格した。「自強」学院では、学生の自学能力、創造力、実践能力および心理的素質を重視し養成しようとしている。理系の学生を対象とし、全国統一大学入試の高得点者と推薦生の中から選抜する。

入学後の 2 年のうちに、学生は、英語、数学、物理、化学、生物、国語、歴史、哲学、経済学、コンピュータ工学を受ける。そして、試験の成績で合格したら、志望する専門に入ることになる（芸術を除く）。

「自強」学院の指導計画は主管学長が自ら指導する。そして、上海大学内の中国科学院院士、工程院院士、博士・修士の指導教官と関係ある専門家が、学生の養成を担当する。大学院を志願する学生に対しては、大学は指導教官の充当を繰り上げて指導に当たる。

養成モデル

「自強」学院では、学生に、1 日 9 時間以上の勉強を週 6 日以上行うことを求めている。各科目の教員は、学生の学習時間に責任を負っている。そして、この学院では、学生の成績によって、「正常分流」と「途中分流」に分けている。合格の成績者は、「正常分流」となる。「正常分流」の学生は、志願により任意の学部に入ることができる。「途中分流」

の学生の場合は、他の学部へ転入申請することができるが、相手側の同意が必要になる。勉学の怠惰には、警告を発するとともに親にも知らされる。もし、改善が見られなければ、次学期は「自強」学院での学習の停止を余儀なくされ、途中分流の扱いとなる。不合格となった単位が15以上に達した場合も、「途中分流」の対象となる。もし追試に2回とも不合格になると、単位制学費を追加しなければならない。

優遇

上海大学に第1志望で入学し「自強」学院に入った学生は、第1学年に入学特等奨学金として5,000元/年を授与される。しかし、大学はこれを第1学期と第3学期の2回に分けて50%ずつ与えている。そして、第1,2学期の成績によって、残りの50%に対しては、下表のような扱いを標準としている。

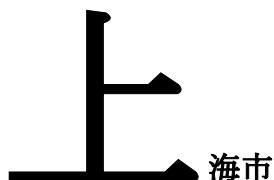
不合格単位 (X)	$X \leq 2$	$2 < X \leq 4$	$4 < X \leq 6$	$6 < X$
特等奨学金 (元)	1,250	750	250	0

また、第2学年の奨学金は1学年と同じような方法に基づくが、審査標準は下表のようである。第2学年の学長奨学金の審査標準もこれに基づいている。

不合格単位 (X)	$X \leq 6$	$6 < X \leq 10$	$10 < X \leq 12$	$12 < X$
特等奨学金 (元)	5,000	3,000	1,000	0

学生は「自強」学院から分流して他の学部へ転入したとき、第3学年に対象となる奨学金は、4つの等級に分かれている。

- (1) 特等奨学金：5,000元/年。①第2学年GPAが学院の順位で上位の10%に入っていること、②課程は全部合格であること、③中国大学生英語水準テスト4級を獲得していること、の3つを満足する者。
- (2) 1等奨学金：3,000元/年。第2学年GPAが学院の順位で上位30%に入っていること。他は(1)と同じ。
- (3) 2等奨学金：1,000元/年。第2学年GPAが学院の順位で上位70%に入っていること、全学年で不合格となった課程が1つだけであること。他は(1)と同じ。
- (4) 「単項奨」(特定項目賞)と「自強奨」(努力賞)：500元/年。GPA \geq 2.0であることと、次のいずれかの条件を満たすことが必要である。①第2学年GPAが前年より10位以上上がっていること、または②2年生のとき、中国大学生英語水準テスト6級を獲得していること。



上海交通大学

Shanghai Jiao Tong University

上海交通大学は、旧上海交通大学、旧上海農学院、旧上海第二医科大学 3 校が統合したものであり、100 年以上の歴史をもっている。1995 年に、「理科実験班」という優等企画を開始した。1997 年には、機械・動力工程学院は、「国際化人材試点班」が設立した。ここでは、ミシガン大学との調印により、いわゆるジョイントディグリーを取得できるようになっている。

I. 全般的特徴

上海交通大学は、1896 年に創立された南洋公学を前身とする歴史ある大学である。中国教育部に所属し、国家の「211 工程」、「985 工程」に入った重点大学の 1 つである。旧上海交通大学、旧上海農学院、旧上海第二医科大学の 3 校が、1999 年と 2005 年の 2 度の統合を経て、現在の上海交通大学を成立させている。21 の学院と直属系があり、65 の学科専攻がある。約 20,000 人の学部生、9,000 人の修士課程生および 5,000 人の博士課程生が在籍している。教員は約 3,000 人である。

経済支援と学費等

上海交通大学の奨学金と助学金は、約 100 種に上る。奨学金は、品行・学力に秀でた学生を対象とし、助学金は、品行・学力に秀でなかつ経済的に困難な学生を対象とする。4,000 人以上の学生が支給を受けており、援助総額は 1,000 万元以上である。「優秀新入生奨学金」も設定されており、全国大学統一試験で、各省の上位 30 位に入っている学生が上海交通大学に入学すると、奨励の対象とする。第 1 位は 20,000 元、第 2 位から第 10 位までは 10,000 元、第 11 位から第 30 位は 5,000 元が支給される。また、経済的に困難な学生に対しては、アルバイト、学費免除、国家助学金、特別困難援助が提供されている。

上海交通大学では、専攻によって、異なる学費標準が実施されている。①電子情報及び電気工学学院、安泰経済及び管理学院は単位制学費の制度が試行されている。すなわち、130 元/単位で、50 単位/年である。②芸術類、臨床医学：10,000 元/年。③ソフトウェア工学、微電子学：1, 2 年は 6,500 元/年。3, 4 年はソフトウェア工学分野が 16,000 元/年で、微電子学分野が 12,000 元/年。④その他の分野：5,000 元/年～6,500 元/年。

入試選考は、全国統一大学入試の基づくほか、大学自主募集・選抜もある。

その他

江澤民、丁関根、銭学森、黄炎培などの有名人は、上海交通大学で学習したことがある。また、卒業生の中には、中国の内燃機関 1 号機、中国語ワープロ、中国初の万トクラスの汽船と戦闘機、原子力潜水艦、推進ロケット、及び人工衛星などの製造に重大な貢献した者がいる。

II. 優等企画～理科実験班と機械・動力工程学院の国際化人材実験班～

1. 「理科実験班」

「理科実験班」は、「教育改革本科—大学院一貫制班」、さらには略して、「教改連読班」とも呼ばれている。上海交通大学教務処に所属する。教育改革を実施する実験班であり、1995 年に設立された。学生に対して、高いレベルと幅広い基礎を強調しており、自主性と研究性の学習方法を重視している。

選抜

主に全国の重点高校からの推薦学生を対象として特別な試験を行い、その成績によって選抜する。2001 年に国家教育部が「保送生」政策を採ったのち、「理科実験班」の学生募集は、主に全国の数学、物理、化学、生物および情報類学科のコンテストで 1 等賞を獲得した者を対象としている。2005 年からは、一部、全国統一大学入試での成績優秀者も対象としている。

養成モデル

「教改連読班」は、専攻分野を分けておらず、3 年生になって、志望する学院に入るようになっていく。2 年が終了する前に学院に入ることもできる。1, 2 年は、基礎教育期間で、主な課程は自然科学基礎とその他の必修科目である。3, 4 年は、学科または専門教育期間である。所定の要件を満たす学生は、前もって修士課程を履修することもできる。

2. 機械・動力工程学院の「国際化人材実験班」

機械・動力工程学院は、1913 年に創立された上海工業専門学校機械科を前身とする。教職員は 400 人余で、在学学生は 3,000 人以上である。国際化という特徴を持つ学院である。1997 年に、同学院は、MIT などの著名な大学の養成モデルと教育制度を参考にして、「国際化人材実験班」を設立した。その趣旨は、国際的視野、強いクリエイティブ意識、科学的な知識体系、総合的な実践能力、チームワーク能力とコミュニケーション能力を持つ、

高いレベルの機械工程技術人材を養成することを旨とする。2000年に、同学院はアメリカのミシガン大学との「連合養成協議」に調印した。また、この協議は国家教育部にも承認されている。それは、中国の大学の中で、世界最高水準の大学と履修単位交換を認可し、連携して学位を授与することのできる第1例になった。このような連合養成モデルが、「国際化人材実験班」で実施されている。なお、入試選考は、全国統一大学入試成績と英語成績で行っている。

連合養成の教育計画と優遇措置

「国際化人材実験班」とミシガン大学との連合養成の教育計画では、「4+2+3」というモデルを用いる。すなわち、学部の4年間では、「双語」（外国語と母語）で授業する20～30科目のうち、ミシガン大学が10科目以上を担当する。そして、2年間の修士課程と3年間の博士課程で、優秀な修了生は、上海交通大学かミシガン大学の学位を獲得することができる。2000年度と2001年度には、それぞれ新入生（学部生）の中から60人が選抜され、「国際化人材実験班」に入った。2006年現在、12人の修士課程生は第1段階（2学期）の課程を履修した後、ミシガン大学で第2段階の学習を開始した。「国際化人材実験班」に対しては、柔軟な学制が実施されている。例えば、本科段階での規定単位数を早期に取得すれば、早く卒業することができる。逆に学習年限の延長もできる。ただし、原則として6年を超えることはできない。「国際化人材実験班」は、2000年にミシガン大学との提携関係を確立した後、アメリカの他大学やドイツ、オーストリアの有名な大学にも拡大している。「国際化人材実験班」の本科段階では、3分の1の学生が、海外の大学で交流を通じた学習の機会や学位取得の機会を得ている。



西安交通大学

Xi'an Jiaotong University

現在の西安交通大学は、110年以上の歴史を持つ旧西安交通大学が西安医科大学、陝西財經学院を吸収し統合してできた国家重点大学である。近年来、同大学は教育スタイルを知識伝授型から探索研究型に転じることを目指し、一般教養、研究能力と革新能力の培養に基づく「2+4+X」という研究型人材育成モードを積極的に推進している。2007年に、ロケット工学の権威である銭学森氏にちなんだ「銭学森実験班」という優等企画を開始した。同年、医学教育に適用な人材育成モードを探索するために、医学教育家侯宗濂氏にちなんだ「宗濂実験班」が設立されている。いずれも、成績不良となった学生を排除する「淘汰制度」が適用されている。

I. 全般的特徴

西安交通大学は、中華民族の歴史と文化の発祥地として「十三朝の古都」と呼ばれる陝西省西安市にある。

西安交通大学の前身は1896年に上海で創立された南洋公学である。同大学は、2000年に国務院の指令で、60年の歴史のある西安医科大学と、同じく40年の陝西財經学院を吸収統合した。

西安交通大学は理工科を特色とし、理、工、医、経済、管理、文、法、哲、教育等、9つの大類を含んでいる。また、19の学院と3つの臨床教育病院がある。さらに45の国家重点学科、4つの国家重点実験室、4つの国家特定項目実験室、2つの国家工程研究センター、7つの国家教育部重点実験室、2つの国家教育部工程研究センター、2つの国家衛生部重点実験室を持っている。

西安交通大学には、教職員は約5,800人が在籍する。教授と准教授が1,400人余である。中国科学院院士が6人、中国工程院院士が11人いる。在學生は約31,000人で、そのうち大学院生は約13,000人である。

学部教育の刷新

研究型大学に向けて2003年に、一般教養、研究・革新能力の養成に基づく「2+4+X」

という研究型人材育成モードの推進を開始した。このうち、「2」とは、学部の第1, 2学年を指す。学生を専門分化させず、人文社会科学、自然科学および一般教養を強化する。また「4」とは、第3, 4年と修士の2年間を連携した養成プランに相当する。学部の上級生は院生の科目を選択することができる。第3学年からは、導師制の下で、課題解決を通じて、実践・研究能力や団体協力精神を養成する。「X」とは博士養成段階であり、学制年限などは画一的な処理を行わない。

経済支援と学費

奨学金と助学金が、国家、大学および企業によって提供されている。

国家による奨学金には、2種類ある。品行方正かつ学業に優秀で社会実践・革新能力などでも優秀な学生を奨励する「国家奨学金」では、1人8,000元/年が授与される。また「国家励志奨学金」は、品行と学業の優秀さに加え経済的困難を抱える学生に対するもので、1人5,000元/年が授与される。

一方、「国家助学金」は経済的に極めて困難な学生を対象とする。1人3,000元、2,000元、1,000元/年の3つのランクがある。定員数は教育部によって配分される。

「大学奨学金」には、「唐文治奨学金」、「彭康奨学金」および「思源奨学金」の3種類がある。授与金額は1人500元～8,000元/年。推奨されるその定員は、学部生では4,150名程度、院生では1,600名程度である。「春雨助学金」は、大学から提供される助学金であり、1人200元/月であり、定員は1,000名。

「企業奨学金」は、企業、個人、校友によるものである。学部生対象としては36種類あり、院生対象としては23種類ある。いずれも、優秀な学生と経済的に困難な学生を援助する。300～10,000元/年であり、全般に院生のほうが高い。

授業料は学科によって異なる。外国語学、理工学、医学の普通専攻では4,950元/年。理工学の人気ある専攻、臨床医学、口腔医学、予防医学では5,200元/年。文・法学は3,850元/年。ソフトウェア学部では学年によって5,200元か15,000元/年。芸術関係専攻では9,900元/年。

寄宿料はトイレつきかどうかで、800元/年と1,200元/年の2つである。

入試と卒業

中国の大学では募集規模を拡大する傾向があるが、西安交通大学では、学生の質保証のため、募集人員を年々少し減らしている。

選考はふつう、全国からの募集学生を対象に、全国統一大学入試に基づいて行う。そのほかに、推薦入学と自主選抜制度もある。推薦入学の対象は、その指定校の出身であって、高校で全国レベルの数学、理化学等のオリンピックコンテスト決勝戦で省レベル1等賞以上を獲得するか、成績と品行に秀でた今期の卒業生である。自主選抜の対象は多少範囲が

広く、高校で、全国レベルでの科目別コンテストで所属する省のレベル3等賞以上を獲得するか、成績と品行に秀でたすべての今期の理科卒業生である。推薦入学による学生は、全国统一入学試験には参加しない。自主選抜による学生は、全国统一入学試験に参加する。そこで成績不良であれば、入学資格を失う。特別入学制度の定員は、150～200名である。

卒業に関し、学部生の平均就職率は96%以上であり、院生では100%である。大学の就職指導センターは、毎年、冬・春期に企業、研究所等から担当者を大学に招き、説明会や招聘会を行う。各学部からも関係機関に対して卒業生を推薦している。

その他

西安交通大学には学生団体が100以上ある。定期的なディベート大会、芸術祭、外国語祭、運動会等のほか、大学は「思源大講堂」、「学而論壇」を設け、国内外の有名な専門家や教授を招いて、学生に対して授業を行う。

全国レベル以上の科学技術・文化競技大会で受賞する学部生も多い。2002年には国際英語講演コンテストで非英語国家選手第1位、2004年には全国空中ロボットコンテストで固定翼組第1位、2005年には全国芸術祭で金賞、「エジソンカップ」技術革新競技大会で3年連続で総合成績第1位、2006年には「挑戦カップ」創業計画コンテストで金賞、2007年には「挑戦カップ」課外学術科技作品競技大会で特等賞、「CCTVカップ」大学生ロボットテレビコンテストで2年連続で第1位。特にABUアジア・太平洋ロボットコンテスト2007ハノイ大会で、中国が初めての優勝者を獲得した。

II. 優等企画～銭学森実験班と宗濂実験班～

1. 「銭学森実験班」

銭学森（1911～）は、浙江省杭州出身で、1934年に交通大学（上海交通大学の前身）機械工程学科を卒業した。その後、アメリカに留学し、マサチューセッツ工科大（MIT）とカリフォルニア工科大学で修士・博士号を取得した。ロケット工学の権威であり、戦略弾ミサイル、人工衛星の研究開発を指導して、中国の航空宇宙研究に貢献した。また応用力学、物理力学、システム科学、認知科学、人体科学等広い領域で活躍した。この「銭学森実験班」は、銭学森氏の教育思想を伝承し、傑出した人材養成を図るために、2007年に設立された。

教育上の優遇措置

選抜された優秀な学生を育成するために、最高の教員と設備を提供するとともに、特別な養成計画を作成する。大学は、国家レベルでの名教員をクラス担任に任命する。そのような教員からは、学問だけでなく、人格的な面についても学ぶことができる。彼らのため

に、専用の教室も用意している。また、入学2年以内であれば、専攻の変更が可能であり、また管理科学、工程・経営管理類の専攻については、優先して転入することができる。

選考と養成方法

推薦入学の理科生（外国語、医学類と経済類専攻の学生を除く）と大学統一試験で高得点の自主選抜入学生を「銭学森実験班」に編入している。また、「銭学森実験班」では、厳しい淘汰制度を実行している。必修科目の成績が70点に達しないか第2学年に国家英語4級試験に合格できないと、転出を余儀なくされる。在籍学生は、60名である。

「銭学森実験班」の学生に対しては、入学後の1,2年に集中して基礎教育を強化する。特に理系的思考能力、数学モデリング能力、物理洞察能力等が養成される。3年になると、学生を採用元の学部に戻し、当該の専攻を勉強させる。当初、学士一貫制として採用された学生に関しては、単位の取得状況等によって分けられ、一部の学生は通常どおりに学部を卒業するが、別の一部は4年から院生として養成され、その後第6学年末まで修士レベルとして扱われる。

教育課程

「銭学森実験班」の教育課程は、銭学森氏による科学の分類体系を基にしている。すなわち、自然科学、社会科学、数学、システム科学、認知科学、人体科学、軍事科学、行動科学、地理科学、建築科学、文芸理論の11の科学分類によって設置されている。つまり、学生に対し総合的な人材養成を図ることを目指している。

2. 「宗濂実験班」

ハイレベルの医学の人材を養成することを旨とする。侯宗濂（1900～1992）は、遼寧省海城出身である。1920年に南満医学堂を卒業後、日本、オーストリア、ドイツに留学。京都大学では、医学博士号を取得した。中国の生理学の創始者で、かつ著名な医学教育家とされ、西北医学院院長や西安医学院院長を歴任した。彼の名にちなんだ「宗濂実験班」は、2007年の秋に開設された。

「宗濂実験班」の趣旨は「一等の品行を鍛え、一等の学問を求め、一等の人材になり、一等の事業を成し遂げる」ことである。

選考と養成方法

「宗濂実験班」で、臨床医学専攻に採用された7年制の新入生の中から、大学統一試験で高得点を取得した学生を編入している。また、「銭学森実験班」と同じような淘汰制度をとっている。「宗濂実験班」の在籍学生は、37名である。

「宗濂実験班」は、学士一貫制を特徴とし、短時間で高レベルの学位を取得する

ことができる。「宗濂実験班」の学生は、入学後の1, 2年のうちに理工類の学院で自然・人文社会科学を学び、医学の基礎知識を修得する。第3学年には、医学院で医学専門の基礎課程、臨床専門課程と臨床実習、科学研究の訓練、医師規範化訓練等を開始する。第6学年末になると、学生は各自の興味・志向で学位教育を選択する。卒業時には、その選択内容によって、臨床医学専門博士号(M.D.専門職学位, 修学年限6+2年)や医学博士(Ph.D. 科学学位, 修学年限6+3年)を取得することができる。



西安電子科技大學

Xidian University

西安電子科技大學は、毛沢東等の革命家が1931年に創立した中央軍委無線電学校を前身とする国家重点大学である。優秀な学生を研究型人材に養成するために、2006年、通信工学院、電子工学院、コンピュータ学院、機電工学院と技術物理学院等の5つの学院で「教育改革実験班」（「教改班」と略称）を創立した。これらの理系的要素だけでなく、英語にも力を注いでいる。

I. 全般的特徴

西安電子科技大學の前身は、1931年に毛沢東等の革命家たちが江西瑞金で創立した中国初の工程技術学校、中央軍委無線電学校である。1958年に古都西安に遷り、その後1966年に地方大学になって、1988年に現名称となった。新旧2つのキャンパスがある。旧キャンパスは小雁塔という場所の近くにあり、新キャンパスは終南山の裾に位置する。

西安電子科技大學は、当初軍学校として重視され、60年代にはその存在が国内外に知られていた。電子情報科学を主として、工学、理学、文科、管理等の多様な教育・研究分野を擁している。15の学院が設立されており、41の学士課程専攻、63の修士課程専攻、27の博士課程専攻からなる。そして、5つの国家重点学科、3つの国家重点実験室、3つの教育部重点実験室、1つの教育部工程研究センターと16つの情報産業部重点実験室を有している。

教職員は2,900人余である。その中には教授、准教授が740人余、中国科学院院士が1人、招聘院士が9人いる。8,400人余りの大学院生を合わせて30,000人余りの学生が在籍している。

経済支援

奨学金、助学金が国家、大学と企業によって提供されている。

「国家奨・助学金」は3種類ある。品行、学業とも優れているほか、「国家奨学金」は、社会实践・革新能力・総合素質の面で格別に優秀な学生を奨励するものであり、1人8,000元/年である。また「国家励志奨学金」は品行、学業とも優れた経済困難な学生を奨励する

ものであり、1人5,000元/年である。「国家助学金」は経済的に極めて困難な学生に提供され、年3,000元、2,000元、1,000元という3つのランクがある。定員は教育部によって配分される。

「大学奨学金」は、成績優秀な学生のために設立されている。1人年2,000元、1,000元、800元、400元の4つのランクがある。定員比率は、それぞれ1%、4%、10%、15%である。それほか、経済貧困な学生は同大学から特別困難補助金を支給される。1人年1,000元、700元、500元が授与され、定員比率は、それぞれ1%、3%、5%である。

一方、約40の企業と個人が西安電子科技大学で企業奨学金を設立し、優秀な学生や経済困難な学生を援助している。金額は1人年3,000~5,000元、定員比率は10%以上。

毎年約40%~60%の学生が、何らかの奨学金・助学金を獲得している。

入試等

選考は、一般には全国統一大学入試に基づくが、そのほかに推薦入学と自主選抜制度もある。

推薦入学の条件は、以下のようである。省レベルの「優秀学生」称号の獲得した者。高校期間で全国レベルの数、理、化、生等のオリンピックコンテスト決勝戦で省レベル1等賞以上を獲得した者。全国青少年科技コンテストで2等賞以上を獲得した者。国際科学&工程コンテストと国際環境科学研究項目オリンピックコンテストで入賞したもの、等。いずれかを満たした今期の高校卒業生に申請資格がある。

自主選抜の条件は多少範囲が広く、高校期間で全国各オリンピックコンテスト決勝戦で3等賞以上か、全国レベルの各科目コンテストで省レベル3等賞以上の獲得、科技创新、電子情報、特許、外国語、文学創作等の面で才能があつて、省レベルの「優秀学生」「優秀学生幹部」等の獲得、成績と品行とも非常に優れている学生等、どれか1つを満たす今期の高校卒業生である。

学院生の平均就職率は96%以上であり、院生の就職率は100%である。就職先は Philips, Intel, HP 等の IT 会社、大唐電信等の電子情報産業の会社と国有の 55 の電子情報研究所と軍隊の研究所に集中している。

その他

建学から70年余を経て、10万人余の卒業生を送り出した。そのうち、100人以上の解放軍将領、10人余の科学院院士、10人余の研究所所長と大学学長、Lenovo 集団の理事局の主席柳伝志、国際 GSM 賞獲得者李黙芳、欧州科学院院士・ナノメートル技術専門家王中林、「神舟」5号と6号の副総設計士楊宏等が含まれている。

西安電子科技大学は学生の文化生活を重視している。50 ぐらいの学生団体を有して、芸術祭、科技文化祭、歌手コンテスト、ウェブサイト設計コンテスト、ディベート大会等が

行われている。また、企業家論壇、文化素質教育講座、人文論壇等もよく開催されている。

II. 優等企画～教改班～

学生に応じて適切な教育を行い、分類育成という教育理念に基づいて、一部の基礎に優れ、素質が高い学生を研究型人材に育成するために、2006年、同大学は、通信工学院、電子工学院、コンピュータ学院、機電工学院、および技術物理学院等の5つの学院で「教改班」を設立した。

養成目標と養成モード

「教改班」の学生は、各自の専攻の基本理論、基本知識、基本技能と方法を系統的に把握し、厳格な科学的思考法と科学実験の訓練を受ける。そして、各専攻の専門知識と応用性知識を有しつつ各領域の発展や応用の全容をある程度に把握し、主専攻の外国語文献のために1つの外国語に卓越し、科学研究の手始めの訓練を受け、実際の課題を分析・解決する能力を持たなければならない。

「教改班」の学生は、1～2年では専攻に分けることなく基礎課程を学習する。本学院の専攻分野を把握してから、自分の関心の下に、3年次の前に本学院内で1つの専攻を選択する。選択の後は原則として変更が認められない。さらに、その時に相互選択にて指導教員を決定する。指導教員は、学生に対して後期の学習計画と科研訓練計画を定め、科学研究に参加する条件を設定する。それにより、学生の個性化養成が実現される。

「教改班」は、独自の養成計画と教育指導要綱を実施している。養成計画は、基礎の強化と知識の拡大を図り、科学訓練、実験と実践を強調し、総合的な素質養成という教育理念を重視し、修士院生の教育体系との結合に留意している。さらに、「双語」(外国語と母語)が使用可能な課程の比率は15%以上である。セミナーや最先端知識の講座も開設されている。

優遇措置

「教改班」は、他の教育組織から独立した編成と教育の体制を採っている。大学は、「教改班」に優秀な教員を整備し、科研実験室も含め優良な実験環境を提供している。

4学年第1学期のとき、「教改班」での成績が上位90%の学生は、推薦で大学院に入学する資格がある。大学は、教育部から配分された推薦院生の定員数に基づいて所定の推薦を行う。その際、他校の大学院に推薦する定員の割り当て数に関し、各「教改班」には一般の学生より優遇する措置を採っている。

選考

「教改班」の学生募集は、受験生の出身によって制度が異なる。陝西省と安徽省の受験

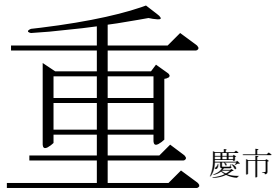
生は、早期採用の制度で直接に「教改班」に応募できる。その2省の募集で定員に満たない場合、当該省から普通の制度で採用された新入生の中から、大学統一試験の成績が当該省で上位20%以内であるか、早期採用の制度の採用得点より高い学生は、「教改班」に応募する資格を有する。

そのほか、自主選抜された新入生には、「教改班」に応募する資格が与えられる。

なお、5つの「教改班」の各定員数は40～60人。

授業料

「教改班」の授業料は、学年や学院によって基準が異なる。1, 2学年で、通信工学院、電子工学院、コンピュータ学院の「教改班」は6,000元/年、機電工学院と技術物理学院の「教改班」は5,500元/年。3学年からは、専攻によって授業料が異なる。



西南大学
Southwest University

西南大学は教育部直属の総合重点大学で、西南師範大学と西南農業大学が2005年7月に統合してできた大学である。本校は中国の西部大開発中心都市に位置し、直轄市の1つである重慶市にある。2006年に、西南大学は「西南大学本科人材養成‘創新実験班’実施意見」を発表し、各学院を主体として、本科生を対象に「創新実験班」を始めている。毎学期のテスト成績で学生同士が資格を競うことを、「創新実験班」の特徴の1つとしている。

I. 全般的特徴

西南大学は2005年7月、教育部の許可の下で、旧西南師範大学と旧西南農業大学が統合して発足した教育部所属の総合重点大学であり、又、国家「211工程」に入った大学である。重慶市の国家的な景色名所の縉雲山の下、景色の美しい嘉陵江の傍に位置している。旧名は西南師範学院であり、1950年に旧国立女子師範学院と旧四川省教育学院が統合して生まれた大学で、1985年に西南師範大学と名称を変更した。西南農業大学の前身は1950年に旧四川省立教育学院、華西大学と相輝学院の相関学部が統合して成立した西南農学院であった。1985年には西南農業大学と改称した。さらに、2001年に、西南農業大学は旧四川畜牧獣医学院と中国農学院柑橘研究所と統合して新しい西南農業大学になった。西南大学は80,000人余の在学学生を抱え、そのうち全日制本科生及び院生は50,000人程である。その他にも、毎年世界各地40ヶ国近くの留学生や、香港、マカオ、台湾地区の学生も本科生・修士・博士・あるいは研修生として学んでいる。専任教師が約2,700人いる。

経済支援と学費

「国家奨学金」、「国家助学金」、「国家勵志奨学金」などが提供されている。「国家奨学金」は中央政府の資金で設立され、本学の特別に優秀な学生に与えられる奨学金である。「国家奨学金」は1人当たり8,000元/年が授与される。「国家助学金」は中央政府の資金で設立され、経済的に極めて困難な学生のために提供される。1等には1人3,000元/年、2等には2,000元/年、3等には1,000元/年が授与される。「国家勵志奨学金」は中央政府の資金で設立され、品行と学力共に優れていて、経済的に困難な学生のために提供される。

「国家励志奨学金」は1人5,000元/年が授与される。

西南大学の学費は普通専門が3,700～5,000元、ソフトウェア工学が8,000元、芸術類が10,000元である。

入試と卒業

選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員比率を確定する。新入生は入学3ヶ月以内に大学の全面的な再検査を受け、不合格者は入学資格を取り消される可能性もある。

その他の選考に関しては、教育部の音頭による自主選抜の実験校として、西南大学では試験の得点だけで人材を選ぶ制度を改革した。すなわち、積極的に文化課程テストを行い、総合的に見て素質に優れ、実践能力が高く、創造的精神があり、なおかつ特定の分野に秀でている人材を選抜している。自主選抜の募集人数は学部全体の募集人数の5%以内である。西南大学の自主選抜の募集計画は主に教師範生の専門である。自主募集の対象は、①学習成績が優秀で、高校段階で成績が学年の上位であり、徳・知・体を総合的に備えた学生、②中等教育段階で全国オリンピック競争（数学、物理、化学、生物、情報学）、あるいは、他の競技会（青少年科学技術創作大会、全国コンピュータ製作競技会）で省級3等賞以上を獲得した学生、または、作文、外国語能力で特徴がある学生、③高校段階で市レベル以上の「優秀学生」、「三好学生」（‘三好’とは、道德、学力、健康の3つの面で優れていること）、「優秀学生幹部」などの称号を獲得した優秀な学生である。推薦された学生は大学で行われるテストに参加しなければならない。

西南大学の卒業生の就職率は、この3年の間94%以上に維持している。卒業生の中で大学院への進学を目指す比率は13%に達している。

II. 優等企画～創新実験班～

西南大学では、新たな教育体制改革として、本学の本科人材の個性化、段階化養成を実現するために、「西南大学本科人材養成‘創新実験班’実施意見」を発表した。そして、各学院を主体として、本科生を対象とした「創新実験班」を開始することとなった。

目標：高素質学部人材の養成

「創新実験班」の設立は、「西南大学本科創新人材養成計画」（「光焜計画」とも呼ばれている）の一環である。目標は、各学院の潜在的資源を発見し、各学院の優れた教育資源を統合して、その教育的主体性を発揮させて、総合素質が高い、創造的能力、科学的研究能力と実践能力がある優秀な人材を養成することである。

「創新実験班」の成立は、西南大学の本科人材を段階別に養成する教育思想の試みであ

る。学校は「創新実験班」を突破口として、大分類別・段階別の人材養成方式及び管理体制を探索する。今後の展開では、基礎型、複合型、応用型の本科人材養成体系を構築し、人材養成の質と効率を高め、学校のレベルと社会的影響力を高める。

管理

「創新実験班」の実施は、まず実験的に実施して、後に逐次拡大する策略を取る。学校では、文科類、理工類、農学類学院の中で、4つの学院を選んで、2006年新入学生から「創新実験班」を編成し、2007年以後は全学の全ての学院に拡大する。

「創新実験班」の学生の選考に関しては、2006年「創新実験班」は実験対象の学院を第1希望にした新入生の中で、各地区の新入生の15～20%の学生を成績を基準にして選んで構成する。各班の規模は30～60人までである。2007年からは、学校が募集要項で「創新実験班」を標記し、学生も学院から直接選抜する。

「創新実験班」は学科大類による養成を実施し、同類の非実験班と同じ養成方法を採用する。各「創新実験班」は4年一貫制を実行するが、実験班に編入しても、安閑としているわけにはいかない。学院は、毎学期のテスト成績によって「創新実験班」に入る資格を争う。学院では、このような方法で、選抜の公平性と学生全体の積極性を保障するようにしている。

教学

「創新実験班」は各学院の歴史的著名人の名前を付して、本学院の教学の特徴と文化の詳細を表現し、学習を奨励している。今年、実験対象になる学院は、一級学科修士学位の授与権があり、教師の中で修士以上の学歴を持つ教師の比例が60%以上になるべきである。それと共に、学生が高品質な教学資源を有するためには、先進的で、操作性が高い実施方案が必要である。

今年実験対象となる学院に対しては、学校から「創新実験班」の特定項目の資金が与えられる。また、教務処、学生処などの部門では、「創新実験班」に対して、教学改革項目への申し込み、課程教学、実験实践教学などを優先的に配置したり、学生奨助金でも優遇している。実験対象になる学院も、教師チームを健全化させ、重点的に課程体系、教学内容、教学方法の改革と、小型化、逸品化、情報化を推進して、「創新実験班」を開設する水準に達することが求められる。

非実験班養成方案と同じ基礎の上で、教師は実際の状況によって、「創新実験班」の教学時間、教学方法、実践方式、管理方式などに対して調節を行う。学院も各実験班の学生に副高級職名以上（准教授以上）の学業導師を配置する。導師は学生の個人特徴に合わせて、学生に指導を行う。学生は学業導師の指導の下で、ある程度の学習機会を自主選択する自由がある。



浙江大学

Zhejiang University

浙江大学は旧浙江大学、杭州大学、浙江農業大学、浙江医科大学が 1998 年に合併して成立した研究型の総合大学である。2000 年 5 月に創立された浙江大学の竺可楨学院は、本学の優秀な学部生に「特別養成」を実施する荣誉学院である。一流の学科と学者を抱えている竺可楨学院は、バラエティに富んだ教育モデルと養成方案を活用し、優秀な学生が十分に個性を發揮し、潜在力を發見できる空間を提供する。

I. 全般的特点

浙江大学は世界的に有名な景勝地である浙江省の杭州市に位置し、山や湖に富んだ美しい環境に恵まれている。教育部に直属し、浙江省と教育部との協力によって經營されている大学であり、紫金港、玉泉、西溪、華家池、之江の 5ヶ所のキャンパスを有する。

浙江大学の歴史は 1897 年に成立した求是書院に遡り、現在の浙江大学は旧浙江大学、杭州大学、浙江農業大学、浙江医科大学が 1998 年に統合して成立した研究型の総合大学である。最初に「211 工程」、「985 工程」に入った大学の 1 つである。浙江大学は、学科が、哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、農学、医学、管理学の幅広い分野に渡り、各級の国家重点学科、国家重点實驗室、国家重点研究拠点、各学科の人材養成拠点も設置されている。

条件が整備されている浙江大学には、24 名の院士を含む約 8,400 人の教職員がおり、約 39,000 人の学生が在学している。竺可楨、李政道、路甬祥などの学者をはじめ、優れた人材を次々と輩出している。

經濟支援

浙江大学は完備された奨学金制度を有する。浙江大学は、奨学金全体の約 4 割を占める 1,000 万元以上の奨学金を提供し、企業や個人の出資による奨学金も 35 種類設置され、2006 年の年間奨学金総額は 232 万元以上に達している。その他にも、経済的な困難を抱えている学生を対象とした国家助学贷款、国家あるいは省級奨学金・助学金、学費減免、特定項目補助、助学を目的としたアルバイトなどの対策も取られている。

そのうち、海外に派遣された留学生に対する経済的援助を目的とした、「包氏奨学金」

（「包兆龍包玉鋼中国留学生奨学金」の略称）が浙江大学の奨学金の 1 つとして大きな役割を果たしている。理事会が申請者の道德水準，成績，外国語レベル，業務能力，研究能力などの要素を総合的に考慮した上で，2/3 以上の匿名投票を得た者に決定するという厳しい選抜の流れである。奨学金は主に海外旅費，生活費，学費，国際保険費などの形で利用され，2001 年までの奨学金総額が 243 万元に達しているという。

費用

浙江大学は単位制学費制度を実施し，学費には専攻学費と単位学費の両方が含まれる。浙江省物価局の基準に基づいて設定された 1 人当たりの年間学費は，一般的な専攻では 4,800 元，芸術関係の専攻では 7,000 元で，ソフトウェアプロジェクト専攻の場合は，1 年目と 2 年目は 4,800 元，3 年目 16,000 元，4 年目 10,000 元となる。学年ごとに履修単位により学費を決算し，卒業の際に最終的な清算を行う。学生寮の家賃は 1 学年 1,200 元/人である。

入試

浙江大学は「学習力が高く，視野が広く，独立した思想，探求意欲，イノベーション精神及び将来性がある」高校卒業生を歓迎している。そのうち，入試免除資格を取った大学入試免除生と，理系（物理学等），芸術（建築学，芸術設計，デジタルメディア等）などの分野で抜きん出た才能を持つ学生を自主的に募集する。大学側は志願学生の個人履歴，高校時代の成績，受賞証明，表彰状などの材料を審議し，選ばれた学生に筆記試験と面接試験を行った上で，最終合格者を決定する。

卒業生

浙江大学の卒業生は，道德人格，イノベーション精神，社会適応能力のいずれの面においても社会的に高く評価されているので，国内外の大手企業，政府部門，及び研究組織が浙江大学に人材を求めている。浙江大学は，卒業生の就職率が国内では比較的高いほうで，就職先は主に長江デルタ地域，珠江デルタ地域，及び北京に集中し，キャリアの将来性がある。一方，国内外の大学院へ進学する卒業生は，卒業生全体の 4 割以上を占め，60%以上に達した専攻もかなり多い。

その他

浙江大学は 2007 年に創立 110 周年を迎え，2007 年 5 月 21 日，盛大な記念式典が紫金港キャンパスで行われた。ノーベル物理学賞の受賞者である李政道，全人大常務委員会の路甬祥副委員長をはじめとする国際的に名高い学者たちが母校に祝電を送り，国際友人，海外大学の学長からも祝電，祝賀の手紙を頂いた。

Ⅱ. 優等企画～竺可楨学院 (Chu Kochen Honors College) ～

2000年5月に創立された浙江大学の竺可楨学院は、本学の優秀な学部生に「特別養成」を実施するための荣誉学院である。1984年に成立した工学系の「混合班」はその学院の前身である。浙江大学の学長であった潘雲鶴中国工程院院士は現役の学院長である。竺可楨氏(1890～1974)は、浙江省紹興出身で、中国近代気象学と近代地理学における先駆者で、有名な教育者である。1936～1949年にかけて浙江大学の学長に就任していた。1955年に中国科学院士に当選した。

竺可楨学院は「優れた人材の成長のため堅い基礎を築くこと」を主旨とし、「基礎が広くて幅広いととも、知識、能力、素質が調和的に発展し、革新精神・能力を持つ人材」を目指している。一流の学科と学者を抱えている竺可楨学院は、バラエティに富んだ教育モデルと養成方案を用いて、優秀な学生が十分に個性を発揮し、潜在力を発見できる空間を提供する。

選考

竺可楨学院は、全国各地の高校から大学入試免除生として推薦される高校卒業生、及び全国大学統一入試で高い点数を取った浙江大学志望者の中から、厳しく選抜する。募集規模は、普通毎年400名以内で、新入生全体の5～6%ぐらゐを占める。選抜は筆記試験と面接試験からなる。筆記試験は、学生が高校時代の知識、特に各学科の基本的な考え方をどのぐらゐ身につけているかを重視する。学生を全面的に考察して優秀な人材を選び出すために、筆記試験に合格した学生は、各分野の専門家が審査員となる面接試験を受け、総合能力をテストされることになる。入学後の学生管理制度が開放的で、「自主進出制」を実施している。具体的に言えば、前期の段階では、浙江大学の他の学院に受かった学生は、面接試験と総合的な審議を経て、竺可楨学院に移ることができる。一方、竺可楨学院の教育モデルにふさわしくないと考えられる学生は他の学院を選択することもできる。

課程設置

学生の前期養成段階(第1学年)では、新入生は専門が定められず、文、理、工系における共通科目と基礎科目を履修する。第2学年から始まる後期段階において、学生は個人の興味や特徴に基づいて専攻を選ぶと同時に、学部生を対象に専門指導教員制度を実施する。専攻が決まった後、各専門の一般的な養成プロセスに従うこともできるし、2番目の専攻を選び、多岐にわたる発展を図ることもできる。複合型の学部生を養成するため、文、理、工の3大プラットフォーム以外に、イノベーションと創業管理強化クラス、公共管理強化クラス、工程教育シニアクラスの3つが副履修科目の形で設置されている。

優遇制度

竺可楨学院には、各学院の学術の先頭に立つ研究者、中国科学院と中国工程院の院士、政府基金奨励学者、博士指導教員など、豊かな学識、豊富な経験、活発な考えを持ち、しかも教育を熱心に務めている教師が集中している。それに、「卓越人材養成プロジェクト」「IAESTE アインシュタイン特定プロジェクト」「Melton 基金会」「中国企業体験実習奨励プロジェクト」など、異文化間コミュニケーションや国際化を実現させるためのチャンスも数多く提供され、優秀な学生をヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、アジア諸国、及び香港地区に派遣し、交流学习の期間中に経済的な援助を与える。

なお、卒業生は、大学院への進学率が 80%以上で、その内の 20%が海外へ進学する。



南開大学

Nankai University

南開大学は中国国家教育部直属の重点総合大学で、周恩来元総理の母校である。1919年に成立し、2000年12月に、教育部と天津市人民政府は南開大学の重点共同経営に関する協定を結んだ。中国全土に5つの校区と分校があり、メリーランド大学にアメリカ初の孔子学院を設立した。南開大学には、優等企画として、1986年に「数学試点班」が設立されている。

I. 全般的特徴

南開大学は、天津直轄市にある。周恩来元総理の母校であり、1919年に開設された。主校区（天津市）の他に、迎水道キャンパス（天津市内）、泰達学院（天津経済技術開発区）、深圳金融工程学院（深圳市）、雲南研究院（昆明市）を持っている。さらに、メリーランド大学にアメリカ初の孔子学院を設立した。南開大学には、22の専門学部と大学院、中国 APEC 研究院などがある。中国国家教育部に直属し、「211 工程」と「985 工程」に入る大学である。約 1,700 人の専任教員と約 22,000 人の学生がいる。大学では、単位制、双学位制さらに非専攻に対する選択履修制を採用している。南開大学は、国際的に著名な 100 余の大学と交流・提携関係を結んでいる。また、ノーベル賞受賞者や元政界人を招いて名誉教授としている。

経済支援

「国家奨学金」、「南開大学奨学金」、「周恩来記念奨学金」などが提供されている。「国家奨学金」は、品行方正で学力に優れ経済困難な学生を奨励するもので、1 等奨学金は年 6,000 元が、2 等奨学金は年 4,000 元が支給される。定員数は国家教育部によって決められる。「南開大学奨学金」は、学院と大学の 2 つのランクがある。学院レベルの奨励は学院が決め、大学レベルは主管学長が決める。いずれも、優秀な成績か優れた科学研究の業績を創った学生に授与される。「周恩来記念奨学金」は、年 1 回、極めて優秀な学生を選び、5,000 元を授与している。

入試

選考は、ふつうは全国统一大学入試に基づいて行う。2005 年からは、自主選拔を取り入れている。自主選拔の対象は、①省レベル以上の重点高校に在学し、高校時に全国レベルのオリンピック試合で 2 等賞の場合は 2 回以上獲得した者、②科学技術で創造的な発明を行い、取得した特許が専門家によって認められた者、③文学と英語で特に優秀な成績を修めた者、④各地の著名な高校が推薦する優秀な学生。

南開大学では、全国统一大学入試の前に自主選拔を行うが、そこでは筆記試験と面接試験がある。推薦された学生でも全国统一大学入試を受け、入学志願は必ず南開大学を第 1 志願としなければならない。

さらに、推薦入学制度もある。推薦された学生は、全国统一大学入試に参加しないが、大学の筆記試験と面接試験を受けなければならない。

その他

周恩来、曹禺、呉大猷、陳省身などの著名人は、南開大学が育てた人材である。

南開大学は、論文が SCI に収録された数が全国で優位に立ち、国レベルの高等教育教学成果賞では第 3 位を獲得した。南開大学とアメリカ IBM と共同開発した「南開の星」と命名されたスーパーコンピュータの演算スピードは 3.231 万億/秒に達する。

II. 優等企画～数学試点班～

「数学試点班」は、国家教育部の許可を受けて、南開数学所の名誉所長陳省身教授が創設したものである。なお、「数学試点班」が所属する南開大学数学科は、国レベルの重点学科であり、博士号授与権を持っている。なお、「数学試点班」は教育部に「国家理科基礎科学研究と教学人材養成基地（拠点）」と認定され、「数学基地班（拠点クラス）」とも称されている。1986 年から新入生を募集している。

「数学試点班」は南開大学数学学部と南開数学所の管理下にあり、高水準の数学基礎理論とコンピュータに関する教育課程を設けている。固有の設備として数学図書館もある。国家が 1.3 億元を投じた国際数学研究センターも、まもなく落成となる。そのクラスの学生チームは全国大学生数学競争試合で、団体優勝を 3 回獲得した。さらに、国際的な優勝も 3 回獲得している。

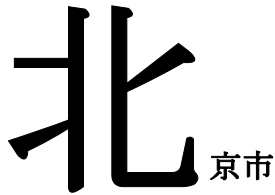
選考、奨学金及び進路

「数学試点班」は、毎年全国高校数学競技で省レベルの 1 等賞と 2 等賞を獲得したの中から、35 人前後を選抜する。選抜方法は、本人の申請を下に、在学する高校の推薦をとり、さらに南開大学による審査を通じて採用する。採用された学生は、全国统一入学試験

には参加しない。

優秀な学生を奨励するため、大学と天津市の奨学金のほか、「数学試点班」独自の「姜立夫奨学金」を設立している。学生の奨学金の獲得比率は、70%である。

大学では、「数学試点班」の卒業生を無試験で大学院に推薦するが、その人数は総人数の50%である。そして30%の学生は他大学の院生になる。専門は数学のみならず、コンピュータや情報学分野にも及ぶ。



清華大学

Tsinghua University

中国の工学の最高峰と呼ばれる清華大学は、1911年に発足した。幾度か所在地を変えたが、現在北京西北郊の清華園にある。1998年に、優等企画として、数物系のための「基礎科学班」が創設された。募集人員は60名である。数物基礎のほかに、人文科学思想の薫陶も重視している。また、1999年には、人文社会科学学院にて「中外文化総合班」が創設された。30人の学生を選抜し、文科人材養成モデルにて学習させている。

I. 全般的特徴

清華大学は、北京市西北郊の清華園に所在する中国高等教育の名門である。その前身は1911年に始まった米国留学予備校・清華学堂であり、1912年清華学校と改名した。さらに、1928年に「国立清華大学」と改名し、各学部は研究所の設立を開始した。1937年の抗日戦争の勃発の後、南の長沙へ移り、北京大学や南開大学と連合を図り、国立長沙臨時大学になった。1938年に昆明へ移り、国立西南連合大学と改名した。そして、1946年に清華園に復帰し、文・法・理・工・農の5学院と総計36の系を設立した。1952年になって、全国高等教育機関の「院系調整」（機関間と機関の内部組織の調整）の際に、その中の文系学部を北京大学に移管した。その結果、多学科学業大学となり、「エンジニアの揺籃」と呼ばれるようになった。その後、「211工程」と「985工程」に入ることで、総合的な実力向上が図られた。そして、13の学院、54の部系、理、工、文、芸、歴史、哲、経済、管理、法、教育、医の学科を持つ総合研究大学となるに至ったわけである。

校訓「自強不息・厚德載物」⁽¹⁾、校風「行勝輿言」⁽²⁾はよく知られている。胡錦涛国家主席や朱鎔基前総理は、清華大学の出身である。

経済支援

清華大学の奨学金は100種類近い。経済支援は、国家の支給による奨学金、各イベント向けの単項（特定項目）奨学金、優秀な新入生を対象とした奨学金、経済的に困難な学生を対象とした助学金、工商銀行による国家助学ローン、大手企業による貸付金、学校内のパートタイマーなどが挙げられる。奨学金の主な判定基準では、徳智体の総合的な状況と学生の長所の2点である。

II. 優等企画～基礎科学班と中外文化総合班～

1. 「基礎科学班」

1997年6月に、清華大学高等研究センターが設立された。同センターの名誉主任と主任は、それぞれノーベル物理学賞受賞者の楊振寧教授と米国籍華人で物理学者の聶華桐教授である。そして、基礎研究の強化、創造性ある人材養成および国際的学術交流・協力の拡大という、同センターの目標に向けて、1998年に「基礎科学班」を創設した。その養成は学部生に始まり、将来の国力に資するよう期待されている。1999年には60人募集したが、その中に省の理工科全国入試成績でトップの者が5人いた。

養成モデルと将来のキャリア

数物系基礎科学のための人材養成や基礎科学関連学科のためにパイオニア精神と理的素養を具備した人材の養成を図ることを目的とする。そして、つぎのような養成モデルを採っている。

- ・ 数学の抽象的認知と現代物理学の形象的認知や実験技法をマスターさせる。また、人文科学思想の薫陶も強調している。
- ・ 学部生と大学院生の一貫した養成過程を図る。そして、学生自身で専攻を決められるようにする。
- ・ 学部の3～4年生や院生の専攻は、数学科、物理学科と他の関連学科（生命科学・情報科学・材料科学など）に分けられている。

卒業後の進路はつぎのように分けられる。

- ・ 清華大学の高等研究センターに進んで博士学位を取得する。
- ・ 数物系等の院士や著名な教授に師事し、修士・博士号を取得する。
- ・ 他の学科で院士や学術の造詣の深い教授に師事し、修士か博士に至るまで新興の分野で活躍する。
- ・ 外国の著名な大学や研究所に推薦で進み、博士号を取得する。

2. 「中外文化総合班」

「中外文化総合班」の趣旨は、伝統的な学科の壁を取り払い、多学科の融合と統合を強化して、中英言語文化基礎を築く。そして、中国文学と中国文化の素養を高め、幅広い教養を着実に取得することを重視している。文学を基礎に経典を読むことを手段とし、中外文化の交流を深めたり中国文化の世界への影響を広げたりすることに力を入れている。1999年に、人文社会科学学院にて「中外文化総合班」を開始した。選抜された30人近くの学生は、新しい文科人材育成モデルで学習を続けている。入学は推薦方式で、文・理を問わず20人募集している。

養成モデル

養成の目標としての高水準の専門的人材は、総合的な発展を遂げた、堅固な中外文化の基礎を身に付けた人物であり、また外国語の利用や自国の歴史と文化への理解ができ、中外比較文学研究と文化交流などの仕事ができるものである。養成モデルには、次のような特徴がある。

- ① 教員の指導の下、学生自ら知識の獲得を積極的に行い、研究型の学習を実行する。
- ② 必修コースと自由選択コースを結合する。
- ③ 講義式と（個別指導を意図した）指導教官制度をうまく連動させる。
- ④ 6年を通じて学部と修士課程を一貫させる養成方式を採っている。

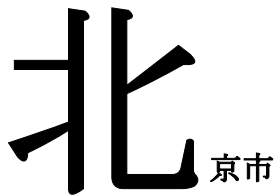
【注】

① 易経を出自とする。

天行健，君子以自強不息（天行建ナリ，君子ハ以テ自強シテ息（や）マズ）一天は絶え間なく常に正しく運行している。君子も同じく常に努力と勤勉さを持ち続けなければならない。

地勢坤，君子以厚德載物（地勢坤ナリ，君子ハ以テ厚德載物）一地勢とは徳であり，君子も徳をもって全ての事に当たらなければならない。

② 行動は言葉にまさる，の意。



对外经济贸易大学

University of International Business and Economics

現在の对外经济贸易大学は、50年以上前に設立された对外经济贸易大学および中国金融学院が統合したものである。2005年、国際经济贸易学院は、経済学荣誉学士学位制度を提出し、「経済学荣誉学士実験班」を設立した。この経済学荣誉学士学位制度とは、海外の大学で推進していた荣誉学士プログラム（Honors Program）と同じものである。

I. 全般の特徴

对外经济贸易大学は中国の首都北京市の北東に位置し、1951年に創立された。2000年までは旧对外贸易经济合作部に所属していた。現在の对外经济贸易大学は、旧对外经济贸易大学、旧中国金融学院の2校が、2000年6月の統合を経て成立した。中国教育部に所属し、早期に国家「211工程」に入った重点大学の1つで、経済、金融、管理、法律等の教学と科学研究領域において国内で一流水準の重点大学である。

对外经济贸易大学は、14の学院と2つの直属系があり、また大学院部と体育部が設置され、学部専門学科25科、博士指定14学科、修士指定39学科、博士課程後研究生流動センター2センター、国家重点学科2学科、国家人文社会科学研究拠点1拠点を備えている。約6,400人の学部生、3,500人の大学院生、70ヶ国以上の留学生1,700人が在学している。教職員は1,500人ほどである。

経済支援と学費

对外经济贸易大学の奨学金は主に「大学内奨学金」と「外来奨学金」の2種に分かれる。毎年全学の約60%の学生が奨学金を獲得できる。最高金額は6,000元/年が授与される。「大学内奨学金」は、「新入生奨学金」、「総合奨学金」、「特困生奨学金」、「科学研究成果奨学金」、「見義勇為奨学金」を含む。そのうち、「新入生奨学金」は、全国大学統一試験で、各省の文系と理系の上位3位に入っている新入生から、選抜し、奨励する。最高金額は5,000元/年が授与される。「総合奨学金」は、品行・学力とも優れている学生を奨励する。学生全体の48%が、この奨学金をもらうことができる。

「外来奨学金」は、「国家奨学金」、「新旭奨学金」、「三井住友銀行全給基金会奨学金」、「住友商事奨学金」、「日宝来福奨学金」、「ソニー奨学金」、「恒生銀行奨学金」、「三菱商事

国際奨学金」,「金宝奨学金」,「建華愛心奨学金」等の 11 種類がある。そのうえ, 経済的に困難な学生に,「勤工助學」(アルバイトを提供することによる在學支援),「国家助學金」,「特別困難補助」が提供されている。また, 授業料の免除および徴収猶予も実行している。

2007 年の学費標準は次のようになっている。言語学は 6,000 元/年, その他の分野は 5,000 元/年。華僑の学生,「Reims⁽¹⁾ダブル学位」の学費標準は別である。

入試

選考は一般的に, 全国から学生を募集し, 全国統一大学入試に基づいて行われる。

選考の特徴: ①英語学, 日本語学, フランス語学などの言語学分野は, 外国語が英語に限定されている。ほかの分野は自由である。ただし, 外国語が英語ではない新入生は, 外国語が英語の新入生と同じように, 大学レベルの英語授業を受け, 英語の資格を取らないといけない。②すべての専攻分野の志願者は, 外国語の口述試験を受けないといけない。この口述試験は各省の「学生募集事務局」により, 試験問題が決められ採点される。大学は直接に面接をしない。

卒業生

大学では, 就職活動を重視し, 毎年大規模のキャリアミーティングを開催する。ここ数年, 平均就職率は 90%以上に達している。2006 年の 1,673 人の大学卒業生のうち, 就職 1,066 人, 進学 294 人, 海外留学 195 人で, 未決定者は 63 人が進学予定で, 55 人が就職予定である。2006 年 12 月 20 日までの就職率は約 94%である。e コマース, フランス語学, 英語(翻訳)などの 8 つの分野では, 就職率は 100%であった。就職先は, 世界トップ 4 位以内の会計士事務所, 世界で有名な企業および国内の大企業, 銀行, 政府系機関など広い範囲にわたる。

その他

対外経済貿易大学の学生は各種の外国語競技大会に参加することを奨励されている。学生チームは, 中国を代表し,「国際企業管理挑戦大会」に 5 回参加したうち, 連続 2 回世界チャンピオンになったこともある。2004 年に, 2 つの学生チームは,「LOREAL 国際オンライン商業策略競技」で, それぞれ学部組チャンピオンと MBA 世界チャンピオンになった。

II. 優等企画～経済学榮譽学士実験班～

榮譽学士プログラム (Honors Program) とは先進国の本科の教育で発展してきた優秀な人材を育成する学位教育制度の 1 つである。20 世紀 60 年代に始まり, アメリカ, ヨー

ロッパの大学であまねく推進されてきた。榮譽学士プログラムは、学問的才能のある学部生に難度の高い課程訓練を提供し、学生をさまざまな学術活動に参加させ、プログラム教員に指導を受させることで、革新的な知識を身につけさせ、独自の職業技能を発達させる。

中国の大学は、20世紀90年代に榮譽学士プログラムを試み始めた。2005年、対外経済貿易大学の国際経済貿易学院は、経済学榮譽学士学位項目(Honors Degree)を設立し、経済学榮譽学士学位制度と榮譽学士プログラムは同じものとみなされる。2006年秋には、プログラムに全部で80人の学生がおり、1年生40人、2年生40人であった。

養成モデル

「経済学榮譽学士実験班」の属している国際経済貿易学院の趣旨は、中国における将来の企業経営者、経済政策決定者および学者に仲立ちを提供し、学生を激しい競争と外交にかかわる経済貿易活動でリーダーにすることである。知識を伝授することより、知識を創造することを重視している。

「経済学榮譽学士実験班」は2005年に設置された。短期の目標は、10年以内に優秀な青年経済学予備人材を育て上げることである。中期の目標は、約20年後現在の学生の一部がさまざまな経済学分野で中堅になることである。主副専攻制度を実施している。主専攻は経済学で、副専攻は対外経済貿易大学の国際経済貿易学院に進学した時の主専攻である。卒業する時に、経済学榮譽学士学位およびもとの専攻の副修の2つの証明書を授与する。

主要な課程：経済学原理導論、マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学、国際経済学、数理経済学およびゲーム理論である。

選考

毎年初め、国際経済貿易学院の学部1年生から選抜する。新入生が願書を提出してから、大学は「経済学榮譽学士実験班」を応募した新入生の中から全国大学統一試験の成績の良い新入生を選び、筆記試験が行われる。試験科目は英語と数学の2つである。大学は、その成績に基づいて初選抜を行い、面接試験を受ける名簿を確定する。面接を受けた新入生の中から40人を選び、「経済学榮譽学士実験班」を設立する。2007年から、全国大学統一試験で直接に選抜することになった。

優遇制度

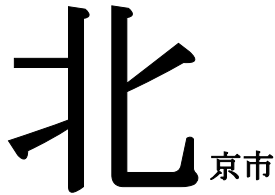
「経済学榮譽学士実験班」は、主副専攻制度を実施している。卒業する時に、経済学榮譽学士学位およびもとの専攻の副修の2つの証明書を授与される。「経済学榮譽学士実験班」の授業は、一流の教員に担当され、クラスの人数が少なく、ほかの学士学位班より広い範囲から選択して履修することができる。

課程設置は学術性を重視する。4単位の研究および学術トレーニングがインターンシップの代わりに実施されている。学生の数学レベルは工学類大学と同じレベルが要求されている。経済学の専門科目は、英語原著の教科書を使い、専攻分野の研究に優れた教員が教授している。そのうえ、実験班の学生は、指導教員を配置され、導師の研究活動に参加する。

「経済学荣誉学士実験班」の属する国際経済貿易学院の院長の董保民氏は、実験班に特別な奨学金を提供している。この奨学金は董保民氏が個人的に出資し、全金額は5,000円で、「最優奨（最優秀賞）」3人と「進歩奨（進歩賞）」1人が設定されている。「最優奨」は成績が実験班の上位3位に入っている学生に与えられる。「進歩奨」は、期末試験が中間試験と比べて、最も大幅に進歩した学生に与えられる。

【注】

(1) フランスの Reims management school



中国人民大学

Renmin University of China

中国人民大学は、1937年に設立された国立総合大学であり、社会科学と経済管理学で中国一のレベルを誇る。2005年5月に創立した国学院は、近代中国社会の伝統文化復興の時代的風潮に応じた産物である。国学とは、中国伝統学術の略称であり、優秀な学生を対象としたその養成モデルは、詩経、論語、孟子、孫子兵法、説文解字などの古典の講読を特徴とする。6年間にわたる本科一修士一貫制を採っている。

I. 全般的特徴

中国人民大学は、北京の中関村地区にある。社会科学、人文科学、経済および管理科学を主とした総合大学で、1937年に設立された陝北公学をその前身とする。その後、華北聯合大学、北方大学、華北大学を経て、1950年に現在の名称となった。

現在の中国人民大学は、理論経済学、応用経済学、法学、社会学、新聞学の分野で中国一のレベルを誇る。大学には、26の学院、62の学士学位課程、140の修士学位課程、100の博士学位課程がある。在学生数は22,000人余である。大学院生と本科生の比率は1:1であり、中国で院生の比率が一番高い大学である。また、85ヶ国からの外国人留学生在が約1,600人在籍している。専任教員は1,700人である。また193名の著名な外国の学者と930名の国内各界の知名人が、名誉教授、客員教授、兼職教授を担任している。

図書館には300万冊の本が収蔵され、また国家教育部文科文献情報センターが設けられている。中国人民大学は、国内の重要文献の編集・出版の中心とされ、学校出版社は、新中国の成立以後に設立された最初の大学出版機構である。文科教材の全国的な出版拠点である。

経済支援

新入生に対する「グリーンロード」：経済的に困難な学生に対しては、学費や宿舎費の納入猶予制度がある。また入学後、「国家助学ローン」、「国家奨・助学金」、「勤工助学」（アルバイトを提供することによる在学支援）、「奨励性貸与金」などを通じて救済しようとしている。

奨学金：大学が設立する奨学金として、「吳玉章奨学金」、「学長特別奨学金」、「学習優

秀奨学金」,「科研創新奨学金」,「優秀学生幹部奨学金」があるが,そのほかに各学院が提供する「学院奨学金」がある。また,企業や校友による「社会寄付奨学金」も 30 種類余ある。奨学金を獲得する学生数は,30%以上である。2006 年の奨学金支給総額は 700 万元に達した。

「国家助学ローン」:大学が保証人になり,銀行が学費と宿舎費を貸与する無利子ローン(銀行への利子は国家財政で支払われる)である。国家の規定で,20%の学生が毎年 6,000 元以内のローンを申請でき,返済期限は卒業後 6 年内である。

「国家奨・助学金」:大学では,毎年 120 名以上の学力優秀で経済的に困難な学生に対して,4,000 元/年の「国家奨学金」を支給している。また,経済的に極めて困難な学生に対して,150 元/月の「国家助学金」を提供している(授与率は在学生数の 5%に限定されている)。

「勤工助学」:「勤工助学基金」と「勤工助学」センターが設けられており,毎年延べ 5,400 人にアルバイトを紹介している。

「奨励性貸与金」:一時的に経済困難な学生に無利子貸与金を提供する。ただし,品行・学力が規定の条件に満たせば,卒業時に,大幅または全面の返済免除が認められる。

学生募集

募集類別は,普通本科生,推薦入学生,自主選抜生,国防生(国家防衛のための学生),非通用外国語専攻学生,芸術類学生,芸術特長生(芸術に秀でた学生),西藏(チベット)クラス学生,新疆クラス学生,香港・マカオ・台湾・華僑学生と第 2 学位学生などに分けられている。普通本科生つまり一般選抜は,全国統一大学入試に基づき,各省で受験生の人数に基づいた定員制で行われる。例えば,2007 年における北京市の募集定員は,文系 117 名で理系 112 名であったが,この方式により,海南省の定員が文系 13 名,理系 10 名となった。

推薦入学生や自主選抜生,芸術類学生,芸術特長生などは,いずれも推薦,大学の筆記試験,面接に全て合格しなければならない。

最近の中国人民大学の学生募集の特色は,類別募集である。つまり,大きく分類された学科類(例えば,国際関係学院,新聞学院,商学院)ごとに学生を募集している。学生は,入学後 2 年か 2 年半の基礎科目を習得してから,志望でより細分化された専攻を選択する。また,外国語類専攻は 2005 年から 5 年制「双学位」コースが導入された。「双学位」コースを選択したときには,その副専攻は,経営学,知的財産権法および国際政治に限定されている。

その他

大学キャンパスでは,その東に吉野家や面愛面(日本式ラーメン屋)があり,西には漢

拏山（韓国式焼肉屋）があり、南には中国西北地域料理を売る屋台通りがある。食事の場所には事欠かない。

中国人民大学には、100 個近い学生サークルがあり、キャンパスの文化活動が盛んである。毎年、学生学術祭、五四文化祭、服飾文化祭などのイベントが頻繁に行われる。

日本の教育家池田大作、一橋大学の元学長石弘光、ユネスコ事務局長松浦晃一郎やトルクメニスタン元大統領ニヤゾフも、中国人民大学の名誉教授である。また、竹下登元日本首相と世界貿易機関元事務局長マイク・ムーアにも、中国人民大学の名誉博士が授与されている。

II. 優等企画～国学院～

中国人民大学国学院は、2005 年 5 月に設立された。その際には、中国中央政府や社会各界の大きな反響を呼び、多大な支援を得られた。その背景には、近代中国社会の伝統文化復興の風潮がある。国学とは、中国伝統学術の略称である。経済復興とともに、中国の輝かしい伝統文化によって築かれた民族的精神も復興させなければならないという社会からの呼びかけが、国学院を成立せしめたのである。

国学院の院長は「紅樓夢」研究の大家と言われる馮其庸氏である。国内外から招いた 40 人の国学研究の大家が、国学院の学術専門家委員会を構成しており、その中の 18 人が専任教員として活躍している。

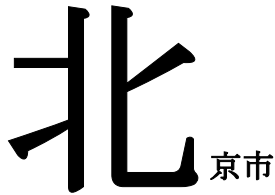
養成モデル

- ① 養成目標：中国の古典文献に馴染ませ、学生たちの国学的教養を深めるために、新世代の国学研究を行い、実践人材を養成する。
- ② 学制：6 年（本科－修士－貫制）、修士学位を授与する。
- ③ 導師制：3 年時から相互選択と統一協調の方針に基づいて導師制を採る。また、必修科目を減らし、選択科目を増やすことで、学生を早期に研究的関心に導く。
- ④ 課程設定：大別して、学科基礎科目、専門必修科目および選択科目という 3 つの類別がある。具体的な科目は次の通り：「左伝」講読、「詩経」講読、「論語」講読、「文字音韻訓詁」、「版本目録校勘」、「周易」講読、「老子」講読、「莊子」講読、「孟子」講読、「楚辞」講読、「史記」講読、「漢書」講読、「杜甫詩研究」、「宋詞研究」、「国学研究講座」、「三礼」講読、「孫子兵法」講読、「墨子」講読、「荀子」講読、「商君書」と「韓非子」講読、「説文解字」講読、「世説新語」講読、「文心彫龍」研究、「昭明文選」研究、「陶淵明研究」、「李白研究」、「韓愈研究」、「敦煌研究」、「敦煌文書研究」、「西域史研究」、「先秦諸子研究」、「宋明理学研究」、「国学概論」、「海外漢学研究」など。

学生募集と優遇制度

中国人民大学国学院を志望した，大学統一試験での高得点者の中から選抜する。第1，2の志望者しか募集しない。国学院の募集は約30人。

国学院の学制は6年で，学業合格者に修士学位が授与される。成績優秀な者は無試験で推薦により国学関連専攻の博士課程に進学できる。また，国学院の学生は，中国人民大学の各種奨学金・助学金を得られるとともに，国学院向けの奨学金「国学基礎奨学金」も全員に授与されることになっている。



北京大学
Peking University

1898年に創立された京師大学堂を前身とし、1912年に北京大学と改称された。中国の重点大学のトップクラスとされる。1998年の創立100周年に、「世界一流大学へ」という理念の下、総合研究大学の本科人材を養成するためのモデルの模索を開始した。その結果、2001年から「元培プログラム」が発足することとなった。その名称は、文化革命の先駆者であり、また中国近代教育の原点を築いた教育家でもある、蔡元培氏に由来する。

I. 全般的特徴

北京大学は中国で最初の総合大学として、中国の重点大学のトップクラスに属している。1898年に創立された京師大学堂が、辛亥革命後の1912年に北京大学と改称された。中国のシリコンバレーと呼ばれる北京市海淀区中関村科技園区の中心部に位置し、約300万平方メートルにも及ぶ広大なキャンパスを持っている。

2000年4月、北京大学と旧北京医科大学が統合し、現在の北京大学となった。旧北京医学大学も1912年に成立した国立北平医学専科学校から発展してきた歴史ある名門大学で、1985年に「211工程」に入った国家重点医学大学である。現在の北京大学は、40超の学院があり、100超の学士専攻学科がある。また、修士専攻と博士専攻にはいずれも200以上の学科が設けられている。2007年11月現在で、30,000余の学生（80ヶ国からの外国人長期・短期留学生4,000人余を含む）と約16,000人の教職員がいる。専任教員の中に、中国科学院士が52人、中国工程院院士が8人いる。また、学生に対する教員の比率は、中国で一番高い。

経済支援

90%以上の修士課程院生、100%の博士課程院生が奨学金が授与されている。奨学金の最低額つまり3等奨学金が授業料総額に相当する。「国家奨学金」と大学が提供する「五四奨学金」、「優秀学生奨学金」がある。また、「社会寄付奨学金」（例えば、「光華奨学金」、「Benz奨学金」、「Motorola奨学金」など）が100種類ほどあり、これが奨学金総額の3/4以上を占める。最高額奨学金は1人40,000元にも達する。奨学金の主要判定基準は、いずれも学業の成績である。

経済的に困難な学生に対し、「経済困難学生援助システム」が運営されている。例えば、助學ローン、アルバイト支援、授業料減免、貸与、臨時困難補助、助學金などがある。2007年に、北京大学が新入生を対象とした助學金の総額は、300万元であった。

学費・宿舎

2007年度学校本部の本科生の学費は、「元培プログラム」、生命科学学院、情報科学技術学院では5300元/年、医学部では6,000元/年、他の専攻では全て5,000元/年であった。

学生はほとんどキャンパス内の学生寮に住んでおり、本科生の宿舎は1つの部屋に4人が住んでいる。すべての部屋からインターネットが利用可能である。

外国人留学生の学費としては、大体26,000～40,000元/年ぐらい。留学生用寮も用意されており、2～3人で1部屋を占める。

入試

選考は全国統一入学試験に基づき、大学は各省の出願率による定員制が定められている。例えば、2007年理系の募集は、北京市出身者の定員が190名であるのに対し、チベット自治区に対しては2名であった。

2007年の選考では、各省での入試試験の点数によって、募集定員の110%の志願者の中から総合的に選抜した。

芸術・体育特长生（芸術・体育に秀でた学生）特別選抜制度：志願者が専門家による技能審査を経て、文化課程試験を受ける。両方とも合格した者には、全国統一入学試験の成績に50～80点を加算して優遇し、選抜の対象にしている。

自主募集・選抜：総合的に見て極めて優秀な者、あるいは特定の分野に秀でた者に対して、特別選抜制度が用意されている。自分の申請と出身高校の推薦に基づいて、大学側が書類審査を行う。書類審査合格者に筆記試験と面接が実施される。筆記試験と面接の双方に合格しても、全国統一入学試験を受けなければならないが、その成績が出身省の北京大学の最低募集点数以下の20～30点以内であれば、北京大学に入学できる。2008年の自主募集・選抜人数は、新入生募集定員の8%であった。

卒業生

卒業生は国内外で政治、経済、科学技術、文化などの各分野で活躍している。毎年卒業生の約1/3が、Intel、Microsoftのような大企業あるいは中国政府主要部門に就職する。また、あとの約1/3ずつが大学院進学とハーバードのような世界名門大学への留学の道を選ぶ。

その他

北京大学図書館はアジアの大学の中でも最大の規模を誇る。蔵書は 700 万冊を超え、毎年約 8 万冊が増冊される。ノーベル賞受賞者や各国首脳や政府要員による講演会が頻繁に行われる。キャンパス内の未名湖は面積 6 万㎡もあり、休みの日ともなると、北京大の教職員の家族や学生がのんびりと過ごす姿が見られる。また、留学生の数が多いため、各国の学生とふれあうチャンスも多い。

中国の商務部長薄希来，ノーベル賞受賞者李政道，楊振寧や朱自清，矛盾などの文学巨匠も北京大の卒業生である。

Ⅱ. 優等企画～元培学院～

北京大学は 1998 年創立 100 周年を機に、「世界一流大学へ」という目標を掲げ、21 世紀に相応しい総合的研究型大学の本科人材を養成するモデルを模索してきた。その結果、2001 年秋に「元培プログラム」が発足することとなった。

蔡元培氏（1868－1940）は浙江省紹興市の出身であり、孫文の政治革命に比肩する中国の文化革命の先駆者である。1917 年北京大学の学長に就任し、徹底的な教育改革を実施することで、中国近代教育の原点を築いた有名な教育家である。

6 年間の模索を経て、2007 年 9 月に元培学院が正式に成立した。この学院は従来の学院と異なり、専門教員がおらず導師だけが存在する学院である。学院は「元培プログラム」管理委員会が管轄、北京大学は導師の配属や履修科目選択などのあらゆる方面で元培学院に全般的な便宜を提供した。学生の専攻を決定した後の行政管理はまだ元培学院に属するが、専門教育は該当学科に委託する。

教育的特色

元培学院の教育方針は「基礎を強化し、専攻分類間の壁を極力取り除き、対象に応じて異なった教育を施す、分別養成」である。

- ① 専攻が自由に選択できる。第 1 年に専攻を分けず、基礎科目を選択履修することによって北京大学の学科設置、養成目標などを把握する。第 2 年から、導師の指導に基づき、自分の興味ある専門基礎科目を履修し、第 2 学年末までに専攻を確定する。
- ② 履修科目が自由選択できる単位制である。導師の指導の下で、履修科目を自由に選択できる。また、卒業まで必要な単位数を 150 単位から 140 単位まで減らすことができ、その中の必修単位数を総単位数の 60%以内に納めることができる。「元培プログラム」の目標は、知識を授与するのではなく、学生自らが知識を獲得するような方法や思考能力を養成することにある。
- ③ 基礎を強化し、専攻色を弱める。「元培プログラム」は大学 10 年制（修士＋博士）

目標に相応し、学部教育を大学院教育の準備段階と見なす。今後多学科に跨る専門研究者として不可欠な創造性と開拓能力、広い視野と寛容な精神を育成する。

- ④ 導師制を採っている。元培学院の学生たちは、北京大全体から特別に招聘された 37 人の教授の連携による学生学習指導委員会から、全般的な指導を受けている。これによって、学生は北京大学のある特定の専攻ではなく、「全般的な」北京大学の優秀な教授指導を受けることができる。
- ⑤ 柔軟な学制を敷いている。学生は導師の下で、自らの状況に応じ、3～6 年の勉強計画を設定できる。速い場合は 3 年で卒業できる。
- ⑥ 管理と生活制度上の設計。学生たちは、専攻を決定した後、行政面で「元培プログラム」管理委員会に管理される。また異専攻の学生たちを同居させ、互いの交流の場を提供するよう配慮している。

要約すると、元培学院は専門研究者養成のための準備段階でもあり、社会のニーズに相応する複合的な人材養成プログラムでもある。

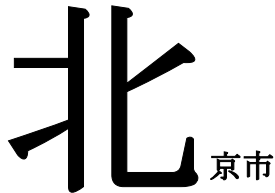
選考

毎年全国から北京大学元培学院を志望する、全国大学統一入学試験で高得点を獲得した受験生の中から選抜する。2005 年の新入生 156 人のうち、17 人が各省の「状元（トップ）」である。

元培学院毎年の募集規模は 200 名以内に限定しており、2007 年の募集人数は 192 人であった。2007 年 12 月現在、元培学院には約 700 人の学生が在籍している。

卒業後の進路

2005～2007 年計 3 期の卒業生の中に、7 割以上の人が国内外の有名な大学院に進学した。2007 年の卒業生を例として、140 の卒業生のうち、49 人（35%）が国内の大学院に、54 人（39%）が国外の大学院（主にハーバード大学、MIT、オックスフォード大学、東京大学などの国際名門大学）に進学した。また、30 名（21%）の学生が就職した。主な就職先は、弁護士事務所、金融保険会社、新聞社、政府機構、国有大企業や外資企業である。



北京科技大学

University of Science and Technology Beijing

北京科技大学は、北洋大学など5つの名門大学が合併した教育部直属の全国重点大学である。工学を主として、特に、冶金、材料、機械、鉱業といった分野が著名である。2007年に、優等企画として「理学実験班」を創設し、人材の育成に取り組んでいる。1、2年時に、応用科学学院にて、基礎教育を行う。3年次になって、他の学部生とともに各学部の講義を受けることになっている。

I. 全般的特徴

1952年に、華北大学工学院、唐山交通大学、北洋大学、西北工学院、山西大学の5大学が統合して北京鋼鉄工学院が創設された。そして、1988年に北京科技大学と改名された。現在の北京科技大学は、北京市海淀区学院路にあり、1998年に新しく設立された管庄キャンパスを含めて、合計約60万平方メートルの4キャンパスを有している。大学においては、土木・環境工程学院をはじめ、冶金・生態工程学院、材料科学・工程学院、機械工程学院など9の学院、40にわたる学科が設置されている。冶金、材料、機械、鉱業などの領域で7つの国家級の重点学科を有し、制御、熱能、力学などの学科も堅実な実力を保持している。

学生は約30,000人、教職員は2,600人余である。その中に、中国科学院院士が7人、中国工程院院士が3人含まれる。

経済支援

学部生に対して、主に「人民奨学金」と「特種奨学金」という2つの奨学金が提供されている。「人民奨学金」は、大学によって提供されるもので、年額300～5,000元にわたって5つのランクがある。約35%の優秀生に与えられる。「特種奨学金」は、社会各界からの寄付金によるものである。「国家奨・助学金」、「宝钢奨学金」、「建龍奨学金」、「POSCO奨学金」、「SONY奨学金」など20種類以上を含め、優秀な学生に対して、年に2,000～10,000元までの援助を提供する。

そのほか、新生を対象とする入学奨学金や、科学、体育などの競技で優勝した学生を対象とするものもあり、全学の約50%の学生が何らかの奨学金を得ている。また、経済困

難と認められる学生に対して、大学は補助金や勉学援助貸付などを提供している。

入試

各省での大学入試統一試験での順位を参考にして選考を行う。そこでは、全国のおよそ 30 省、市及び自治区から学生を募集する。ほぼ毎年 3,000～3,400 人の新入生を迎えている。2000 年以来、合格した受験生の平均 95%以上が北京科技大学を第 1 志望としている。

なお、入学後の 1 年間に、成績が常に上位 30%に維持した学生に対しては、特定の試験や審査を行い、合格すれば第 3 学期からは本人の志望に基づき、学部を変えることが可能になっている。また、平均成績が上位 40%以内に維持されていれば、申請を経てからダブルディグリー（双学位）の獲得や第 2 専攻の履修も可能となっている。

卒業生

大学院への進学率は約 40%に達する。そのうち、北京科技大学も含めて、清華大学、北京大学、同済大学などの一流大学に推薦で進学する学部生の割合は 12%である。また、海外留学を選択する卒業生が全体の 10%を占め、就職希望者の就職率は約 95%である。

大学側は学生の就職活動を支援するため、200 以上の企業が参加する大規模な「企業人材招聘会」を年に 2 回ぐらいのペースで主催し、諸々の交流活動を盛んに行っている。就職先は、文系では政府部門や国家機関に、理系では研究所、大学、一流企業に勤めるものが多く、特に卒業後、北京に残る学生が全体の 6 割を占める。

大学では、特に冶金や材料工業の分野に重要な人材を送り出している。卒業生のうち、中国科学院院士や中国工程院院士になったものが 31 人いる。

その他

過去 4 回開催された「全国機械人電視大賽（全国ロボット競技会）」において、北京科技大学の学生チームが 2 度優勝している。2005 年に開催された「亜太地区大学生機械人大賽（アジア太平洋地域大学生ロボット競技会）」においても、2 位となった。

一方、特許については、1978 年から 2005 年までに、大学では合計 955 件を申請した。また、1,000 以上の研究発表が国家や省、部委の奨励を得ている。これらの研究成果は 7 割以上が実用化され、国に 30 億元を超える経済利益をもたらしている。

II. 優等計画～理学実験班～

「理学実験班」は、2007 年に創設された理科対象の実験班である。国際的な競争力を持ち、革新性ある人材を養成することを旨とする。その事務や運営などの管理権は、第 2 学年が終わるまでは大学の応用科学学院に属し、各学生が専攻が決めてからはそれぞれの

学院に属すると規定されている。

課程設置

「理学実験班」に入った学生に対しては、1・2年では専攻を細かく分けことなく、統一した基礎教育を行う。具体的には、数学分析、高等代数、確率論と数理統計、数学モデリング、数学実験、大学物理、大学化学、工程力学、大学英語、政治理論などの講義が行われる。「理学実験班」の学生は、他の学部生と異なって単独の一クラスで受講する。ただし、英語だけは、2つの小クラスに分かれて受講することになっている。

2年の末に、学生は各自の志望で専攻を選択する。その後、3年から他の学部生とともに各学部の講義を受講することになっている。

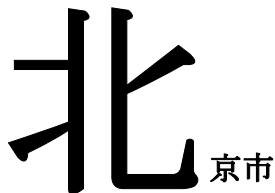
選考

全国から、英語を第1外国語とし、入学試験の得点が大学の合格ラインより20点以上となる受験生を対象として選抜を行う。募集人数は60人である。「理学実験班」の在籍中に、履修困難と感じる学生は、辞退を申し出ることができる。辞退した後、大学の各学部から自らの希望によって専攻を選択し、一般の学部生として受講することになる。

優遇制度

1・2年において、各基礎講義は大学が選定した各分野の優れた教員の下で、少人数の単独クラスで行うと規定されている。3年から、個々の学生に対して特別な指導教授が付けられ、その指導の下で各課題グループに入り、研究を行いつつ重点的に養成がなされる。

また、「理学実験班」では、本科－大学院という一貫した教育がなされているため、学部を卒業した学生は、推薦により無試験で大学院に進学することができる。



北京化工大学

Beijing University of Chemical Technology

1958年に創設された北京化工大学は、2001年に国の「211工程」に認定され、重点大学の1つとなった。理科、工科は堅実な実力を持ち、文学、法律学、管理工学、経済学などの学科も独自性を重視し豊かな発展を遂げてきた。新世紀の経済発展に対応できる新しい人材を育成するため、2004年に「実験班」を新たに創設した。その学生は、「実験班」のために設計された、少人数クラスのエリート講義である「実験班平台課程」を受けるようになっている。

I. 全般的特徴

1958年、元化学工業部の指導の下に創設された。1994年に、現在の北京化工大学と改名し、2001年に「211工程」の重点大学に認定されている。

現在の北京化工大学は北京市にあり、東キャンパス、西キャンパス、北キャンパスという合計70万平方メートルの3つのキャンパスを有している。大学は化学工程学院をはじめ、材料化学と工程学院、機電工程学院など10の学院、41にわたる学科を設置しており、「材料学」、「化学工程」という2つの国家級重点学科や、「高分子物理と科学」、「化工過程機械」など13の省級、部級の重点学科を有している。

現在、在籍している学生は約23,000人である。そのうち、学部生及び専門学生が約12,500人、大学院生が約4,200人、また教職員が1,800人ほどである。

経済支援

「国家奨・助学金」の以外、主に「人民奨学金」と「専項（特定項目）奨学金」という2種類の奨学金が提供されている。

「人民奨学金」は成績優秀と認められる学生1人につき、年に400～2,000元までの援助を与えるものである。新入生を対象とする奨学金や科学、体育などの競技で賞をとった学生を対象とする奨学金など、さまざまな種類がある。その審査基準については、各科目の成績を85点以上に維持している学生は1等奨学金の資格を有し、80点以上が2等、70点以上が3等の資格を有すると定められ、およそ20%の学生が獲得できると規定されている。

「専項奨学金」は社会各界からの寄付金を下に設けられたものであり、成績優秀と認められる学生1人につき、年に1,000～10,000元までの援助を与えると規定されている。「人民奨学金」と同様におよそ20%の学生が獲得できる。

そのほか、経済的に困難と認められる学生に対して、補助金や勉学援助貸付などを提供している。また、授業料の免除や徴収猶予などの制度も整えている。

費用

授業料は専門によって異なり、5,000～12,000元までと定められている。

なお、2008年度から、大学側は単位制学費制度を試行する予定である。具体的には、年度別ではなく、履修する個々の授業に対し、個別に授業料を支払うという制度である。この制度の導入によって、能力の優れた学生は早期に卒業することが可能となる。一方、追加試験にも合格できなかった学生は、その講義を再履修することになるが、その場合、授業料を改めて1回分支払わなければならない。

入試

全国の31の省、市及び自治区より学生を募集し、その選考は、各学生の大学入試の統一試験での順位を参考に行われている。選考の対象は、主に北京化工大学を第1志望とする受験生であり、第2志望の受験生は全体の5%しか受け入れていない。2007年、大学は全体で3,100人の新生を迎えた。

入学後に、大学は、新生に総合的な能力試験を受けさせ、成績優秀な学生に対し「優秀生」という称号を授与し、自主的に専攻を選ぶ権利を与える。また、特に成績優秀と認められた「優秀生」に対し、この年度に全額の人民奨学金を授与する。3年連続で「優秀生」に選ばれた学生は、推薦で優先的に大学院に進学することができる。

卒業生

卒業生の就職率は、2004年は94%、2005年は97%、2006年は96%、2007年も95%に達している。

大学は学生の就職活動を非常に重視しており、各卒業生の個性に応じた就職の指導方案を出しており、ネット上のコンサルティングや電話のホットラインも開いて卒業生をサポートしている。校内には、460平方メートルに達する卒業生就職指導センターや大型の招聘会場などの施設を有しており、就職指導や交流活動が盛んに行われている。

建学して以来、北京化工大学は計5万人以上の卒業生を社会に送り出した。その中には、中国科学院院士や中国工程院院士などになった者や、各省、市の政府で要職を担っている者、国家レベルの大企業の理事長などを勤めている者が数多くいる。

その他

ここ数年で、全国及び北京の「挑戦杯」大学課外科技学術作品コンテストや機械設計創作コンテスト、数学モデリングコンテスト、電子設計コンテストなどの科学競技大会において、北京化工大学のチームの中で、計 9 チームが全国優勝したことがある。また、158 チームが全国 2 位の成績をおさめたことがあり、66 チームが北京大会で優勝と準優勝をしたことがある。全国大学生数学モデリングコンテストにおいても何度も優勝し、2002 年には最高賞である「高教杯」を授与された。

なお、大学は研究成果の応用を非常に重視している。大学が運営している「化新技術公司」、「新特科技发展公司」など 20 以上の企業において、その研究成果が大量に応用されており、総収益が約 2.5 億元に達している。

II. 優等企画～実験班～

2004 年に創設された北京化工大学の「実験班」は、理系の学生を主な対象とする実験クラスである。その主旨は、高尚な人格と堅実な基礎知識を持ち、革新の精神とその能力を備え、工程技術及び関連領域において、経済のグローバル化という未来の経済発展に対応できる素質の高い人材を育成することにある。その事務や運営などの管理権は理学院に属し、教務処（大学教務部門）、学工辦（大学学生管理支援部門）などの部門が協力すると規定されている。

課程設置

「実験班」に入った新生に対しては、第 1, 2 学年のうちに統一した基礎教育を受けることになっている。具体的には、主に数学、物理、化学、英語などの基礎科目を強化し、各学生の個性に合わせた教育を施す。この 2 年間のうちに、「実験班」の学生は、他の学部生と異なり（班以外の学生を含むことなく）単独で受講することができ、独特の「実験班平台課程（「実験班」のために設計された、少人数クラスのエリート講義）」を受ける。第 2 学年の末に、学生は自分の希望で専攻を選択する。さらに「双向選択（教師と学生が互いに選択し合う）」という原則に基づき指導教師を決定し、その指導の下に個性に合わせて専攻計画を制定する。

選考

大学は新生に総合的な能力試験を受けさせ、成績優秀な学生に対し「優秀生」という称号を授与し、その中から「実験班」のメンバーを募集する。「優秀生」の資格のあるものは自主的に応募することができる。その後、関連部門や「実験班学術指導小組」で構成された実行委員会が面接を行い、その結果を理学院と教務処に提出し、その判断で最終的

な決定を下す。募集人数は 50～60 人である。

「実験班」に在籍する間、毎学期の末に、総合成績によって履修困難と判断される学生に対しては、大学はその辞退を要求することが可能である。辞退した後、その学生は自分の希望で学内で専攻を選択し、一般の学部生として受講することができる。

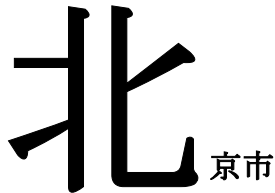
優遇制度

第 1, 2 学年において、各基礎講義に対して、小クラスの「実験班」だけの講義を受ける。第 3 学年からは各学生に特別な指導教員が付けられ、授業と同時に、学術活動や社会実践、科学実験の「三元結構」という育成モードの下、実践を通して研究能力を身に付ける。

指導教員について、学生は学内の「長江学者」、「傑出青年基金獲得者」、「教育部新世紀優秀人材」などの優れた教員の中から自主的に選択することができる。指導教員が決定された後、個々の個性に合わせた育成案を、その指導教員が制定する。

また、「実験班」の学生に対しては、学士－修士－博士にまたがる一貫した教育が実施されている。また、成績優秀な学生に対して、学部の段階から大学院の講義を受講することができ、特に優秀な学生は 3 年間で学部を卒業することが認められている。

なお、「実験班」の学生には、図書館や専門教室、実験室を優先的に使用する権利があり、一流教授の講義や講座を優先的に受講することもできる。



北京工業大学

Beijing Polytechnic University

北京工業大学は、1960年の創立当時は、機械、電機、無線、化工、数理の5専攻であったが、現在15の学院を持っている。大学は、2000年にコンピュータ学院で「コンピュータ科学・技術実験班」を、また2006年に電子情報と制御工程学院で「電子情報工程実験班」を設立した。実験班では、学生を相互に競争させたり、成績が芳しくない学生を排除するような淘汰制を採っている。

I. 全般的特徴

北京工業大学は、1960年に創立され、当時、機械、電機、無線、化工、数理の5専攻であった。1990年に、北京連合大学経済管理学院が統合された。1993年に、実験学院が創立された。1997年以降2004年までに、学科の構造を調整し、電子情報・制御工程学院を初め15の学院を創立した。

北京工業大学の本部は北京市朝陽区にある。1996年に国家「211工程」にパスし、重点大学となった。学部は43種類の専門学科を設立している。教職員は3,300人余りで、その中で両院院士が8人、博士指導教授が184人である。在校生は約30,000人で、そのうち、博士課程院生が約620人、修士課程院生は3,500人である。

費用

北京工業大学は単位制学費制度を採用している。単位制学費制度とは、単位取得のために履修する個々の授業に対して学費を支払う制度である。学生は4年間で200単位以上をとらなければならない。60元/単位になっている。授業料の平均が3,000元/学年である。そして、施設費が1,700元/学年である。その他に、寮の家賃が900～1,200元である。

入試等

北京工業大学は北京に在籍する学部生を最もたくさん募集する学校の1つである。2007年に学部生3,186人を募集した。その内、北京に在籍するのは2,556人であった。

北京工業大学では、主に北京に在籍する受験生を募集する。そして、試験の点数を優先

的に考慮して学生を選ぶ。設定された点数以上の学生を、点数が高いものから低いに順序づけ、点数の高い受験生から順に、志望学科を定めていく。受験生の点数と志望する5つの学科をチェックし、定員になっていない志望学科に配属される。志望する5つの学科の合格点より低ければ、不合格となる。それから、次の受験生の志望をチェックする。このような選考方法は学科と学科の間に受験生の成績の差がなく、受験生が志望する学科に入る可能性が大きくなる。但し、一部の学科の選考では個別の科目の点数を考慮する。例えば、情報・計算科学学科には数学の点数が低い学生は入ることができない。

従来は、一度学科が決まると、その後は学科を変えることが出来なかった。しかし、学部1年の5%の優秀な学生には、2回目の学科選択のチャンスを与えている。

卒業に関し、北京工業大学の就職率は90%前後である。就職先には政府機関、研究機構、大中小型企業を含む様々な領域が含まれる。

その他

2007年、8棟の教学楼（ビル）と北京工業大学体育館を建設する予定である。2008年北京オリンピックでは、バドミントンの試合と体操の試合が、その体育館で行われる予定である。2007年の新入生は、オリンピックのボランティアとして学校で活動できるようだ。

II. 優等企画～コンピュータ科学・技術実験班と電子情報工程実験班～

北京工業大学は、現在、2000年にコンピュータ学院で設立した「コンピュータ科学・技術実験班」、および2006年に電子情報と制御工程学院で設立した「電子情報工程実験班」を有する。実験班を管理するために、学長を実験班のリーダーとした教育管理チームが構成されている。実験班は、北京工業大学に応募した、全国統一大学入試で成績の高い受験生から順に選考する。また、高校段階で北京青少年科技競技大会で1等賞を獲得した者、又は市レベル以上の「三好学生」（‘三好’とは、道徳、学力、健康の3つの面で優れていること）と「優秀学生幹部」という表彰を受けた者が実験班に優先的に採用される。

1. 「コンピュータ科学・技術実験班」

北京工業大学コンピュータ学院は、北京市最大のコンピュータ高級人材培養基地（拠点）である。21世紀に要求された創造的人材を養成するために、また「徳・知・体」などの面で成績の優秀な受験生を重点的に養成するために、北京工業大学は、そのコンピュータ学院の「コンピュータ科学・技術実験班」を設立した。

北京工業大学コンピュータ専門には、「コンピュータ科学・技術実験班」と「コンピュータ科学・技術普通班」の2種類がある。実験班に応募する受験生は、「コンピュータ科学・技術実験班」を第1希望として応募しなければならない。実験班にパスできなかった

場合に本学の他の専門を第2希望として応募することができる。そして、コンピュータ専門希望ではあるものの実験班に不合格であった場合は、「コンピュータ科学・技術普通班」を第2希望として応募することができる。2007年度の実験班の新入生は35人であり、普通班は350人である。

実験班の教育計画では、学生の創造的能力、実践的能力、個性発展の向上を重視し、創造型人材養成に適応した教育モデルを作り出す。また柔軟に教育進度を調整し、学生に主要な課程科目を履修させると同時に、課題研究に参加させ、学生に自主的学習、独自の研究の時間を十分にもたせる。

実験班には優秀な教員が配置される。また指導教官制を実行しており、学生は指導教官の研究テーマに参加することができる。大学では、毎年実験班に無試験で直接研究生になることができる特典を与えており（約70%）、また優遇の奨学金制度を実行している。

2. 「電子情報工程実験班」

選考方法は、「コンピュータ科学・技術実験班」と同じである。

養成方法

主に革新・研究型の電子情報類で、高レベルの技術的人材を養成する。

入学後、学生は、学院から教授か優秀な副教授が配備され、学業の指導を受ける。実験班は、集中管理と指導教授の個性化を結合させた養成モデルである。国外の電子・電気系学科の人材育成モデルを参考にして、自動化、電子情報工程、通信工程、電子科学・技術などの4学科の成果を吸収し、新しい知識の伝授と実践能力の育成を重視した、実験班にオリジナルな養成計画を立てている。実験班では、学生相互に競争させるようなシステムをとっている。つまり、学部の1, 2年の段階で淘汰制を実施している。成績不良となると実験班から排除され、該当する普通の学科で卒業まで学業を進めるようになっている。

優遇政策

- (1) 実験班の学生は優先的に指導教員の研究推進向けに選抜される
- (2) 実験班には優先的に優秀な教員を配備する
- (3) 優遇的な奨励政策を受けることができる
- (4) 修士課程を志望する学生は優先的に推薦される（試験が免除される）

主要な専門の講義

実験班の学生に対しては、「因材施教」（対象に応じて異なる教育を施す）や学生の個性を重視した、専門の講義を柔軟に設置している。また、学生を養成する過程で実践訓練を強化する。講義内容は、以下のとおり。

電路分析，模擬電子技術，デジタル電子技術，信号とシステム，デジタル信号処理，通信電路理論，通信システム理論，現代測定技術，自動コントロール理論，計算機コントロールシステム，ランダム信号分析，コンピュータソフトウェア基礎など。

特別な講義

「双語」(外国語と母語)による講義：デジタル電子技術，デジタル画像処理，電子工程設計，DSP 技術および組み込みシステムの設計など。



北京航空航天大学

Beihang University

北京航空航天大学（北航と略称する）は1952年成立した。航空および宇宙飛行技術に関する中国初の大学として、巨大な研究力を誇っている。高等工程学院は、2002年9月に、国防テクノロジーや国家経済建設に向けて有用な人材を養成するために創設された。2年目後期には、指導教員制度により、各学生には、相互選択にて指導教師が就くようになっていく。

I. 全般的特徴

北京航空航天大学は（北航と略称される）1952年に成立した。航空および宇宙飛行技術に関する中国初の大学である。国防科学技術工業委員会に属し、中国の「211工程」、「985工程」の中で、国防科学技術工業委員会、中国教育部、北京市人民政府、中国工程院の共同で経営された大学である。

北航は、約3,400人の教職員を有し、理、工、文、法、経済、管理、教育、哲学の8つの専門にわたる。その中に、国家による重点学科が11個、国防科学技術工業委員会による重点学科が16個、および北京市による重点学科が6個ある。在校生は23,000人余で、そのうち留学生が約180人である。国内において、工学の外国人院生が最も多いとされる大学の1つである。

経済支援と学費

「国家奨学金」、「北航の友奨学金」、「国防奨学金」、「航空報国奨学金」などが提供されている。「国家奨学金」は、中国政府が創設した奨学金であり、経済困難な学生に提供されるが、やや軍事工業と国家保護に重点をおいた専門分野の学生を優遇する傾向がある。北航では主に学部生を対象とする。年額6,000元と4,000元の2種類の奨学金があり、それとともに当該年度の授業料を免除するような優待も含まれている。「北航の友奨学金」は、企業や何らかの社会的組織が北航で運用している奨学金の総称である。その年額には、4,000元、3,000元、2,000元、1,000元の4種類があり、主に学部生を対象とする。「国防奨学金」は、国防的志望を抱く学生を対象とする。特定の専門分野であり、卒業後空軍に勤めるとの条件が付されている。授業料と生活費で年額約5,000元である。「航空報国

奨学金」は、中国航空工業第一総合会社によって提供されている。航空の専門学生を対象とするものであり、卒業後航空事業に精進するとの条件がある。年額は7,000円で、4年まで支給される。

北京航空航天大学では、年額学費制度が採用されており、専門によって授業料が異なる。普通の学部生に対しては、年額は5,000～5,500円であり、ソフトウェアプロジェクト専門の学部生に対しては、1,2年の授業料が年額5,000円で、3,4年では15,000円となる。また、芸術分野は、年額10,000円である。

入試

全国統一大学入試にて選考される。その他、以下を対象とした自主選抜を行っている。

- ① 高校時代に全国・世界的なコンテストで受賞経験がある。
- ② 高校時代に、全国高校生学科オリンピックや、数学か物理学のコンテストで、省レベルで2等賞以上を得る。
- ③ 高校時代に、全国高校生学科オリンピックにおける化学、生物学、情報学の中で、省レベルで2等賞を2つ受賞する。
- ④ 高校時代に、科学技術の創造や発明に秀で、かつ省レベルで1等賞以上を得たか、あるいは特許を有する。
- ⑤ 省レベル模範高校校長の推薦を得、成績が優秀か特殊な才能を持つ学生は、選抜試験に参加できる。なるべく当大学の選抜対象である学校を優先させる。

その他

北京航空航天大学は、5つの国家レベルの重点実験室、15の省・部レベルの重点実験室を含む多くの実験室がある。また過去5年間に、国レベルの科学技術賞を17種、省レベルの科学技術賞を175種、国防化学技術進歩1等賞を10種獲得している。また、「全国百篇優秀博士論文」の中に、同大学の論文が10篇含まれている。

同大学の学生は、「挑戦カップ」全国大学課外学術科学技術作品コンテストで、9年連続優勝した。この記録は他に類を見ない。また全国航空航天大学モデル科学技術創造選手権大会の項目で3年連続優勝した。国際プログラム・デザイン・コンテストのグローバル・ノキア・エイ・アイ応用移動挑戦コンテストで金賞を得た。一方、北航の男子バレーボールチームは、中国男子バレーボール甲級リーグに選ばれた唯一の大学生チームである。

II. 優等企画～高等工程学院～

北航は、2002年9月に高等工程学院を設立した。国防技術や国民経済を建設するリーダー的人材養成を行うことを目指している。初年度に34名の学生を選抜したが、これら

の学生は、当年度の新入生の中から、数学、物理、英語の試験と、心理、非知力的要素テストと専門家による面接を通じて選抜された者である。この高等工程学院の趣旨は、理系と工系の結びつき、基礎を強化し、人文教育と個性的養成を重視することである。

養成モデル

1年の課程の配置では、理系の基礎を強化すると同時に文系の知識を広める。大学1、2年は、基礎課程である。その2年間では、数学分析、高等数学、数学モデル、数学ロジック、確率統計、大学基礎物理、基礎生命科学、大学国文および中西哲学史講座（以上の課程は、いずれも北京大学の要求に基づき、同大学の博士指導の教授によって少人数クラスで授業を行う。）に、さらに、理論力学、材料力学、化学、電気回路分析、模擬電気回路、デジタル電気回路（以上の6つの中から4つを選択する）など、12のコア課程に重点を置く。また、大学1年末までに国家英語試験にパスすることが求められる（英語授業は週6単位、高校時代でパスした者は受験は不要）。2年から2つの少人数クラスに分けて（1クラスは20人以下）、外国人教員によって「聞く、話す、読む、書く」の強化訓練を行う。

大学2年の後期に、教員指導制度により、学生と教師が相互選択により指導教員をとり決める。指導教員は、専門の学習計画と選択課程について学生を導く。そして、学生が一刻も早く指導教員の実験室と研究チームに入ることができるよう工夫している。学生が推薦で進学しようとするとき、指導教員の意見が決定的となる。一方、学生の態度によっては指導を中止することもある。

学院では、学生たちの中に生じた問題については、集団であるいは個人的に指導する。どの学生も、いつでも直接、学院のリーダーと相談することができる。また、毎週日曜日を学生相談日と定めている。このようにして、優秀な人材の個性的育成の道を探るわけである。学生には、積極的に専門コンテストや科学技術コンテストに参加させ、論文も書かせるようにしている。

その他、課外活動も多彩に行われている。1年のときには、飛行機やエンジン工場の見学を行う。宇宙技術見学センターにおける研修も可能である。大学院博士クラスと協力してシリーズ講座を立ち上げ、科学技術、経済、人文など各分野を含めて学生の知識を広めるようにしている。

1、2年では、その後の課程との接続を考慮して、学院と国家の指定した基礎課程以外に、学生のニーズに基づき、機械デザイン、電気類などの専門の基礎課程を選択履修することが求められている。

3年以後は、指導教師が就くことになる。指導教師の指定した2～3の専門課程を履修しなければならない。また、教師の指導の下で卒業デザインを完成する。

優遇制度

授業料は、普通の学費のほかに特段の費用はない。60～70%の学生に奨学金が支給されるという優遇がある。学生には、積極的に専門コンテストや科学技術コンテストに参加させるだけでなく、募集制の専門奨学金を設けて学生に奨励する。大学の最初の3年間に、学科コンテスト、科学技術コンテスト、論文作成の経験を得た学生は、大学院推薦のとき優先される。



北京交通大学

Beijing Jiaotong University

北京交通大学は国家教育部に所属し、国家教育部と鉄道部が共同経営している重点大学である。大学では、電気・情報種類学科を対象として、2005年に、「理科実験班」（「思源班」とも呼ぶ）という優等企画を開始した。堅実な数理基礎を養成し、良好な学科素養、創造的精神、競争力がある人材を確保することをねらっている。60人の新入生を受け入れている。

I. 全般的特徴

北京交通大学は、首都北京「学府景勝の地」海淀区に位置し、中国のシリコンバレー「中関村」に隣接する。教育部に直属し、教育部と鉄道部の共同経営による全国重点大学である。1896年の清政府創立による中国初の管理人材養成用の高等学校を前身とする。そして、1921年に上海工業専門学校、唐山工業専門学校と統合し、交通大学と改称した。さらに、1950年には交通大学の北京分校北方交通大学と改称した。2000年になると、北京電力高等専門学校と統合し、元の名前“北京交通大学”に戻した。2004年6月に教育部の許可を得て、大学院を設立している。

北京交通大学は情報と管理などの学科に優れ、交通科学と技術という特色をもつ。工学、管理、経営、理、文、法、哲学などを調和した総合的研究型大学である。5つの国家級の重点学科、10の省部級の重点学科、また38の学科がある。5つの学科で、教育部から揚子江学者奨励計画を立てることが認められた。教員数は約1,600で、博士学位を持つ教員は48%である。約14,000人の学部生、1,800人の博士課程生、5,800人の修士課程生および280人の外国留学生在籍している。

奨学金

経済的に困難な学生に対する国家による奨学金、勉学のための国家貸与、補助金、学費の減免、企業や法人からの援助などがある。また、新入生に対しては、経済的に困難な学生の入学を保証するために、「グリーンロード」という援助制度を設けている。これらの諸制度により、これまでに経済的理由で退学した学生はいない。

就職と進学

新卒の就職率は、ここ数年 93%以上を保持している。大学では専門的なキャリアセンターを運営し、低学年時から初歩的な就職活動などの指導をしている。大学での大規模企業による合同就職説明会は、毎年 2 度行なわれる。一方、毎年 30%近くの学生が修士または博士課程に進学する。そのうちの 12%近くの学生は、無試験で直接に進学することができる。そのような学生は、推薦で学内・学外で修士学位をとることができる。

II. 優等企画～理科実験班（思源班）～

「理科実験班」（「思源班」とも呼ぶ）は、2005 年に開始された。電気・情報種別学科を対象とし、数理基礎を養成して、良好な学科素養、創造的精神と能力・競争力ある人材を確保するためである。理学院に設置されている。

「思源班」では、卓越した人材に対し、この大学で最も競争力のある人材養成パターンを採用することにより、学部教育の最高水準に達するよう計らっている。「思源班」は学科と学院の壁を取り払った実験教学班である。2007 年、「思源班」は 60 人の新入生の募集を計画している。この班は、受験者に対して、北京交通大学が求める最低限の点数より 20 点以上高いことが求められる。

選抜

「思源班」は、主に 3 つのルートで人材を選考する。①その年の数学、物理の省級コンテストで 1 等賞以上の理工の推薦生の中から選抜する、②一部の省区に「理科実験班」新入生の募集計画を公布し、理科受験者の中で数学、物理、英語の成績が抜群の受験者を優先的に選抜する、③一部の省区で第 2 希望であるが、数学、物理、英語の成績に卓越した受験者を優先して選抜する。

養成方式

最初の 2 年間では、人文社会科学を強化する。また「徳・知・体が総合的に発達した人材」の養成に関し、数物基礎教育を強力に推し進めており、学生を高度な数学的抽象能力と思考能力を持つよう養成する。また、現代物理の知識・思考と実験技能、外国語の基礎技能とともに、「電気回路の分析、模擬デジタル電子技術、信号とシステム、信号処理、電磁場、計算機原理」という 6 個の基礎課程を設置し、学生に電気情報種別学科の充分な専門基礎を獲得するよう配慮している。2 年生からは、学生は個人の興味と発展の需要にあわせて、当大学の通信工学、自動化、電子科学と技術、計算機科学と技術、生物医学工学、電気工事と自動化、電気情報工事などの専門を自由に選ぶことができる。

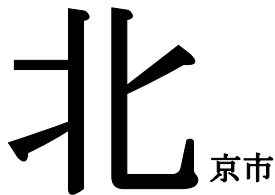
「思源班」は、また専門的な「科学研究荣誉单位」の計画を立てており、学生が、意欲

をもってイノベーション意識を発揮し、能力開発を行い、自主的に「指導者の科学研究に参加し、実験計画を立て、競争し、論文を発表する」等の手法で単位を取得するようにしている。「科学研究栄誉単位」は、卒業成績に計上するとともに、無試験で修士に進学するにあたっての重要な参考となる。

優遇措置

「思源班」では、校内外の著名な教育家と優秀な教員が主幹課程の授業をするだけでなく、研究指導パターンを提唱して、学生の自主性と習得の訓練を強化する。そこでは、1年生に対して研究討論科目を開設している。そして、2年生と3年生に対しては、特定のテーマの研究科目を設けることにより、学生が科学の魅力を感じつつ科学研究活動に興味をもてるようなカリキュラム構成を採っている。さらに、自分の意思で指導教員の研究テーマに参加することができる。「思源班」の50%以上の学生は、無試験で修士あるいは博士課程に進学できる。

なお、指導教員に関しては、2年生から各学生に割り当てられるようになっている。この制度により、学生たちは、講義の選択、学習方法、進路等について、指導教員の指導・相談を受けることができる。



北京師範大学

University of Science and Technology Beijing

北京師範大学は、中国史上初の師範大学である。近年、人材養成モデルの改革を探求し、全学生を対象とした「4+X」というモデルを設計した。4年の学士課程に続くX年の大学院課程という意味である。優等企画として、2001年に「励耘実験班」が設立され、2005年から「励耘優秀人材育成計画」が実施されている。中途の学年からも優秀な学生を組み入れる開放性、学力不良と相成った学生を排除する淘汰性、無事完了した学生に授与する荣誉证书などを特徴とする。

I. 全般的特徴

1902年に創立された京師大学堂師範館をその前身とする。1923年に北京師範大学と改名され、中国史上はじめての師範大学になった。

北京師範大学の全日制の本科生は8,500人余、大学院生は9,000人余、留学生は2,000人余、インターネット教育と継続教育の各級の学生は20,000人余、教員と職員は3,000人余である。23の学院、3つの大学直轄学部、10の研究院（研究所またはセンター）を設けている。

北京師範大学は、2002年に、専攻を自主的に設置する権限を持つことが国家教育部に許可された最初の重点大学のうちの1つになった。教育学、心理学、システム科学の学科が特に著名である。

近年、人材養成モデルの改革を図り、全学生を対象とした「4+X」というモデルを設計した。「4+3」と「4+5」の各モデルは、それぞれ、本科－修士、本科－博士－貫制のモデルであり、高いレベルの科学研究者と技術者を養成することを目的とする。「4+2」モデルは、高いレベルの研究型教師教育モデルである。「4+0」モデルでは、本科卒業後に直ちに各業種に就職する希望者に機会を提供する。

経済支援と学費

北京師範大学では、共に37種の学生を援助するプロジェクトを設立している。優秀な学生を対象とする奨学金は24種あり、大学が設立した「優秀学生奨学金」、「専門奨学金」、「競技奨学金」、「学術奨学金」、「単項（特定項目）奨学金」、「優秀卒業生賞」と社会の各

団体と個人が設立する奨学金がある。そのほかに、大学には、経済的に困難な学生を援助するための奨学金プロジェクトもある。たとえば、「国家奨・助学金」、「曾憲梓優秀大学生奨学金」、「唐氏奨学金」、「教師奨学金」など、13種がある。

北京師範大学では、専攻によって学費を決める制度を試行している。すべては4年制で、およそ次のようである。哲学・考古学は4,800元/年、芸術系分野は8,000～10,000元/年、文系分野は4,600元/年、科学技術分野は5,400元/年。

入試

選考は、一般的に全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員の比率を確定する。新生は、入学後3ヶ月以内に大学の全面的な再検査を受け、不合格者は入学資格を取り消されることもある。

その他、2005年には、国家教育部の音頭で、学生を自主募集・選抜する改革実験校になり、大学が自主選抜を行っている。

その他

100数年来、北京師範大学は、ずっと中華民族の独立、自由、民主、富強な進歩的な事業とともに生き続け、運命を共にすることに努力を重ねてきた。「五四運動」、「一二・九運動」などの愛国運動において重要な役割を果たした。当大学では、李大釗、魯迅、梁启超、銭玄同、呉承仕、黎錦熙、陳垣、範文瀾、侯外庐、钱穆、白寿彝、鍾敬文、啓功など多くの名高い先生が教えたことがある。100数年の発展を経て、北京師範大学では「国を愛し、進歩すること。誠実で質朴であること。実を求めて、革新すること。人の模範になること」というすばらしい伝統を形成し、「学為人師、行為世範」（学問と行動は他人や世の模範になる）という校訓を実現しつつけている。

II. 優等企画～励耘実験班～

教育改革の実践的探求に基づき、北京師範大学は、2001年に「励耘実験班」（「励耘班」と略称）を創立した。「励耘班」の「励耘」は、元学長の陳垣先生の「励耘書齋」から採用したものであり、「国をよく治めるために精励することを目指して、勤勉な努力を」という意味である。「励耘班」の趣旨は、優れた研究と創造能力、高い社会的責任感と実務に励む精神、深い人文と科学的な素養、良好な交流と協力の能力を持ち、なおかつ国際的視野を有する優秀な人材を養成する、ということである。

2001年に設立された「励耘班」は、「家境貧寒品学兼優」（家計が貧しく、品格と学力がともに優秀）という基準により、170人の応募者から30人を選抜した。理科大類の人材養成モデルが実施されている。「励耘班」の学生の学費や宿舍代や生活費などはすべて

大学の負担である。諸般の事情で淘汰された学生は、その優遇が取り消されることになる。

2002年には、「人文社会科学実験班」と2003年に「文理総合実験班」が設置された。全国大学統一入試で優秀な新入生から、それぞれ、90人、139人が選抜された。

「励耘優秀人材養成計画」の始動

2005年、北京師範大学は「励耘優秀人材養成計画」を始動し、2004年度に入学した学生の中から152人の優秀生を選抜し、2004年度「励耘班」を仮設置した。2006年には、111人の学生による2005年度に「励耘班」を成立させている。

「励耘優秀人材養成計画」の主な内容

1. 養成方式

選抜された学生は、本籍とも呼ぶべき元の学部で4年間の学習を進める。学生は、元の学部の教育計画に規定された課程科目を履修するとともに、大学が実施した、全本科学習段階を貫通した特定の養成計画に基づく教育を受ける。

2. 「名師対面」（著名な先生との face to face 教育）課程の開設

大学内外の著名な先生を招聘し、「励耘班」の学生に各学科の最先端の知識を教える。

3. 科学研究の創造性能力の養成

大学は「計画」に入った学生に学科を越えた導師グループを配置する。導師グループの指導の下で、課程科目を選択し、大学院生のセミナー、科研訓練などに参加する。また、「励耘発展奨学金」により、自分の研究課題を行い導師の研究課題に参加することを奨励する。

4. 夏期キャンプと冬期キャンプの開催

夏期キャンプで外国語学習を強化する。国内外の専門家を招聘し、セミナーを開催する。優秀な学生を国内外の学術大会に参加させる。冬期キャンプでは、情報技術と能力を強化する。

5. 本科－大学院教育の有機的連結

優秀でかつ科研面で発展的潜在力のある学生には、許可を得て早めに大学院生の基礎課程を履修させることができる。

選抜

応募資格：第1学期での全必修課程の成績において、全学科の上位の25位以内の者。または特別な科学研究能力を有する者。

プロセス：毎年3月に申請する。各学院・学部では、新入生の中から8%の優秀生を選抜し、大学「励耘優秀人材養成計画」運営グループに推薦する。運営グループは再選抜し

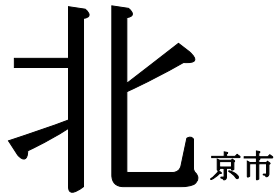
て、「励耘班」を構成する名簿を公開する。

管理

「開放制」：第1回の選抜を行った後、第5,7学期でも科学研究能力と総合素質の面で優れた学生を「計画」に追加して組み入れる。

「淘汰制」：「計画」に入った学生に対して、第5,7学期初に2回のふるい分けを行い、ある程度の淘汰比率を維持する。

「荣誉证书」：無事に「計画」を完成した学生は、本科卒業の際に、大学からの「北京师范大学励耘优秀学生荣誉证书」を取得することができる。



北京理工大学

Beijing Institute of Technology

現在の北京理工大学の前身は、1940年に設立された延安自然科学学院で、中国共産党が創立した最初の理工系大学である。国防技術研究の1つの重要な基地(拠点)として、「国防に向け高級人材を育てる揺籃」と言われている。

北京理工大学「本科教学実験班」は、1994年に創設され、優秀な学生を育成することを目的とする。学生の人数を成績によって調整する激励制度がある。

I. 全般的特徴

北京理工大学は国防科学技術工業委員会に属している。1940年に創立された延安自然科学学院を母体とする。1948年に北方大学工学院と統合して華北大学工学院となり、翌年北京に移動した。その後、1988年に北京理工大学と改称し、1999年教育部本科教育優秀学校評価をパスした。教職員数は3,500余で、学生数は約37,500である。

北京理工大学には13の学院があり、そこには47の専門分野、43の研究所・センターが含まれる。そのほかに、大学院、社会人教育学院、遠隔教育学院、高等職業技術学院が整備されている。

経済支援

省において全国大学入試で成績1位の学生には50,000元の奨励を与え、その学生に関わった所属高校の教師には5,000元を提供している。同じく15位以内の学生には10,000元を与え、当該高校教師には2,000元を提供する。同大学において全国大学入試の成績が所在の省範囲で新入生のうちの1~5位であった学生には、3,000元を与えている。

そのほか、「優秀学生奨学金」、「新入生奨学金」など数多くの奨学金がある。また、企業、団体、個人による奨学金が30種以上あり、「徐特立奨学金」、「中国科学院奨学金」、「北方奨学金」などがその例として挙げられる。

経済的に困難な学生は、学費免除や貸付金(学内の無利子貸付金、国家助学貸付金など)を申請することができる。大学では、そのような学生に対し、アルバイトを提供している。すなわち、課外時間帯に、役務、研究などの支援活動により、経済援助を与えている。

入試

入試の選考では、全国統一大学入試のほか、自主選抜も行っている。自主募集の対象は、とりあえず、省・市レベルの重点高校の卒業生であることを求められるが、さらに以下の例に示すような条件のいずれかを満たすことが必要である。

- ① 高校時代に全国レベルの学科（数学，物理，化学，生物，情報学）オリンピックで3等賞以上，あるいは省レベルで2等賞以上を得た者。
- ② 高校時代に全国青少年科学技術コンテストで（全国青少年の生物・環境科学実践活動を含む）省レベルの1等賞以上を取ったか，全国小中高校コンピュータ制作活動で省レベルの1等賞以上を取った者など。
- ③ 高校時代に国際科学と工程コンテスト，あるいは国際環境科学研究項目オリンピックで受賞した者。
- ④ 文学，言語面で特殊な才能を持ち，新概念作文コンテストあるいは創造的新英語作文コンテストで1等賞を取った者。
- ⑤ 国内外で影響力ある著作や論文（主作者に限る）を発表し，大学の審査で認定された者。
- ⑥ 各種の特許等を持ち，大学の審査で認定された者。
- ⑦ 専門家の推薦を得て，卓越した創造力と実践力を持ち，当大学の特定専攻に相応しい潜在的能力を備える者。

（以下，略）

その他

李富春，徐特立などの革命家が北京理工大学のリーダーを務めたことがある。卒業生の中には，元中央政治局常委・國務院総理・全国人大委員長李鵬，元全国政協副主席葉選平，元中央政治局常委・国家副主席曾慶紅など，共産党と国家のリーダーがいる。中国の最初の核動力潜水艦の総設計者である彭士禄院士，「長征三号」ロケットの総設計者である謝光選院士，レーダー技術専門家の王小謨院士，有人宇宙飛行工程搭載ロケットシステムの総指揮者である黄春平などがいる。

1956年，テレビ受発信装置の一号機を開発し，中国初のテレビ番組使用权を持っている。1958年，プラネタリウムの国内一号機を開発し，同年，固体高空探測ロケットの一号機を開発して打ち上げに成功した。1959年，中国の軽型戦車一号機を開発し，軍の装備に供した。また，1960～70年代，低空レーダーと20メートル遠距離カメラの国内一号機を開発し，軍の装備に供した。

II. 優等企画～本科教学実験班～

北京理工大学では、1994年に新入生の中から優れた学生を選抜して「本科教学実験班」を構成した。具体的な資格は、全国統一大学入試での高成績者か全国学科コンテストでの1等賞受賞者であり、60～80名を選抜する。さらに、各省での募集人数、学生の水準、専門性などの募集状況を見て受入学生を確定している。学生の成績では、英語と数学を特に重視している。

養成モデル

2段階の養成モデルを採っている。

第1段階は、2年間の基礎教育である。理系の人材養成に向けた理論的基礎と技術的基礎を強化する。1年の終わりに、全国英語能力試験レベル4にパスすることが求められる。2年次から、英語の実用的能力の訓練を行う。第1段階では、激励制度が導入されている。すなわち、毎学期の成績による失格の学生を元の所属クラスに戻す制度である。

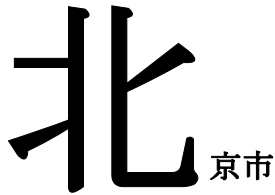
第2段階では、専門能力の養成を行う。第1段階の目標の到達ののちに、専門を選択することになる。各学生には指導教師を配置している。履修単位のうち80%は主専門を保障する教育課程であり、20%は他の課程を選択してよい。

履修計画の設定では、最新の研究成果に近い内容の履修であること、また、よりレベルの高い授業を選択することが重要である。そして、学生が専門を越えて授業選択することを奨励している。また学生には、英語の文献購読をしたり、英語の学習を絶えず行ったり、研究に参加できるよう配慮している。

「本科教学実験班」の学生は、大学や市が関わる知識コンテストに一回以上参加することが求められている。また、推薦で大学院に入学する可能性は、普通の学生より高い。条件を整えば、直接博士課程に入学することもできる。

優遇制度

「本科教学実験班」の学生は、基礎教育の段階で、「優秀学生奨学金」、「単一科目成績優秀奨学金」、「学習進歩奨学金」、「科学技術創造奨学金」、「社会活動優秀奨学金」などが受けられる。そして、「本科教学実験班」の学生に対する援助の比率は普通の学生より高い。また、毎学期30時間、無料でパソコンを使用でき、図書館では1度に10冊の図書を借りることができる。優秀な学生は、申請と承認により、授業に出席せずに、宿題を行い、期末試験に参加することが認められている。



北京林業大学

Beijing Forestry University

北京林業大学は、林業学、生物学、林業工学を特色とする。2004年に国家教育部の認可により、大学院が設置された。2007年に創立された「梁希実験班」は、北京林業大学の本科教育の実験改革における重要な一歩とされている。文・理の2クラスを有し、各30人である。

I. 全般的特徴

北京林業大学は教育部に直属し、教育部と国家林業局が共同経営する国家の重点大学である。学校の設立は、1902年の京師大学堂の農業林業学までさかのぼることができる。1952年、北京農業大学の森林系と河北農業学院の森林系が統合し、正式に北京林業学院が創立された。1956年、北京農業大学の造園学部と清華大学の建築学部の一部が統合した。1985年には、北京林業大学と改称された。1996年、国家の「211工程」の第1陣として経営された41の大学の1つとなった。2004年5月に教育部の評価を通じて、正式に大学院を設置した。

本学は現在すでに、林業学、生物学、林業工学を特色とし、農学、理学、工学、管理学、人文、法律、哲学、教育など多くの学科が歩調を合わせて発展する国家の重点大学となっている。本学は13の学院、9つの国家級の重点学科を持つ。在学学生は22,000人、そのうち本科生は13,000人余、大学院生は3,200人で、各級の成人教育の学生は5,100人である。

経済支援と学費

奨学金の種類が多く、額が大きく、幅広く獲得できるのが特徴である。国家が設立した「国家奨・助学金」があり、大学が設立した「優秀学生奨学金」、「専攻奨学金」、「特定項目奨学金」があり、一部の学院も奨学金を持つ。毎年40%の学生が、各級の奨学金を獲得できる。

大学入試でこの大学を第1志望とし、成績が省の上位10%の理系あるいは文系の受験生を採用し、家庭の経済状況によって、学校に入った後に「国家助学金」を申請すること

ができる。

新入生の入学時には、「グリーンロード」を設立し、家庭状況が困難な学生が入学できるようにと経済支援を行っている。それと同時に、この大学は、「経済的に困難な学生を中途退学させない」と宣言している。

北京林業大学は専攻によって学費を決める制度を試行している。すべての専攻は4年制で、ほとんどの専攻の学費は5,500元/年である。その他はおよそ次のようになっている。野生動物と自然保護区管理学は2,500元/年、経済管理系は5,000元/年、文学系分野は6,000元/年、芸術設計系は10,000元/年。

入試と卒業

選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員の比率を確定する。新入生は入学後、3ヶ月以内に大学の総合的な再検査を受け、不合格者は入学資格を取り消される可能性もある。

北京林業大学では、卒業生の就業率が高いだけでなく、就職に対する卒業生自身の満足度が高い。調査によると、2002～2006年の卒業生の83%以上が就職した企業や機関に満足している。卒業生のうち、中央国家機関、国有大・中規模企業、外資系企業、世界のトップ500の企業に就職する人数は、年々上昇している。学部の卒業生が進学、留学する比率も高くなっている。特に他大学あるいは科学研究機構に合格する人数が、年々増大している。毎年相当数の学部の卒業生が、清華大学、北京大学、浙江大学、中国科学院などの有名な重点大学あるいは科学研究機構で学業を継続している。また林業を始めとして、社会の各分野で卒業生が活躍している。

II. 優等企画～梁希実験班～

「梁希実験班」は、2007年に創立され、中国の前中央政府林業部長で、有名な林業家、教育家である梁希氏の名前にちなんで命名された。

「梁希実験班」は、文系と理系の2つのクラスに分かれ、各クラスは30人である。文系クラスは経済管理学院の新入生の中から選抜され、専攻は農業と林業の经济管理、会計学、統計学を含む。理系クラスは林業学院、水保護学院、自然保護区学院の新入生から選抜され、専攻は林業学、森林資源の保護、水害と風害の防止、砂漠化の予防と治療、野生動物と自然保護区管理を含む。

「梁希実験班」の開設は、北京林業大学の本科教育の実験改革において重要な一歩を踏み出したことを示す。

養成モデル

「梁希実験班」の学生を育成するため、淘汰の制度を有し、これはすべての学生に学習への強い動機を与えている。学生は、1 学期の間に累計で 12 時間以上の授業を欠席した場合、合格できない授業がある場合、国家の法律あるいは校紀校則に背いている場合、除籍される可能性がある。

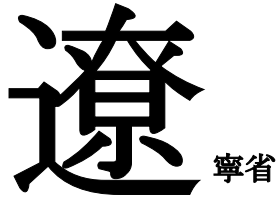
「梁希実験班」は、基礎を強化し、専攻の制限を小さくし、個人に応じた適切な教育を行う。「梁希実験班」は、単位制という弾力的な制度を実施し、3～6 年学制（最短 3 年で最長 6 年）を実行している。低学年は基礎教育を行い、高学年は専門教育を行う。各専門と学科の状況を理解した後で、学生は第 4 学期末に自分の興味、特長によって専門を選ぶことができる。

「梁希実験班」では、導師制を実施している。低学年の導師は、主に授業の選び方、学習内容と方法、思想道德などの方面の指導に重点をおき、一方、高学年の導師は学生の興味と研究の方向によって学生の科学研究訓練を指導する。

学校は特別支出金を設立して「梁希実験班」の教育を保障し、「梁希実験班」の学生は、奨学金の授与、図書の閲覧と貸し出し、資料調査の面で特別に優遇されている。

選考

2007 年の第 1 期の「梁希実験班」は、公平、公等、公正の原則に従って、資格審査、筆記試験、面接試験などを行い、新入生の優秀者を選抜した。選抜は学生の大学入試の成績、及び創造的能力あるいはコンピューターの応用レベルなどを考慮した。結果、文系の 30 名と理系の 29 名の学生が第 1 期の「梁希実験班」の学習に入る資格を獲得した。



大連理工大学

Dalian University of Technology

大連理工大学は1949年に設立され、中国の美しい都市、大連に位置している。大連理工大学は2006年学生募集発表会で、2006年から初めて「創新実験班」の学生を募集すると発表した。これは、「大学直轄と自主管理」という管理体系を特徴としている。大連理工大学は対外交流も積極的に進めており、現在25の国と地域の110の大学・研究機構と交流関係を構築している。

I. 全般的特徴

大連理工大学は、中国の「渤海の明珠」と呼ばれる美しい都市、遼寧省大連市に位置し、本部、市内、開発区という3つのキャンパスがある。

大連理工大学は、1949年4月に設立され、当時は大連大学工学院と呼ばれ、1950年7月に大連工学院として独立し、1988年に大連理工大学と名称を変更した。中国教育部に所属し、「211工程」と「985工程」に入った重点的研究型大学である。

大連理工大学には19の学院及び大学院があり、理工系を主に、経済、管理、文学、法律を共に発展させる多学科体系の方針を取っている。現在、約35,000人の学生が在学している。教職員は3,370人である。

大連理工大学は対外交流も積極的に進めており、現在25の国と地域の110の大学・研究機構と交流関係を構築している。

経済支援

「大学奨学金」、「国家奨学金」、「国家助学金」、「社会奨・助学金」、「励学基金」、「清寒専項奨学金」などの奨学金が提供されている。

「大学奨学金」は、「優秀学生総合奨学金」、「単項（特定項目）奨学金」などを含む。「優秀学生総合奨学金」は1人当たり、特等が6,000元/年、1等が2,000元/年、2等が1,200元/年、3等が800元/年である。「単項奨学金」は1人当たり、「特別優秀賞」が1,200元/年、「単項賞」が300元/年である。

「国家奨学金」は、品行、学力ともに優れていて、且つ、経済的に困難な学生に対して、

国家が提供する奨学金であり、1人当たり、1等が6,000元/年および当年の授業料の免除、2等が4,000元/年および当年の授業料の免除である。

「国家助学金」は、経済的に特別に困難な学生に、1人当たり1,200元/年を国家が提供する助学奨学金である。

「社会奨・助学金」は、様々な社会団体及び個人の提供で学生に与えられる奨学金である。

「励学基金」は、地方政府の援助を受け、品行、学力共に優れていて、経済的に困難な少数民族の学生に提供される奨学金である。

「清寒専項奨学金」は、国内外の団体の提供を受け、品行、学力ともに優れていて、経済的に困難な学生に提供される奨学金である。

費用

授業料は次のようになる。土木工学（英語強化）、電子科学と技術、建築学、化学工学と技術（英語強化）、電子情報工学（英語強化）、電子情報工学、制御工学、コンピュータ科学及び技術、電気工学及びその制御、英語、日本語、工業設計、機械設計製造及びその制御（日本語強化）、機械設計製造及びその制御（英語強化）、国際経済と貿易（英語強化）などの専攻は5,500元/学年；芸術設計（環境芸術設計）、彫塑などの専攻は11,500元/学年；ソフトウェア工学専攻は始めの2年は5,500元/年、終わりの2年は16,000元/年；他の専攻は4,800元/年である。

入試

選考は一般的に、全国から学生を募集し、全国統一大学入試に基づいて行われる。大学は各省の受験生の状況によって定員比率を確定する。建築学、都市計画、工業設計専攻の新入生は美術試験を受け、英語、日本語専攻の新入生は入学後に口述試験を行い、不合格者は学校がその専攻について調整を行う。新入生は入学後、健康診断で不合格と判定された場合は、入学資格を取り消され、専攻が限定されている者に対しては、専攻の調整を行う。

その他の選考に関しては、大学募集制度の改革を深め、大学の自主権を広げ、高校の素質教育の全面展開を促進するため、大連理工大学は自主募集を続けて執行して、ある領域で特殊な才能を持つ学生と、総合素質が優秀な学生を募集している。自主選抜の募集地域は遼寧、吉林、黒龍江省の3省及び一部の人材養成協力学校である。自主募集の対象は、①省レベル以上の学科競技で3等賞以上を獲得した者、②省レベルの「三好学生」（‘三好’とは、道徳、学力、健康の3つの面で優れていること）、「優秀学生幹部」、「優秀共青団員（幹部）」の荣誉称号を獲得した者、③ある学科領域で特殊な才能を持っている者、④省レベルの重点学校（示範高校）で総合素質及び成績が優秀な者（科類を限らずに、

高校 3 年の成績の順位が同じ科類の学生の中で上位 20%以内) である。以上の条件に相応しい学生は大連理工大学の学内試験に参加する。試験内容は文化科目試験と専門家面接に分かれる。理系の文化科目試験は数学、物理、英語であり、文系の文化科目試験は数学、国語、英語である。

卒業生

大連理工大学の卒業生の就業率は近年ずっと 95%を維持してきた。大学側でも、積極的に大規模の「企業就職説明会」を開催している。電気、機械、情報、コンピュータなどの専攻の卒業生と企業の募集人数の比率は 1:10 であり、人気の専攻は 1:50 になっている。

II. 優等企画～創新実験班～

大連理工大学は 2006 年学生募集発表会で、2006 年から初めて「創新実験班」の学生を募集すると発表した。つまり、2006 年の新入生より 50 名から 60 名の優秀な学生を選び、彼らに対して特殊教育を行う。「創新実験班」の学生は、学部 1 年と 2 年の時に基礎科目の教育を受け、数理基礎知識と英語とコンピュータ技能を身につける。学部 3 年生のときからは専門的な指導教員から学業及び専門知識の指導を受ける。学校側からの話によると、「創新実験班」から約 30%の学生が学部一大学院教育を継続することができる。

指導思想

「創新実験班」は学校の学部の人材を育てる示範と先導であり、「基礎を強化し、専門を広め、人に合う教育を行い、重点的に人材を育てる」という指導思想に沿って、1 年目には教養教育を行い、2 年には「大類教育」(大きな学問領域分類による教育)、3, 4 年には視野を広げた専門教育を行い、優秀な教育教學の資源を利用し、研究型の教育方式と最も適応性が高い管理方式を採用して、素質の高い人材作りを目指している。

養成方式

- ① 「創新実験班」は、「大類教育」によって養成を行う。現在は機械と情報の 2 種類に大きく分かれる。機械大類には機械、土木、力学、動力、船舶、自動車などの専門が含まれている。情報大類には電子情報工学、制御工学、コンピュータ、集積回路、生物医学工学、電気工学及びその制御工学などが含まれている。「創新実験班」に選ばれた学生は機械と情報の 2 つの大類の中でのみで専門を選択し、且つ、他の英語、あるいは、日本語の強化クラスで勉強することはできない。
- ② 「創新実験班」は単位制教学管理制度を実施し、基本学制は 4 年であり、学生は規定された単位を取得すれば卒業できる。条件に合う学生には「学部一大学院教育の

連続」の学制 6 年の制度が適用できる。

- ③ 数理基礎科目及び外国語の訓練強化を目的とする養成計画を採用し、専門科目の選択では完全な個性化要求を体現して、必要な単位だけを限定し、科目は限定せずに、個人の状況によって関連する学部と指導教師が共同で決める方針を取る。
- ④ 数学、物理、英語などの公共基礎科目は単独にクラスを編成して授業を受ける。基礎科目は優秀な教師を選抜して担当させ、外国語は外国人の教師に担当させて授業を行う。
- ⑤ 3 年生のときからは「創新実験班」の学生に指導教師を配置し、指導教師の指導下の個性化養成を実施する。指導教師は学生の学業、研究訓練の指導を担い、学生の個性発展に合う専門養成計画の制定を手伝う。学生は指導教師の研究項目に参加することができ、または、指導教師の指導の下で大学院の授業も履修することができる。
- ⑥ 「創新実験班」の学生に対して、研究型教育及び創造的実験を展開し、第 1 科目と第 2 科目の有機結合を強調する。大学生創新院に依頼して、科学技術創新実践活動も展開する。

管理方式

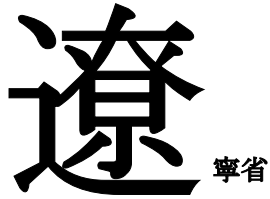
- ① 「創新実験班」は「大学生創新院」に属し、管理される。学生処（学生管理・支援部門）で「創新実験班」の学生の選抜を担当し、教務処（教務部門）で「創新実験班」の養成計画の制定と実施を担当する。
- ② 「創新実験班」の学生は、「大類教育」の養成段階で以下の項目のいずれか 1 つに該当すれば、「創新実験班」での学習資格を失う。そして、元の学部に戻って、通常の専門養成を受ける。
 - ・同じ学年内に 2 つ以上の科目の成績が不合格になった者。
 - ・校規の違反で処分を受けた者。
- ③ 以下の条件を備えた者は、「学部—大学院教育の連続」の資格が得られる。
 - ・成績が優秀で、学部するとき不合格の科目がない者。
 - ・3 つ以上の創新単位を得た者。
 - ・英語のレベルが国家 6 級に達した者。
- ④ 「創新実験班」の学生は集中居住をし、単独の補導員とクラスリーダーを配置する。「大学生創新院」で同一管理を行い、党、団の活動と組織運営を展開する。「創新実験班」の学生は、国際と地域の交流、奨学金の授与などの面で、優遇措置を受けている。

選抜方法

- ① 理系の新生の中で、各省の募集人数によって「創新実験班」の各省での募集人数

を決めて、所属の省の高校成績の順位によって候補者を選定する。「保送生」（非外国語専門）と自由選抜合格者の中で、発明創造賞，あるいは，発明特許を持っている者は直接候補とする。

- ② 上記の選抜方法で 150 人の候補者を選抜し，入学通知書を送るときに，大連理工大学「創新実験班」の候補者の通知も一緒に送って，学生自身で「創新実験班」の参加を選択し，もし同意すれば「創新実験班」の学生になる。
- ③ 「創新実験班」の学生の中で，シンガポール留学の条件に相応しい学生がいたら，学生の希望によって，留学生の選抜に参加することができる。



遼寧大学

Liaoning University

遼寧省瀋陽市に位置する遼寧大学は、文学、歴史、哲学、経済、法律、外国語、芸術、理工、管理などの多学科を備えた遼寧省での唯一の総合大学である。

経済学科では、世界経済学、国民経済学、金融学の3つの国家レベルの重点学科を持っている。1998年に、国家教育学部の許可を得て、国家経済学基礎人材育成基地（‘基地’は、拠点に相当。以下同様）が設立され、1999年に同「基地班」が学生募集を始めている。「基地班」のほかに予備班があり、それぞれプロ野球での一軍と二軍に対応する。

I. 全般的特徴

遼寧大学は、遼寧省の経済、政治、文化と交通の中心地の瀋陽市にある。その前身は、1948年に東方人民政府によって瀋陽に建てられた商業専門学校である。1958年、東方経済学院、瀋陽師範学院、瀋陽ロシア語専門学校が統合して遼寧大学になった。文学、歴史、哲学、経済、法律、外国語、芸術、理工、管理などの多学科を備えた遼寧省での唯一の総合大学である。国家の「211工程」で、重点大学として経営された大学の1つである。約1,200人の専任教師が勤務しており、在學生は約25,000人である。

遼寧大学の図書館は、総面積4.2万平方メートルあり、館内文献は234万冊にのぼる。その中で珍本と善本が300余あり、国連の出版部から国連文献収集の図書館の指名を受けている。その他ほか、歴史博物館と自然博物館が設置され、2,000余の文物と11,000余の生物標本が収集されている。

経済支援

「大学奨学金」、「社会奨・助学金」が提供されている。「大学奨学金」は、「総合奨学金」と「個別奨学金」を含んでいる。全学の約35%の學生が、「総合奨学金」を獲得することができる。1等奨学金は、5%の學生に各2,000元が授与される。2等、3等の奨学金としては、それぞれ、1,000元（10%）、500元（20%）が授与される。「社会奨・助学金」は、国内外の企業や個人によって、成績優秀で経済的に困難な學生のために提供される。全学を対象にしたものより対象学部を選定して提供する奨学金のほうが多い。金額は100～

4,000 元/年である。

大学には「勤工助学」センターが設置されており、経済的に困難な学生のために、アルバイト情報を提供したり、定期的に就学相談会を開いている。

入試

全国の学生を対象として、全国統一大学入試に基づいて選考が行われる。大学は、各省の受験生の状況によって定員比率を確定する。但し、芸術類（広告デザイン、放送学科、映像学科、写真学科、演劇学科）は、民間芸術専門については内モンゴルからも募集するほか、東北3省（遼寧省、黒龍江省、吉林省）に限定した学生募集を行う。遼寧省美術類統一試験に基づいて選考を行う。

卒業生

大学では、毎年冬春期に大卒者を募集する企業などを招聘し、大規模な「学生と企業の相互選択」会を開催している。また、各学院でもこのような交流活動を行っている。就職率は年々上がる傾向にある。2002～2004年度の学部就職状況は、下表のようである。

年度	卒業人数	政府機関	事業	企業	部隊	進学	留学ほか	就職合計	就職率(%)
2002	1,907	94	213	274	50	265	651	1,547	81
2003	2,735	71	430	384	50	415	1,163	2,513	92
2004	3,200	65	335	415	41	600	1,504	2,960	93

その他

2004年に設立された本山芸術学院は、中国で人気あるお笑い芸人・趙本山本人の援助でできたものである。その院長も趙本山であり、応募人数は定員を大幅に上回る状況にある。

II. 優等企画～経済学基地班～

1998年10月に国家教育部の許可を得て、経済学科に国家重点教育基地—遼寧大学国家経済学基礎人材育成基地が成立された。遼寧省唯一の国家経済学基礎人材育成基地となる。全国には、同じような基地が13個ある。この基地は、経済学院の経済学科に設置されている。そして、1999年から学生募集をはじめた。

基地管理は、大学、経済学院、経済学科の3級管理体制を採っている。大学レベルの基地管理グループの下で、学院基地教育センターと学科基地教育指導委員会が「基地班」の教育、学生生活などを管理する。

基地の発展目標は、「1つの中心、4つの基地」である。具体的な内容としては次のとおりである。人材育成と教育改革を中心とする。時代の要求に応える。知識能力素質を総合協調的に高める。史学論相まって成長する理論経済学人材育成基地となるように。全国とりわけ東北地方において影響力のある教育改革試験基地となるように。マルクス主義経済学を基礎とし、中国独特の社会主義経済理論の指導に従い、西洋現代経済学基礎理論および比較経済体制に関する研究成果を吸収し、歴史のある工業基地の改造ならびに振興に役立つ全国重点科研基地となるように。そして、全国とりわけ東北地方における、大学理論経済学に関する学術教育経験の交流および教師養成の基地となるように。

養成目標

知識、能力、素質が調和的に発達した複合型人材の育成を目標とする。これは、「基地班」の学生が教育、科研、人材市場などの諸領域において強い競争力を身につけるためである。具体的に養成目標には次のような内容が含まれる。

- ・大学学部4年の勉強を通して、マルクス主義基本理論と現代経済学基本理論を含む経済学基本理論を系統的に理解できること。
- ・国内外経済史、経済思想史の発展過程及び最新の最新学術について、しっかり把握できること。
- ・現代経済学の分析方法を学び、計量経済学、統計学の知識を使って、社会の経済現象や経済問題について解説し、研究できること。
- ・コミュニケーション能力、社交能力、社会調査能力を身につけること。
- ・外国語を操り、コンピュータをうまく操作でき、心身健康で総合素質が高いこと。
- ・愛国心、科学精神、人文精神のある人材の育成。

以上の目標を実現するため、本科－修士－博士「直通車」（一貫制）という人材育成モデルが試行されている。第2学年末に中間選抜を行い、第3学年末に入試を受けずに大学院に進学する名簿を確定する。修士課程で成績が優秀で、研究成果が優れている学生は、直接博士課程に進学することができる。他学科の大学院に、入試を受けずに推薦で進学する制度も、試行されている。

選考

1999年以來、毎年全国から遼寧大学に志望した大学統一試験で高い点数を取った受験生から選抜する。文系学生も理系学生も応募できる。また、2次選抜を行う。入学して軍事訓練が終わったあと、当学院によって、経済学専門の新入生に対して外国語と数学の試験が行われる。その成績に基づき、また全国大学統一試験成績を参考にした上で、「基地班」の学生名簿を決定する。経済学専攻では、「基地班」と予備班にわけられる。「基地班」の要求に適応できない学生は予備班に移し、同時に予備班から優秀な学生を選抜すること

ができる。

優遇制度

「基地班」の新生に導師（指導教員）を配置し、1人の導師が3～4人を指導する。

奨学金の面で優遇政策が提供されている。「基地班」に対しては、特に、奨学金の配布に調整を加えている。3等奨学金の授与率を20%から15%に下げ、同時に1、2等奨学金の授与率を本来の5%、10%から、それぞれ10%、15%に上げる。それから、「基地班」3年生に対して奨学金授与回数を1回増やしている。

「科学研究奨励」制度が試行されている。全国「基地班」学生研究会に選ばれた論文を、本校「基地班」論文特別賞とし、学生と指導教員にそれぞれ1,000元支給している。また、「基地班」優秀論文1等賞の獲得者と指導教員に、それぞれ500元支給する。2等賞の獲得者と指導教員には、それぞれ300元を支給する。大学院に進学する学生に対しても、奨励の制度がある。修士課程の合格者には、1,000元を支給し、全国にある13個「基地」校に受かったものには2,000元を、そして、毎年15名の推薦学生には1人500元を支給している。

経済的に困難な学生に特別援助する制度もある。「基地班」の新生で授業料などの諸費用が困難な学生に対して、学費の一部を免除するほか、必要な生活用品、学習用品などを配ることもある。そして、「国家助学金」の申請、アルバイトの紹介なども優先的に考慮される。

大学ホームページアドレス集（電話番号）

- 安徽省
 - 中国科学技術大学 http://www.ustc.edu.cn/zh_CN/
(+86-551-3602184)
- 甘肅省
 - 蘭州大学 <http://www.lzu.edu.cn/>
(+86-931-8912166)
- 広東省
 - 華南師範大学 <http://www.scnu.edu.cn/2003/>
(+86-20-85211029)
 - 中山大学 <http://www.sysu.edu.cn/>
(+86-20-84112828)
- 吉林省
 - 吉林大学 <http://www.jlu.edu.cn/newjlu/>
(+86-431-85166025)
- 廣西省
 - 廣西大学 <http://www.seu.edu.cn/>
(+86-771-3273743)
- 江蘇省
 - 東南大学 <http://www.seu.edu.cn/>
(+86-25-52090139)
 - 南京大学 <http://www.nju.edu.cn/cps/site/newweb/foreground/>
(+86-25-83593186)
 - 南京師範大学 <http://www.njnu.edu.cn/>
(+86-25-85898585)
 - 南京理工大学 <http://www.njust.edu.cn/>
(+86-25-84315650)
- 黒龍江省
 - ハルビン工業大学 <http://www.hit.edu.cn/>
(+86-451-86412114)
- 湖南省
 - 湖南大学 <http://www.hnu.cn/>
(+86-731-8821253)

- 中南大学 <http://www.csu.edu.cn/chinese/>
(+86-731-8876114)
- 湖北省
 - 华中科技大学 <http://www.hust.edu.cn/>
(+86-27-87542101)
 - 中国地质大学 <http://www.cug.edu.cn/>
(+86-27-67883000)
 - 武汉大学 <http://www.whu.edu.cn/>
(+86-27-68775018)
 - 武汉理工大学 <http://www.whut.edu.cn/index.html>
(+86-27-87651441)
- 四川省
 - 四川大学 <http://www.scu.edu.cn/scu2006/Default.htm>
(+86-28-85406561)
 - 西南交通大学 <http://www.swjtu.edu.cn/>
(+86-28-87600235)
- 上海市
 - 华东师范大学 <http://www.ecnu.edu.cn/>
(+86-21-62233333)
 - 华东理工大学 <http://www.ecust.edu.cn/>
(+86-21-64252435)
 - 上海大学 <http://www.shu.edu.cn/>
(+86-21-66132011)
 - 上海交通大学 <http://www.sjtu.edu.cn/>
(+86-21-62932236)
- 陕西省
 - 西安交通大学 <http://www.xjtu.edu.cn/>
(+86-29-82668231)
 - 西安电子科技大学 <http://www.xidian.edu.cn/>
(+86-29-88202212)
- 重庆市
 - 西南大学 <http://www.swnu.edu.cn/index.html>
(+86-23-68251234)
- 浙江省
 - 浙江大学 <http://www.zju.edu.cn/>

(+86-571-87951111)

• 天津市

➤ 南開大学 <http://202.113.16.33/index.php>

(+86-22-23508229)

• 北京市

➤ 清華大学 <http://www.tsinghua.edu.cn/qhdwzy/index.jsp>

(+86-10-62795818)

➤ 对外經濟貿易大学 <http://www.uibe.edu.cn>

(+86-10-64492001)

➤ 中国人民大学 <http://www.ruc.edu.cn/>

(+86-10-62511083)

➤ 北京大学 <http://www.pku.edu.cn/>

(+86-10-62751407)

➤ 北京科技大学 <http://www.ustb.edu.cn/ustbcn/index.asp>

(+86-10-62332003)

➤ 北京化工大学 <http://www.buct.edu.cn/>

(+86-10-64452738)

➤ 北京工業大学 <http://www.bjpu.edu.cn/>

(+86-10-67391774)

➤ 北京航空航天大学 <http://www.buaa.edu.cn/>

(+86-10-82317575)

➤ 北京交通大学 <http://www.njtu.edu.cn/>

(+86-10-51688083)

➤ 北京師範大学 <http://www.bnu.edu.cn/>

(+86-10-58806183)

➤ 北京理工大学 <http://www.bit.edu.cn/default.htm1>

(+86-10-68914247)

➤ 北京林業大学 <http://jwc.bjfu.edu.cn/>

(+86-10-62338279)

• 遼寧省

➤ 大連理工大学 <http://www.dlut.edu.cn/>

(+86-411-84708669)

➤ 遼寧大学 <http://www.lnu.edu.cn/index.jsp>

(+86-24-62202013)

大学名索引 (省市名, 優等企画) — 五十音順 —

か行

華中科技大学,	(湖北省,	電気類提高班と機械類提高班)	-50-
華東師範大学,	(上海市,	21世紀人材学院)	-72-
華東理工大学,	(上海市,	理工優秀生部)	-76-
華南師範大学,	(広東省,	総合人材養成実験班)	-12-
吉林大学,	(吉林省,	人文科学実験班)	-19-
廣西大学,	(廣西省,	特別培養班)	-22-
湖南大学,	(湖南省,	李達実験班)	-42-

さ行

四川大学,	(四川省,	吳玉章学院)	-63-
上海大学,	(上海市,	自強学院)	-80-
上海交通大学,	(上海市,	理科実験班と国際化人材実験班)	-83-
西安交通大学,	(陝西省,	錢学森実験班と宗濂実験班)	-86-
西安電子科技大学,	(陝西省,	教改班)	-91-
西南大学,	(重慶市,	創新実験班)	-95-
西南交通大学,	(四川省,	茅以升班)	-68-
清華大学,	(北京市,	基礎科学班と中外文化総合班)	-105-
浙江大学,	(浙江省,	竺可楨学院)	-98-

た行

对外經濟貿易大学,	(北京市,	経済学荣誉学士実験班)	-108-
大連理工大学,	(遼寧省,	創新実験班)	-148-
中国科学技術大学,	(安徽省,	少年班)	-5-
中国人民大学,	(北京市,	国学院)	-104-
中国地質大学,	(湖北省,	創造型人材養成計画と李四光計画)	-54-
中山大学,	(広東省,	逸仙班)	-15-
中南大学,	(湖南省,	基礎実験班)	-46-
東南大学,	(江蘇省,	吴健雄学院)	-25-

な行

南開大学,	(天津市,	数学試点班)	-102-
南京大学,	(江蘇省,	匡亜明学院)	-28-
南京師範大学,	(江蘇省,	強化培養学院)	-31-
南京理工大学,	(江蘇省,	培優班)	-34-

は行

ハルビン工業大学,	(黒龍江省,	実験学院)	-38-
武漢大学,	(湖北省,	多学科融合人材育成試験班)	-58-
武漢理工大学,	(湖北省,	教改実験班)	-61-
北京大学,	(北京市,	元培学院)	-116-
北京科技大学,	(北京市,	理学実験班)	-120-
北京化工大学,	(北京市,	実験班)	-123-
北京工業大学	(北京市,	コンピュータ科学・技術実験班と電子情報工程実験班)	-127-
北京航空航天大学,	(北京市,	高等工程学院)	-131-
北京交通大学,	(北京市,	理科実験班(思源班))	-135-
北京師範大学,	(北京市,	励耘実験班)	-138-
北京理工大学,	(北京市,	本科教学実験班)	-142-
北京林業大学,	(北京市,	梁希実験班)	-145-

ら行

蘭州大学,	(甘肅省,	隆基班)	-8-
遼寧大学,	(遼寧省,	経済学基地班)	-153-

大学名索引ーアルファベット順ー

B

Beihang University	(北京航空航天大学)	-131-
University of Science and Technology Beijing	(北京科技大学)	-120-
Beijing Forestry University	(北京林業大学)	-145-
Beijing Institute of Technology	(北京理工大学)	-142-
Beijing Jiaotong University	(北京交通大学)	-135-
Beijing Normal University	(北京師範大学)	-138-
Beijing Polytechnic University	(北京化工大学)	-123-
Beijing University of Chemical Technology	(北京工業大学)	-127-

C-J

Central South University	(中南大学)	-46-
University of Science and Technology of China	(中国科学技術大学)	-5-
China University of Geosciences	(中国地質大学)	-54-
Dalian University of Technology	(大連理工大学)	-148-
East China Normal University	(華東師範大学)	-72-
East China University of Science and Technology	(華東理工大学)	-76-
Guangxi University	(廣西大学)	-22-
Harbin Institute of Technology	(ハルビン工業大学)	-38-
Hunan University	(湖南大学)	-42-
Huazhong University of Science and Technology	(華中科技大学)	-50-
University of International Business and Economics	(對外經濟貿易大学)	-108-
Jilin University	(吉林大学)	-19-

L-R

Lanzhou University	(蘭州大学)	-8-
---------------------------	--------	-----

Liaoning University	(遼寧大學)	-153-
Nanjing Normal University	(南京師範大學)	-31-
Nanjing University	(南京大學)	-28-
Nanjing University of Science And Technology	(南京理工大學)	-34-
Nankai University	(南開大學)	-102-
Peking University	(北京大學)	-116-
Renmin University of China	(中國人民大學)	-104-

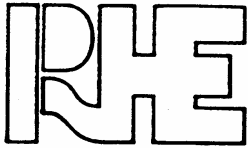
S-Z

Shanghai University	(上海大學)	-80-
Shanghai Jiao Tong University	(上海交通大學)	-83-
Sichuan University	(四川大學)	-63-
South China Normal University	(華南師範大學)	-12-
South East University	(東南大學)	-25-
Southwest University	(西南大學)	-95-
Southwest Jiaotong University	(西安交通大學)	-68-
Tsinghua University	(清華大學)	-105-
Wuhan University	(武漢大學)	-58-
Wuhan University of Technology	(武漢理工大學)	-61-
Xi'an Jiaotong University	(西安交通大學)	-68-
Xidian University	(西安電子科技大學)	-91-
Zhejiang University	(浙江大學)	-98-
Zhongshan University	(中山大學)	-15-

執筆者紹介

*所属は本書刊行時点のもの

きたがき 北垣	いくお 郁雄	広島大学高等教育研究開発センター・教授	(全般的な編集, 翻案)
こう 黄	ふくとう 福涛	広島大学高等教育研究開発センター・教授	(全般的な編集)
り 李	とうりん 東林	広島大学高等教育研究開発センター・研究支援員	(翻訳, 翻案, 調整)
ふじい 藤井	のぶあき 宣彰	広島工業大学・非常勤講師	(翻案, 調整)



中国の学生エリート養成企画の調査
—40余重点大学における優等的特別措置—
(高等教育研究叢書97号)

2008 (平成20) 年3月31日 発行

編者 北垣 郁雄・黄 福涛
発行所 広島大学高等教育研究開発センター
〒739-8512 広島県東広島市鏡山1-2-2
電話 (082) 424-6240
印刷所 株式会社タカトープ rint メディア
〒730-0052 広島市中区千田町3-2-30
電話 (082) 244-1110 (代)

ISBN978-4-902808-40-7

Fostering Elite Students in China:
Special Treatment for Honors in More Than
Forty 'Key Chinese Universities'

**RESEARCH INSTITUTE FOR
HIGHER EDUCATION
HIROSHIMA UNIVERSITY**